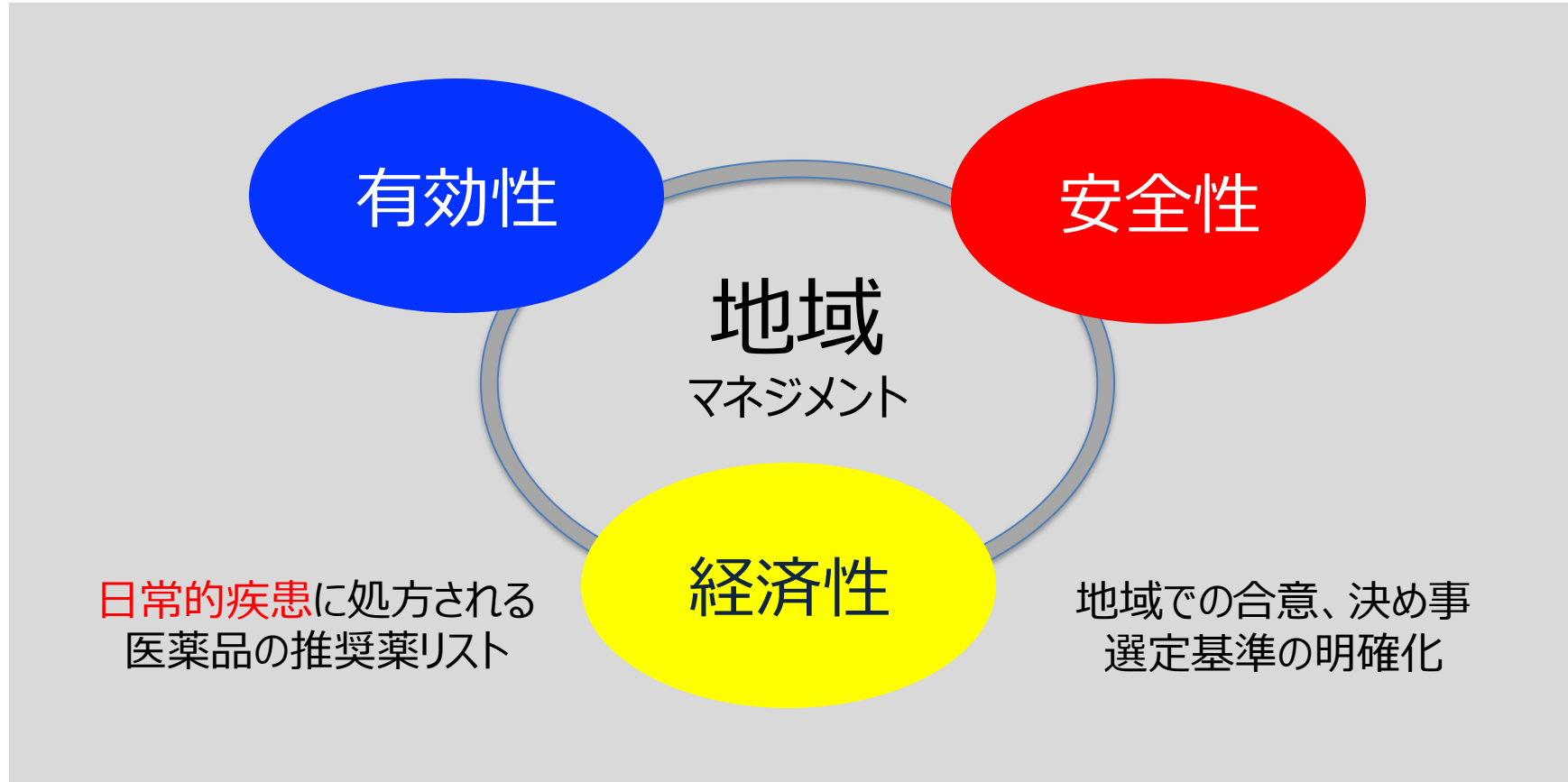
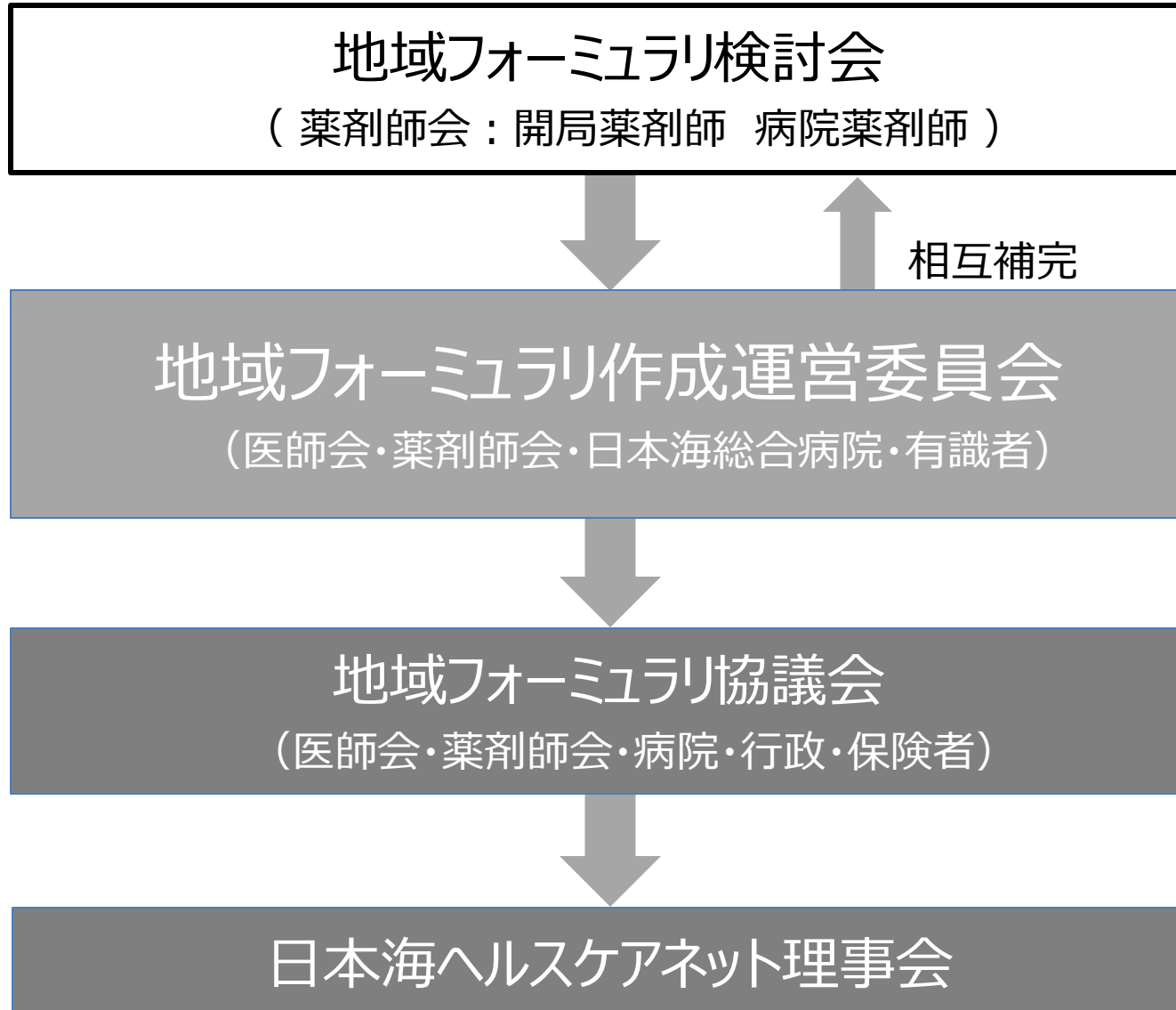


地域フォーミュラ



地域フォーミュラの組織決定プロセス



① 地域フォーミュラの前案作成

該当する医薬品の製薬企業の選定
作業を評価基準に従って実施

② 地域フォーミュラの作成・運営

全体的なマネジメント

③ 検討・確認し承認

第三者的な機関

④ 承認・保証

地域フォーミュラの作成手順

薬剤評価基準

① 現状のシェア分析

どの薬剤が、どの位処方されているか

② 薬剤の選考

同効の候補薬剤からエビデンスに照らし合わせて有効性、安全性、経済性などの観点から決める

③ 製薬企業の選定

安定供給・品質・価格の評価基準により決める
卸の評価・選定も重要な要素と考えている

主項目

- 品質
 - ・ 原薬の査察
 - ・ 無包装状態の安定性
 - ・ 適応相違
 - ・ 印字
- 安定供給
 - ・ 原薬のソースの数
 - ・ 複数工場での製造承認（地域の課題）
 - ・ 自社工場（グループ含む）での製造
 - ・ 直近 5 年間の販売品目と中止品目の割合
- 価格

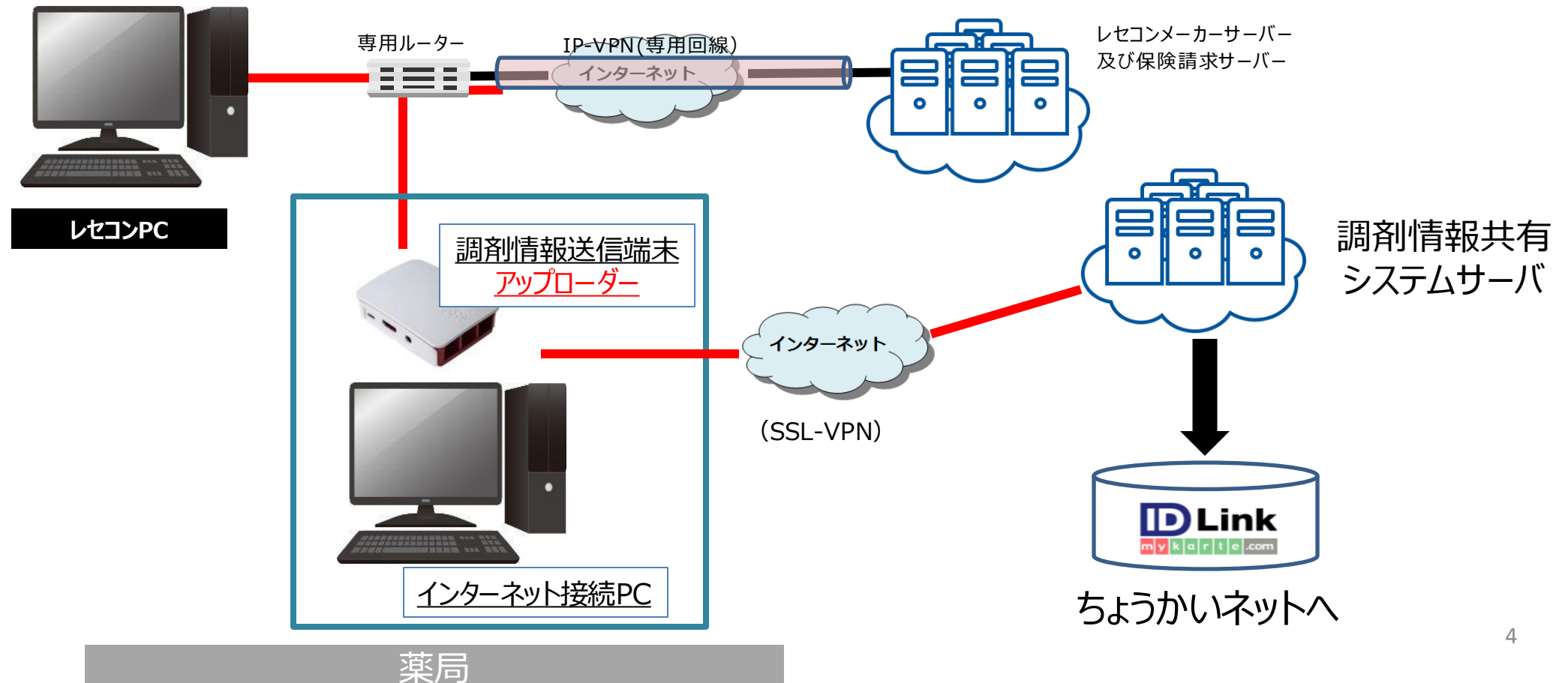
副項目

- ・ バラ包装
- ・ 割線
- ・ OD錠
- ・ 分割後の印字

山形県酒田地域における調剤情報共有システム

薬局側の構成

- インターネット接続PC : 「ちようかいネット（ID-Link）」・「調剤情報クラウド」にインターネットで接続
- 調剤情報送信端末 : レセコンPCから出力されたNSIPSデータを調剤情報クラウドに送信する端末
- レセコンPCと接続 : 調剤情報送信端末とレセコンPCをLANで接続
- レセコンPCの設定 : NSIPSデータの出力を設定（共有フォルダに出力）



地域フォーミュラ 一覧（山形県酒田地区：2025年3月現在）

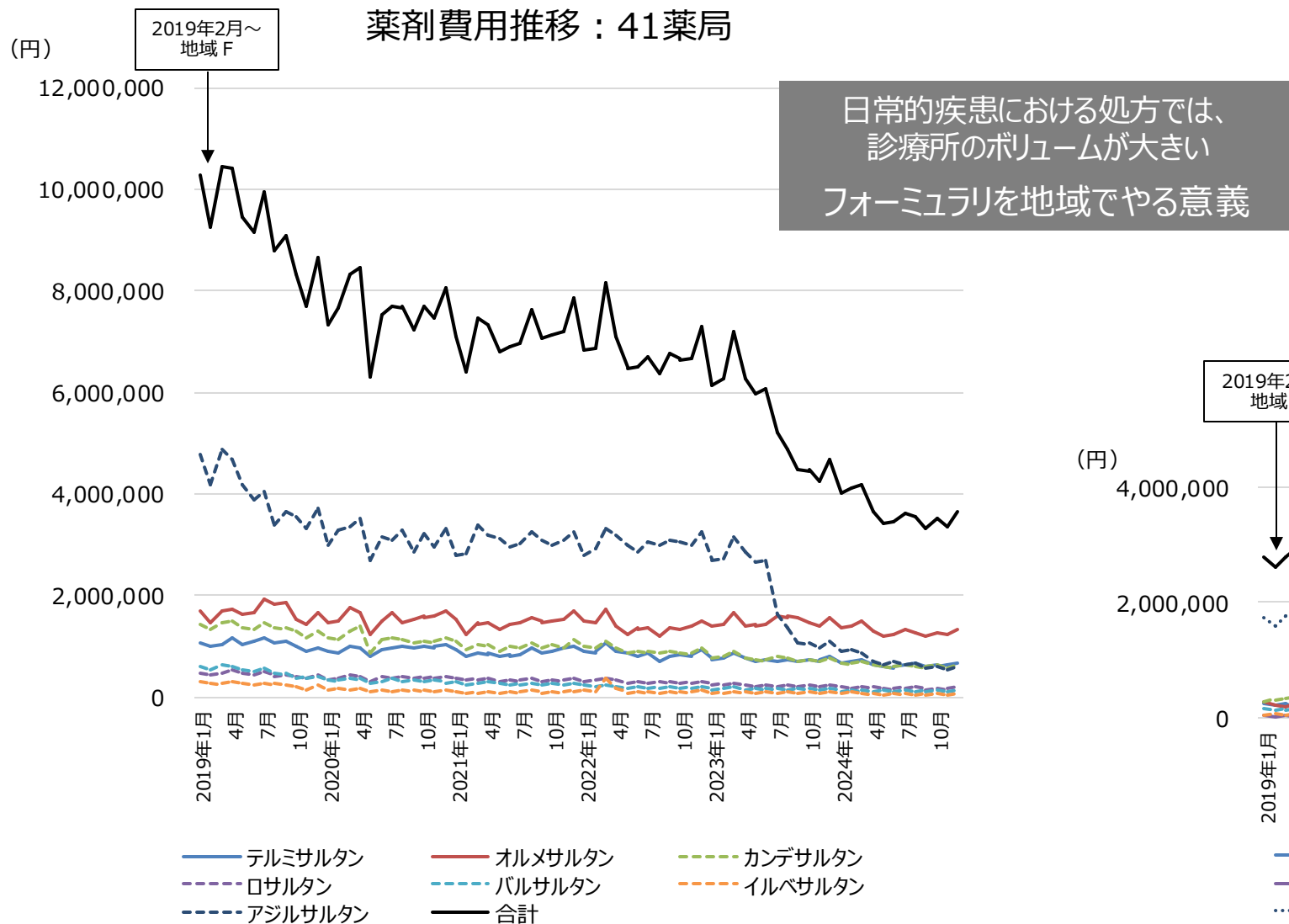
13薬効群

策定日					
2018年11月～ ★	PPI・P-CAB	ランソプラゾール ラベプラゾールナトリウム エソメプラゾール ボノプラザンフマル	推奨 推奨 推奨 オプション	ジェネリック ジェネリック ジェネリック 先発品	
2018年11月～	α-GI	ボグリボース ミグリトール	推奨 推奨	ジェネリック ジェネリック	
2019年2月～ ★	ARB	テルミサルタン オルメサルタン メドキシミル	推奨 推奨	ジェネリック ジェネリック	・作用時間が長い ・相互作用が少ない
2019年2月～	スタチン	ロスバスタチンカルシウム ピタバスタチンカルシウム	推奨 推奨	ジェネリック ジェネリック	・作用が強い ・相互作用が少ない
2019年6月～	ビスホスホネート製剤	アレンドロン酸ナトリウム水和物 35mg リセドロン酸ナトリウム水和物 17.5mg リセドロン酸ナトリウム水和物 75mg	推奨 推奨 推奨	ジェネリック ジェネリック ジェネリック	・週 1 回内服 ・週 1 回内服 ・月 1 回内服
2019年6月～	バイオシミラー製剤	インフリキシマブ	推奨	バイオシミラー	・安価
2019年11月～	第 2 世代抗ヒスタミン薬 （アレルギー性鼻炎に限る）	ロラタジン フェキソフェナジン塩酸塩	推奨 推奨	ジェネリック ジェネリック	眠くなりにくい（安全性）
2019年11月～ ★	インフルエンザ治療薬（成人）	オセルタミビルリン酸塩	推奨	ジェネリック	・1 日 2 回 5 日間内服
		パロキサビル マルボキシル	オプション	先発品	・1 回内服
		ラニナミビルオクタン酸エステル化合物 ザナミビル水和物 ペラミビル水和物	推奨 推奨 推奨	先発品 先発品 先発品	・単回吸入 ・1 日 2 回 5 日間吸入
					・注射薬
2021年4月～	神経障害性疼痛治療薬	プレガバリン	推奨	ジェネリック	
2021年4月～	ヘルペス治療薬	バラシクロビル塩酸塩	推奨	ジェネリック	
		アメナリーフ	オプション	先発品	・腎機能やアドヒアランスに問題がある場合
2021年4月～	ARB+Ca拮抗薬	テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩 カンデサルタン シレキセチル・アムロジンベシル酸塩	推奨 推奨	ジェネリック ジェネリック	・作用時間が長い ・相互作用が比較的少ない
2022年11月～	慢性便秘症治療薬	酸化マグネシウム	推奨	ジェネリック	習慣性が少なく長期間投与も可能
		ルピプロストン エロピキシパット水和物 リナクロチド	オプション オプション オプション	先発品 先発品 先発品	腸液の分泌促進 胆汁酸の再吸収を抑制 腸管内への水分分泌を促進
		センノシド ピコスルファートナトリウム水和物 センナ・センナ実	オプション（屯用） オプション（屯用） オプション（屯用）	ジェネリック ジェネリック ジェネリック	大腸刺激性下剤は短期間使用が原則
2023年12月～	睡眠薬	エスゾピクロン	推奨	ジェネリック	高齢者は副作用リスクを評価すること
		レンボレキサント スボレキサント	オプション オプション	先発品 先発品	副作用リスクが高いと判断された場合

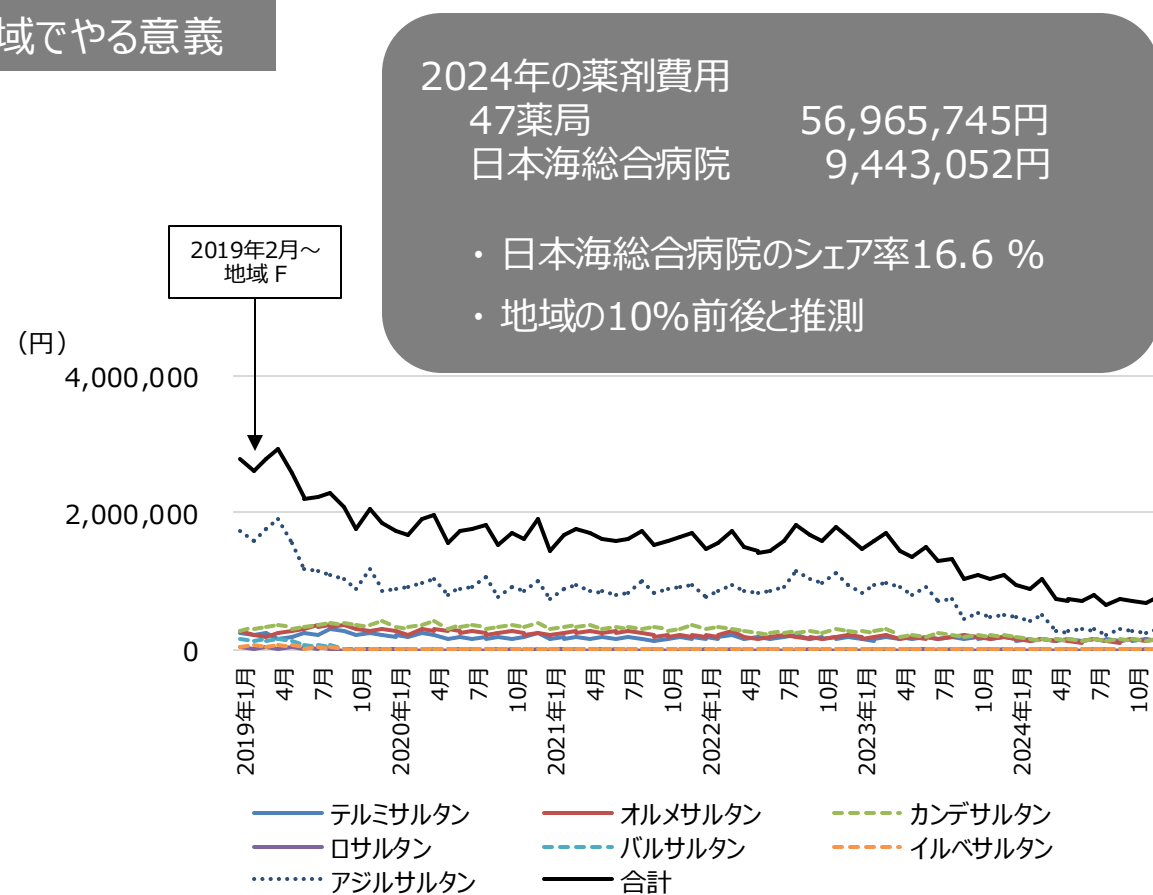
★：更新済み

アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）薬剤費用

薬剤費用推移：41薬局



薬剤費用推移：日本海総合病院外来

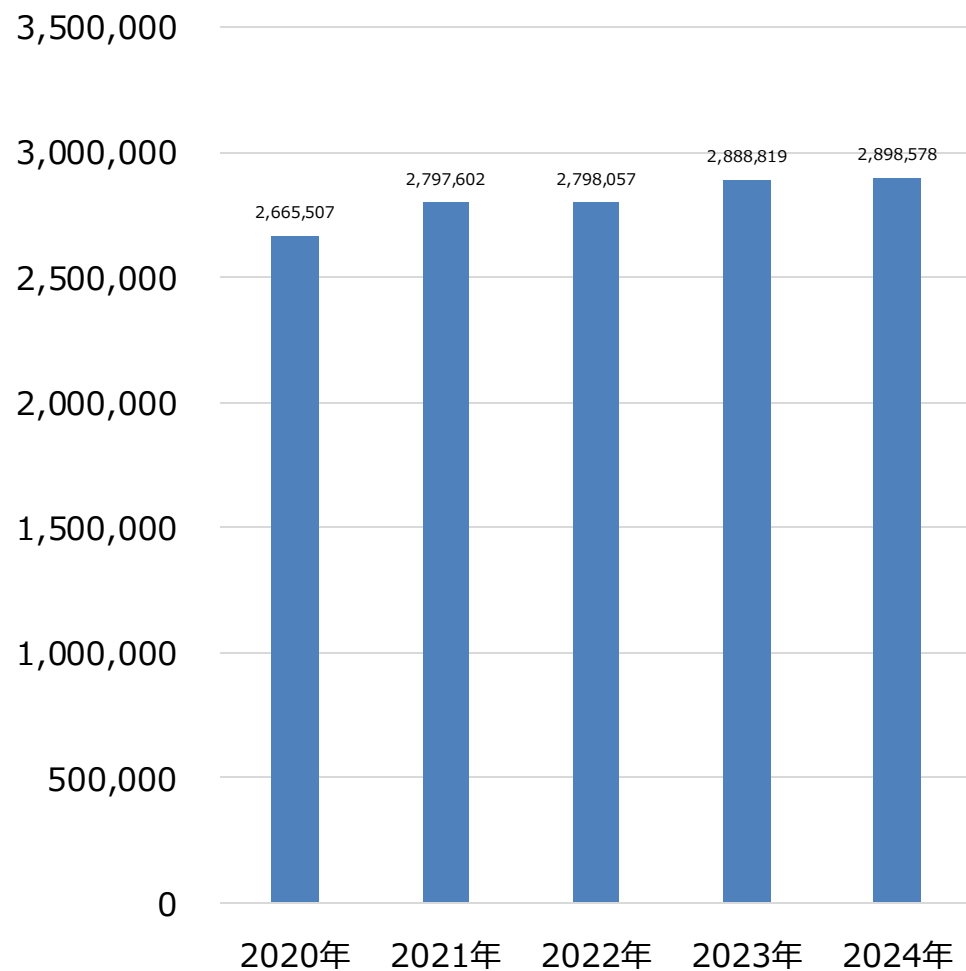


PPI・P-CAB
経口酸分泌抑制剤

2018年11月～

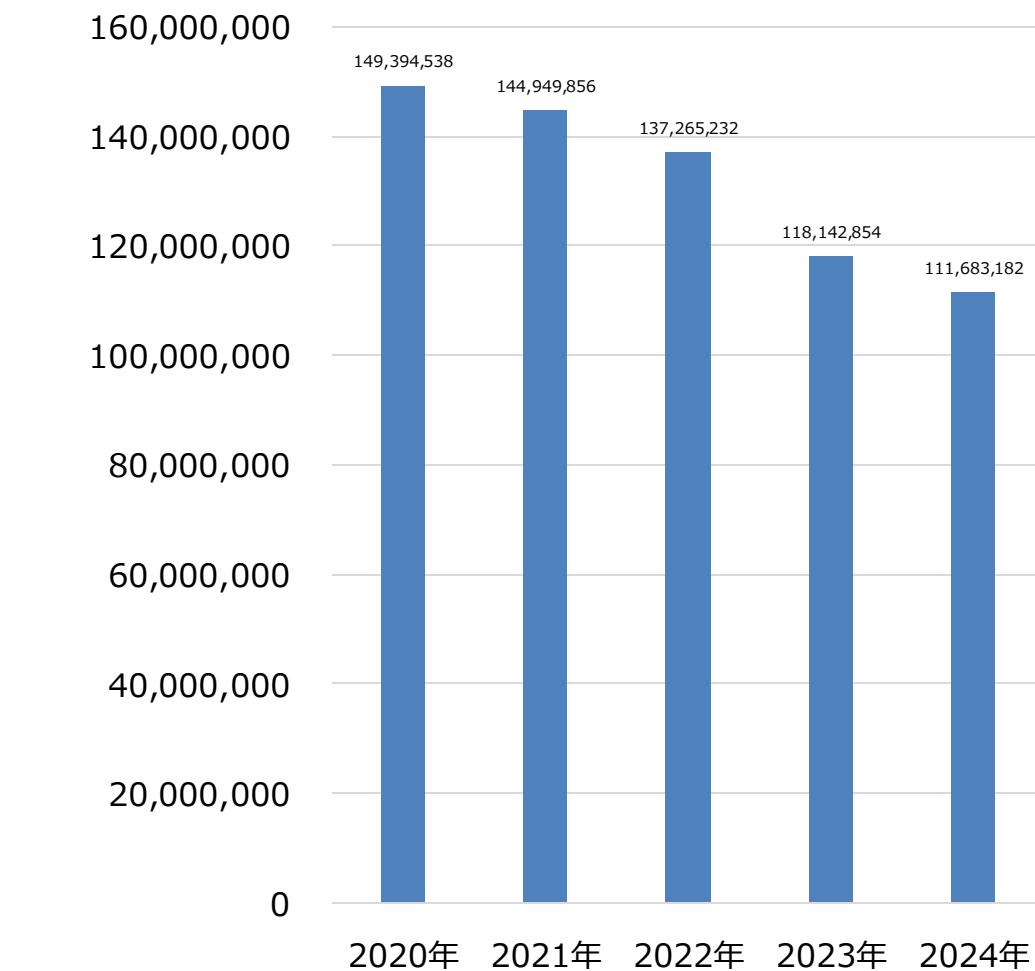
経口酸分泌抑制剤（PPI・P-CAB）

年間単純数量



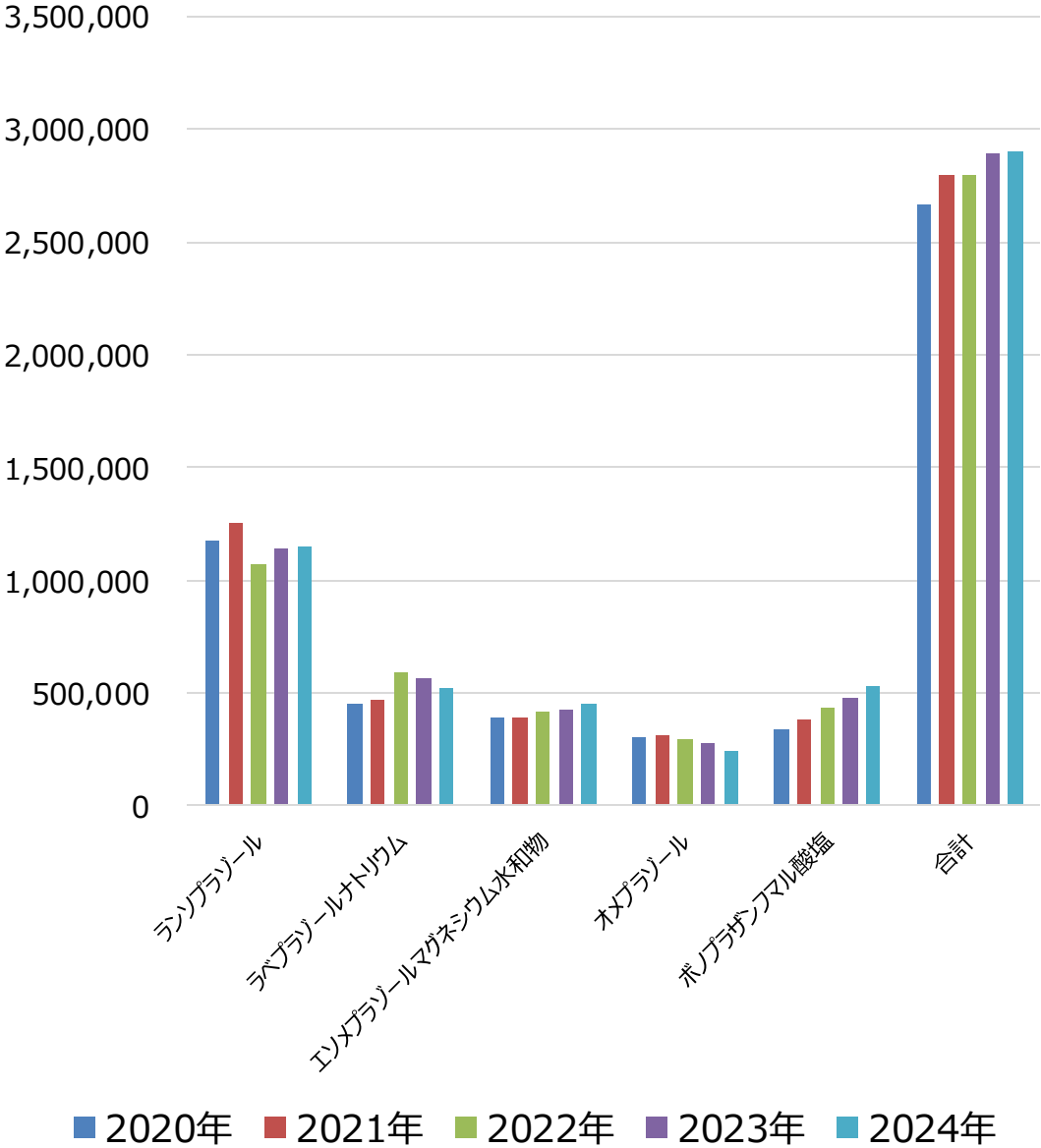
(円)

年間薬剤費用



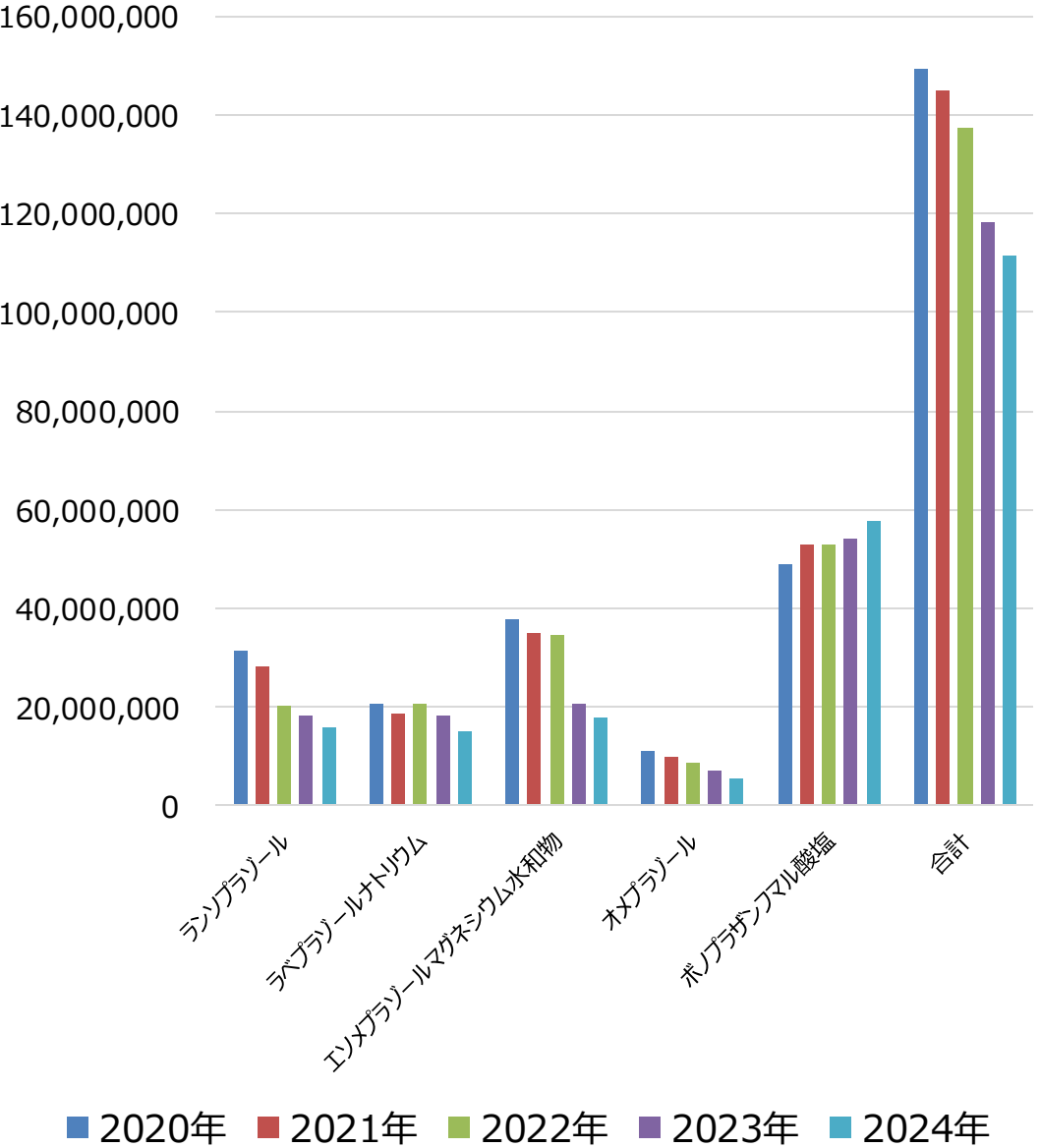
経口酸分泌抑制剤（PPI・P-CAB）

薬剤別の年間単純数量

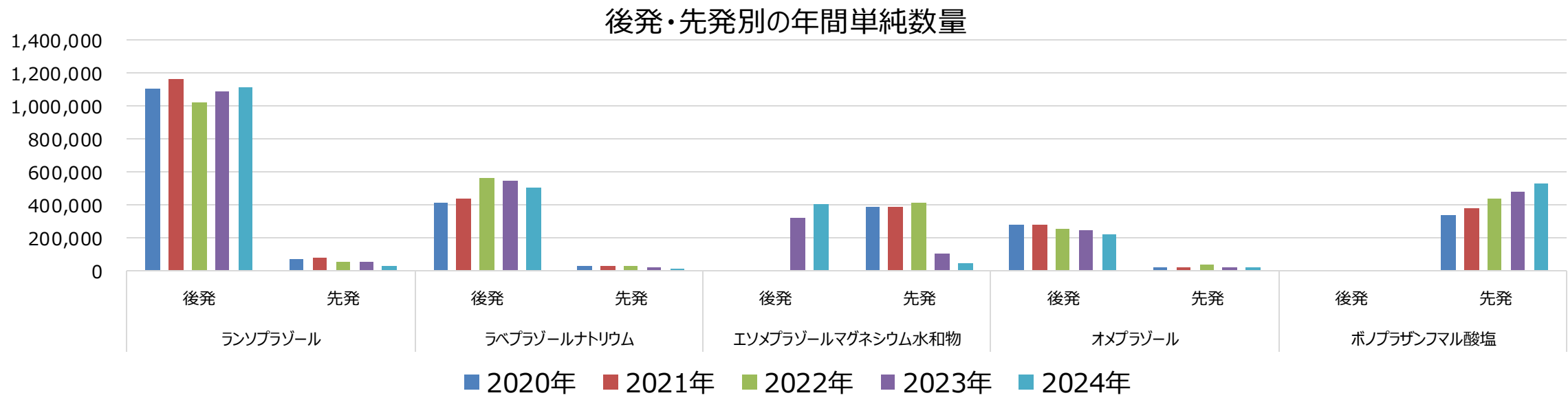
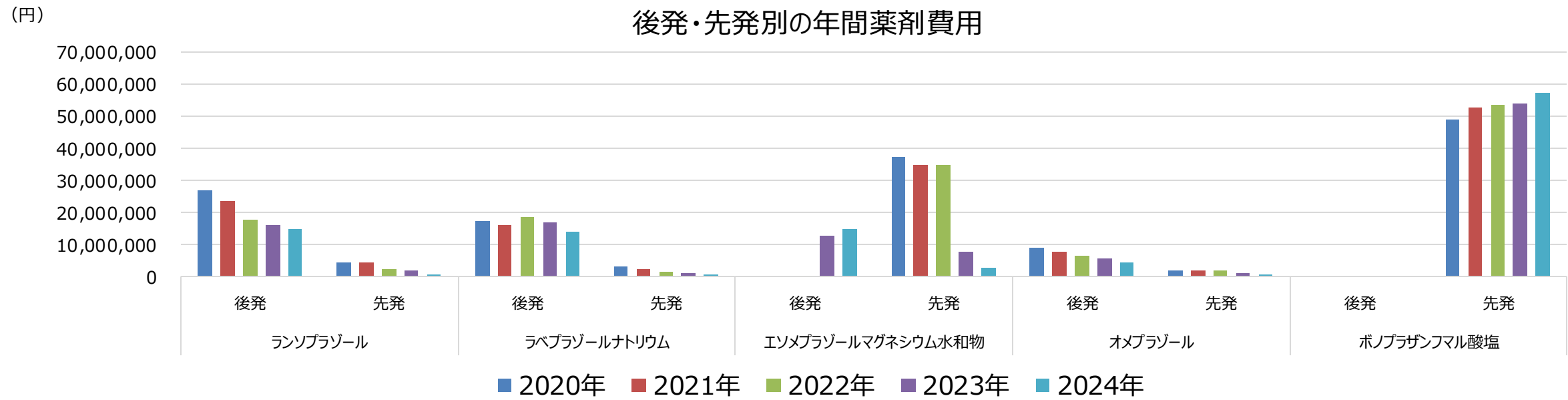


(円)

薬剤別の年間薬剤費用



経口酸分泌抑制剤（PPI・P-CAB）

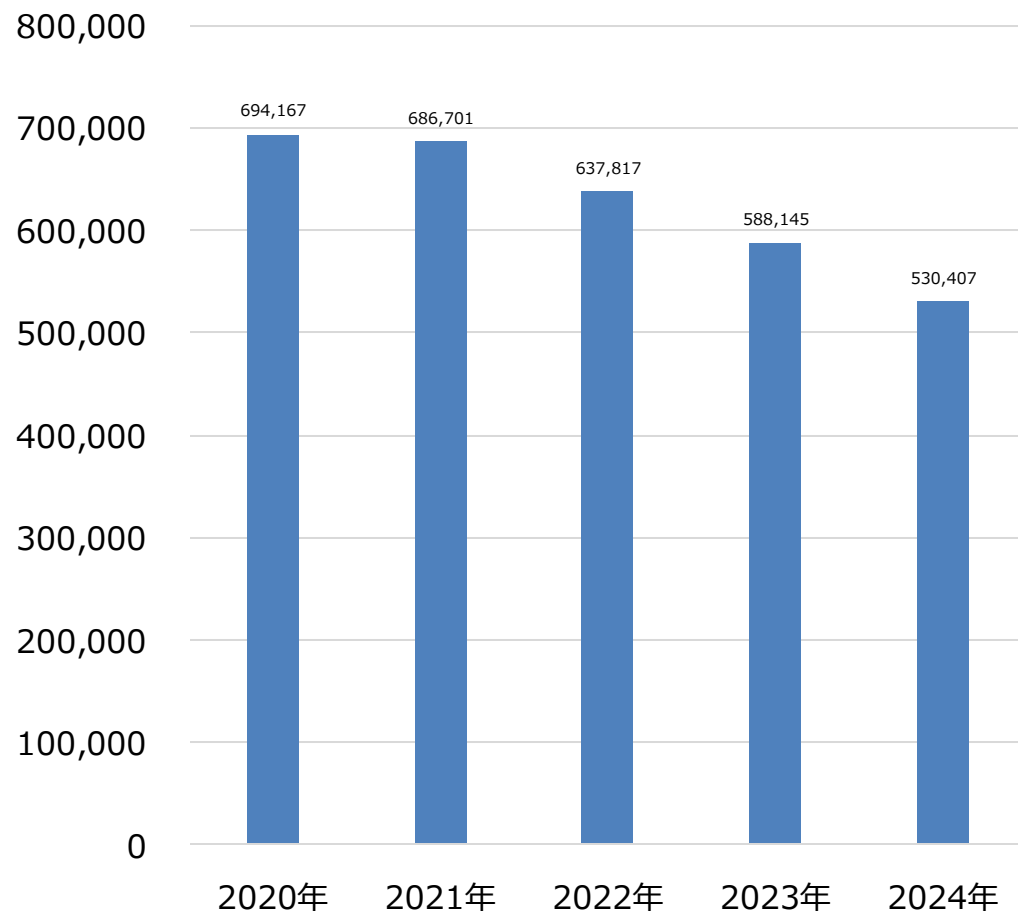


α -GI
 α -グルコシダーゼ阻害薬

2018年11月～

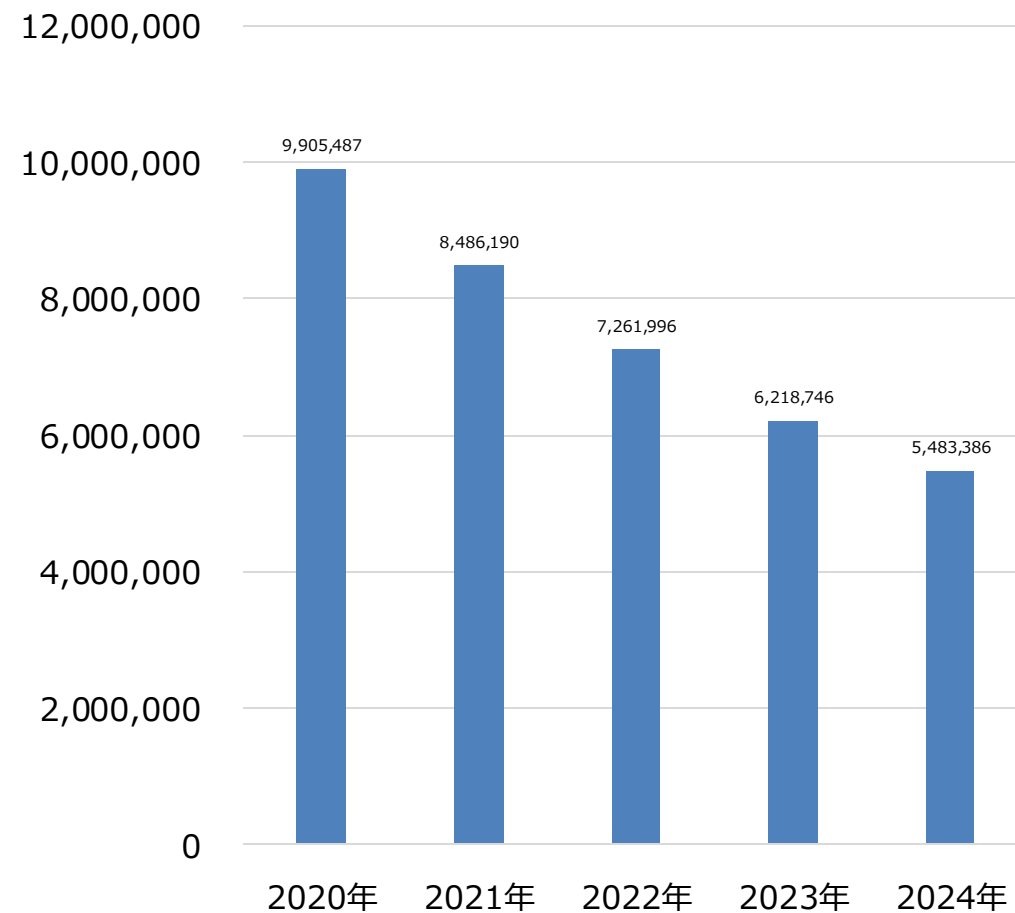
α-グルコシダーゼ阻害薬（2型糖尿病用）

年間単純数量



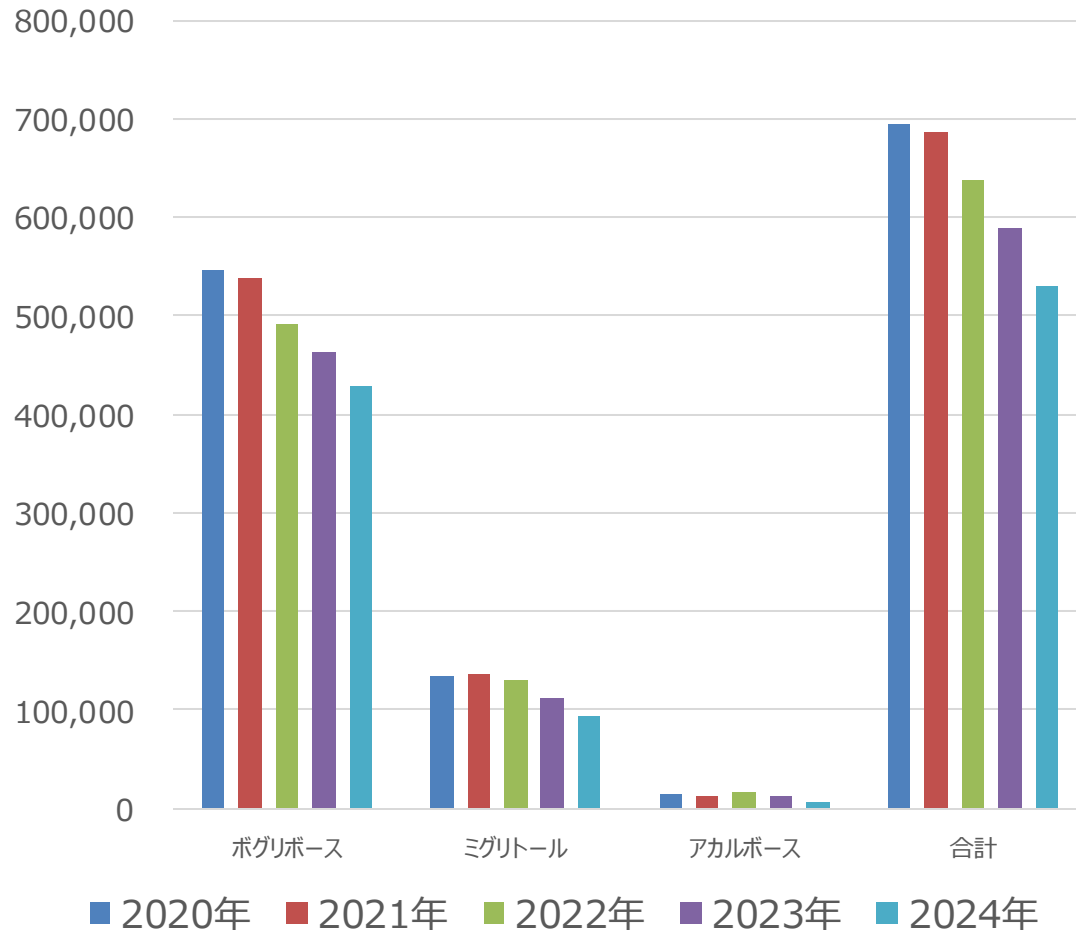
(円)

年間薬剤費用



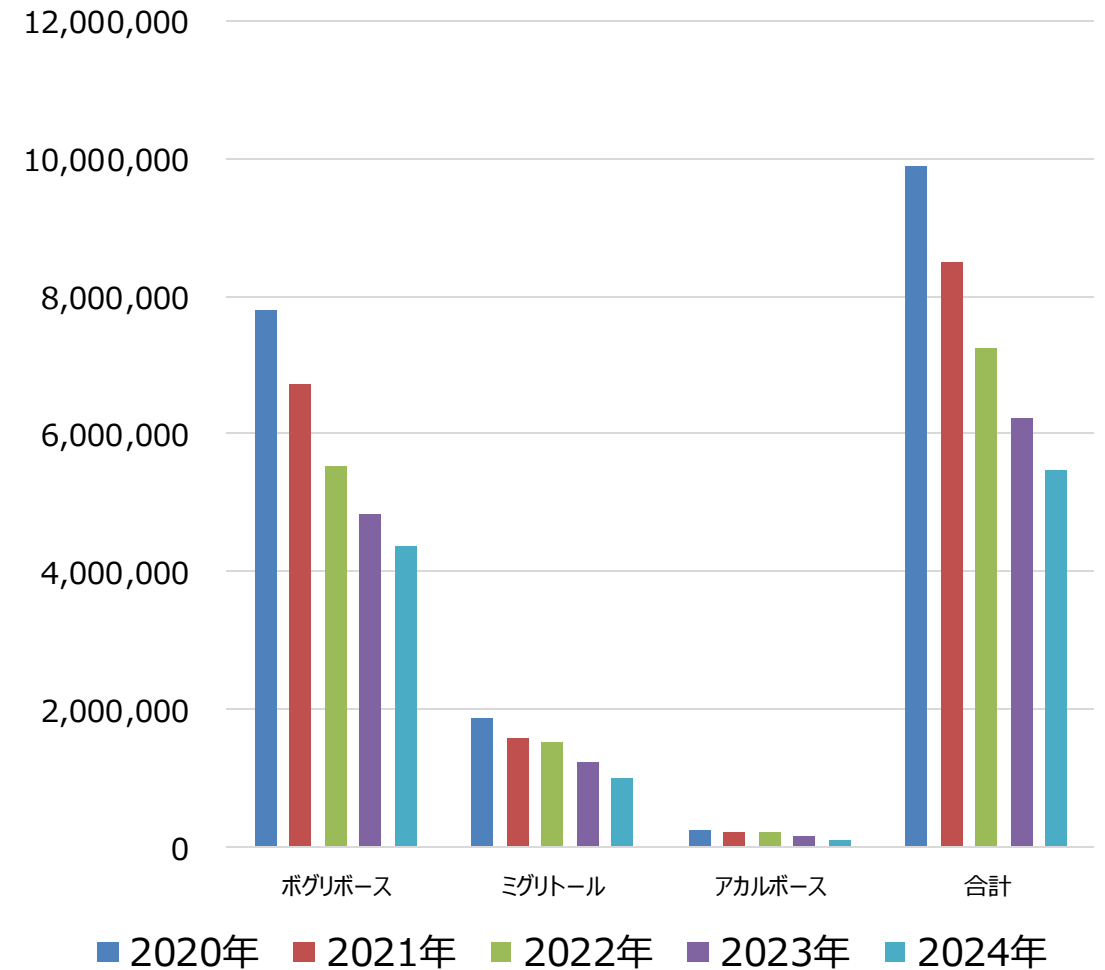
α-グルコシダーゼ阻害薬（2型糖尿病用）

薬剤別の年間単純数量

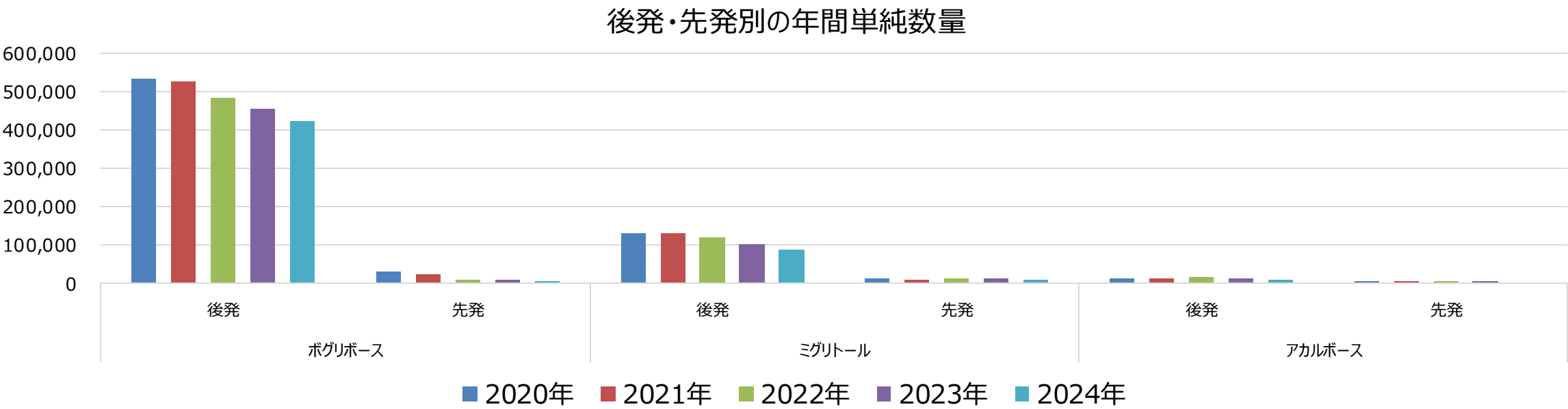
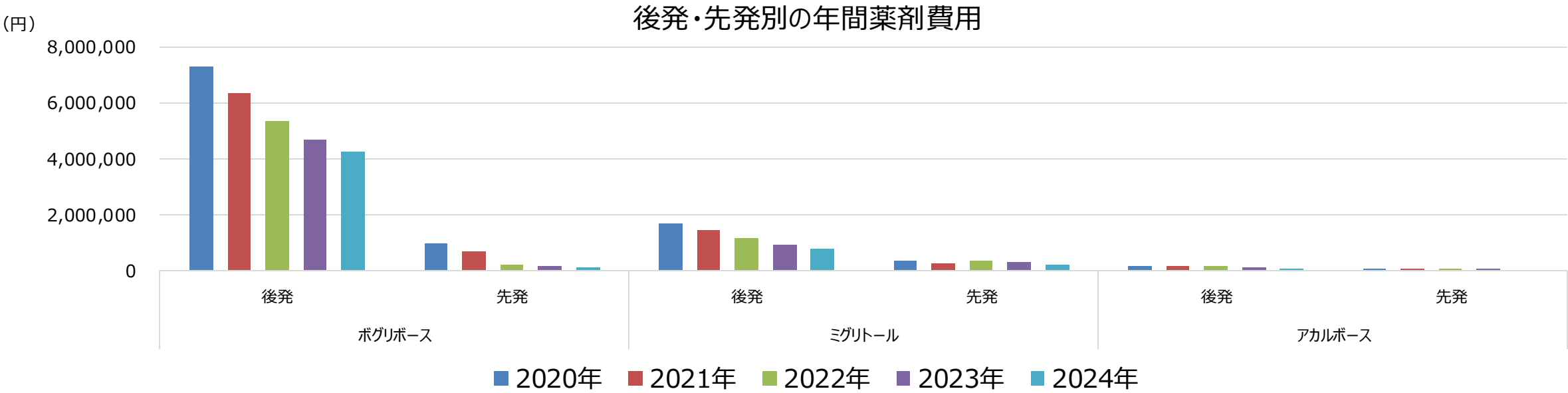


薬剤別の年間薬剤費用

(円)



α-グルコシダーゼ阻害薬（2型糖尿病用）

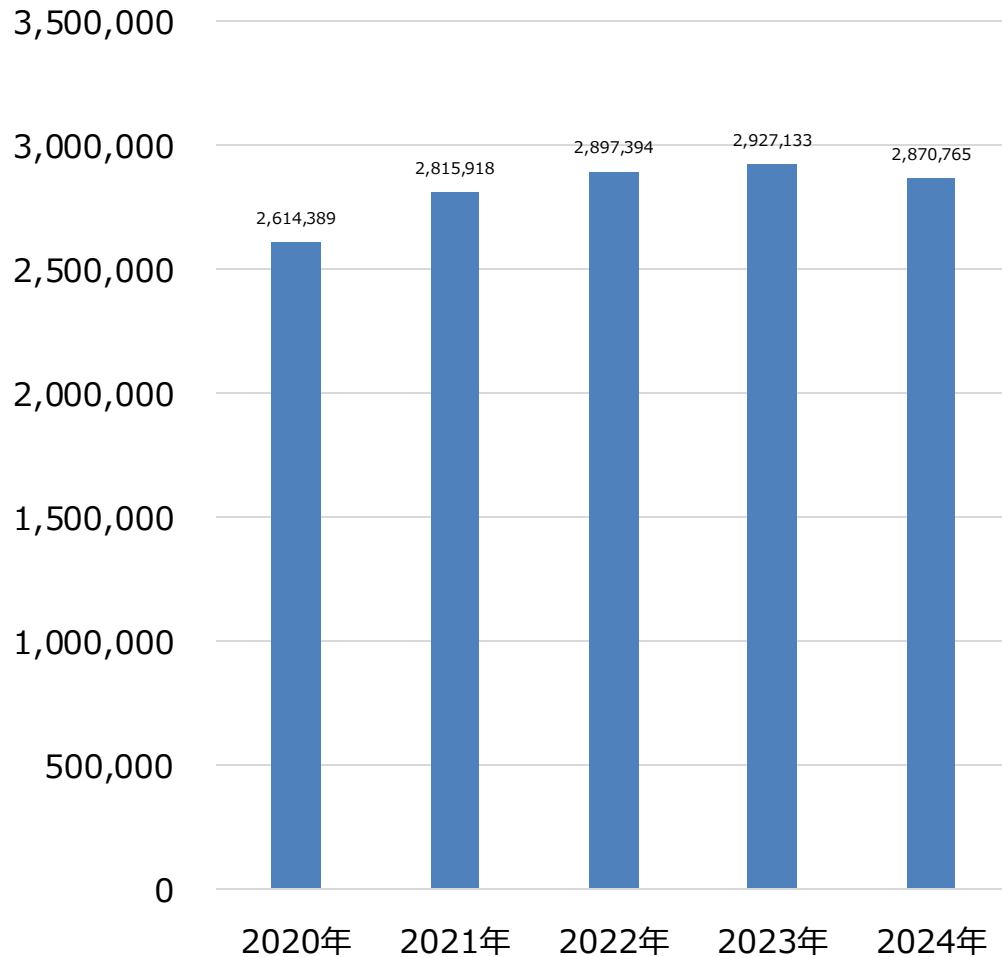


ARB アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬

2019年2月～

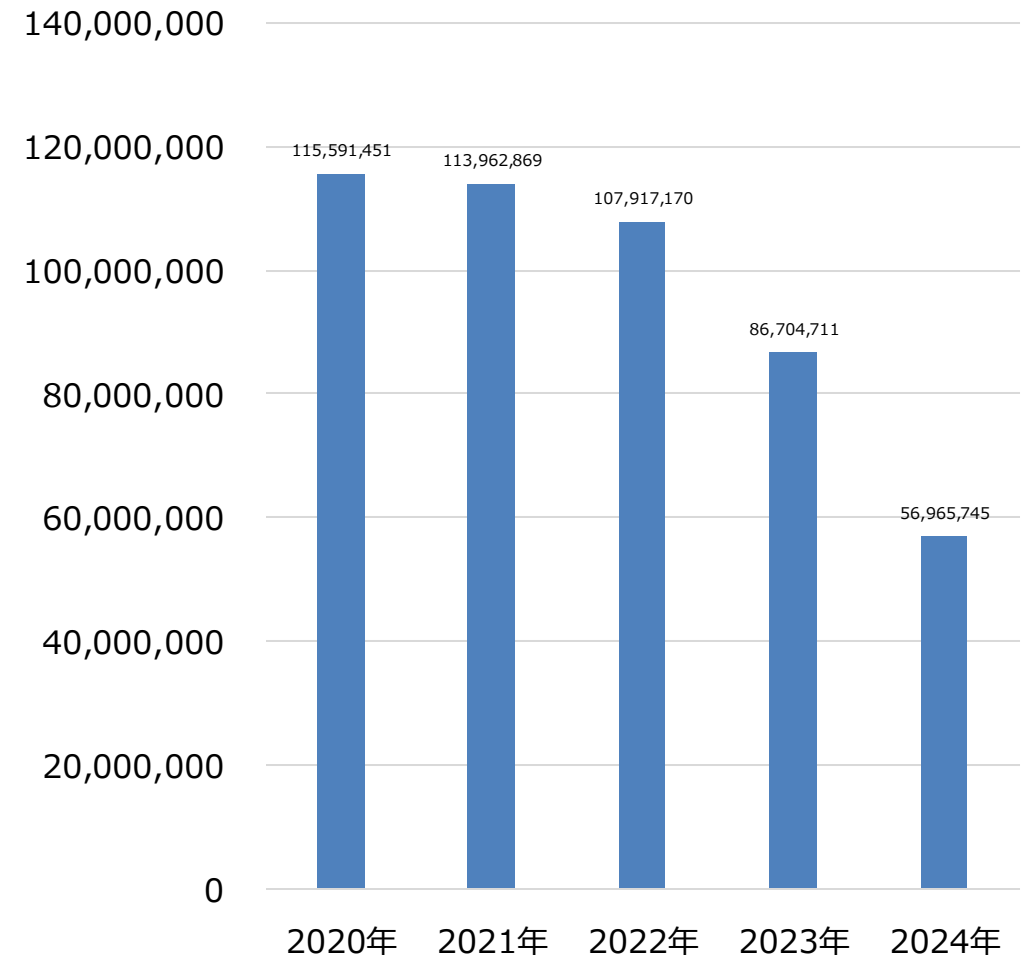
アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）

年間単純数量



(円)

年間薬剤費用

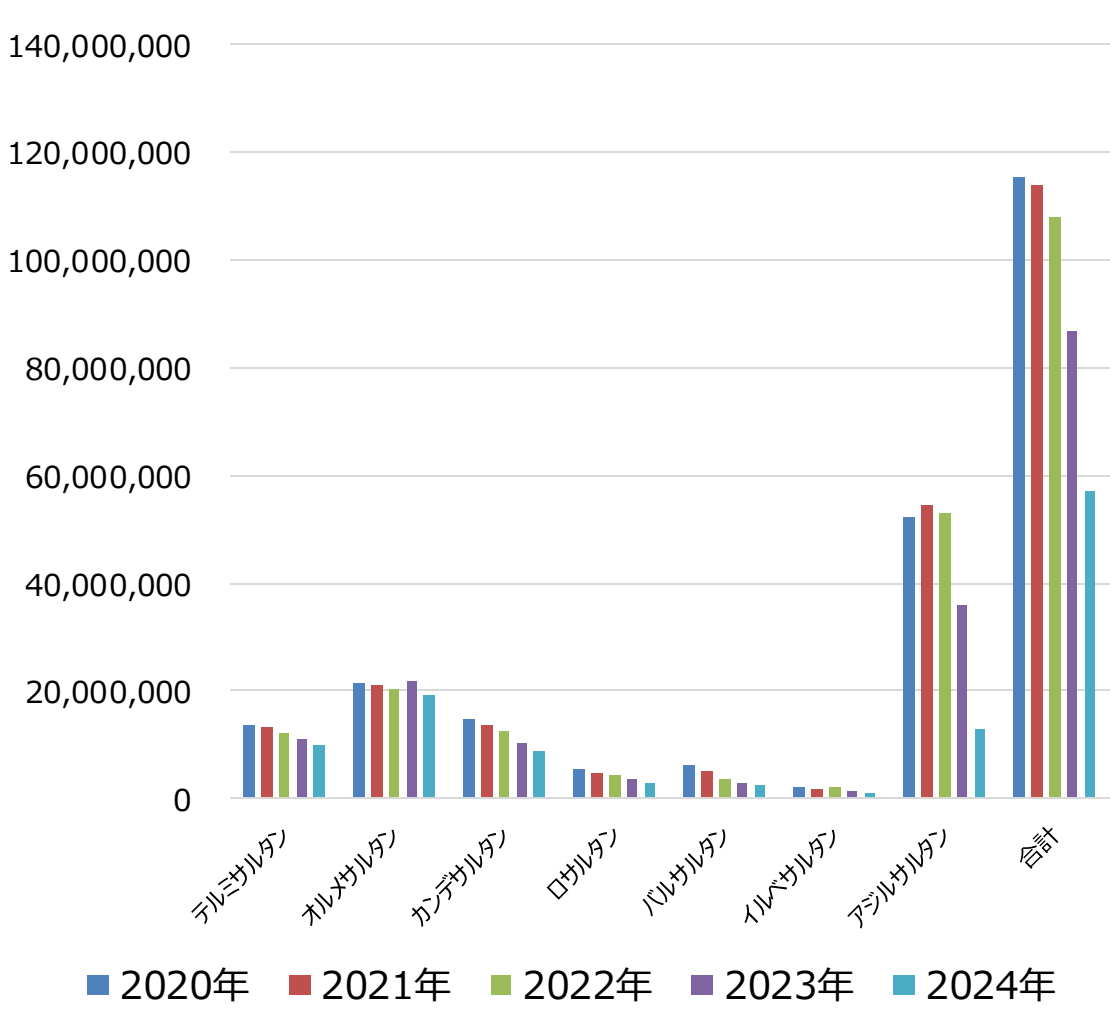
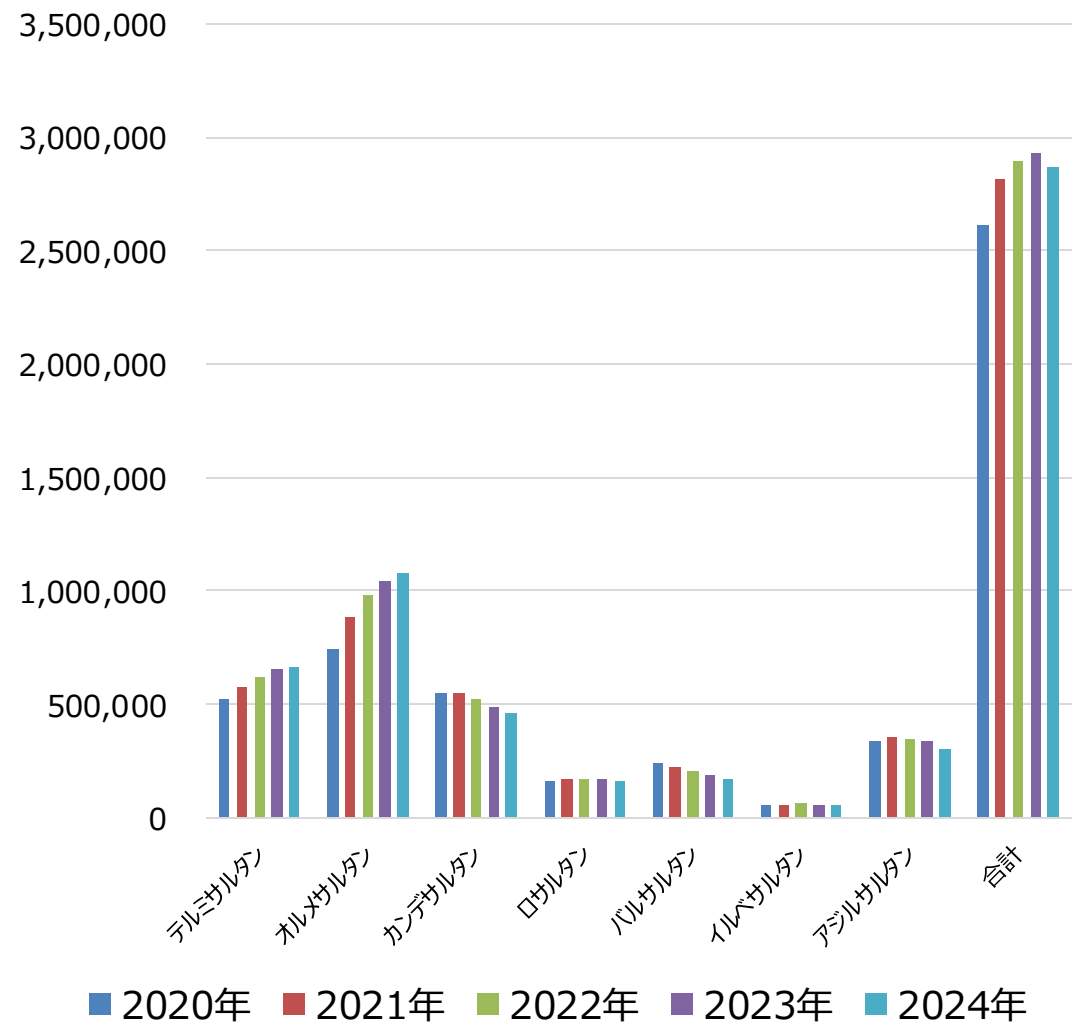


アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）

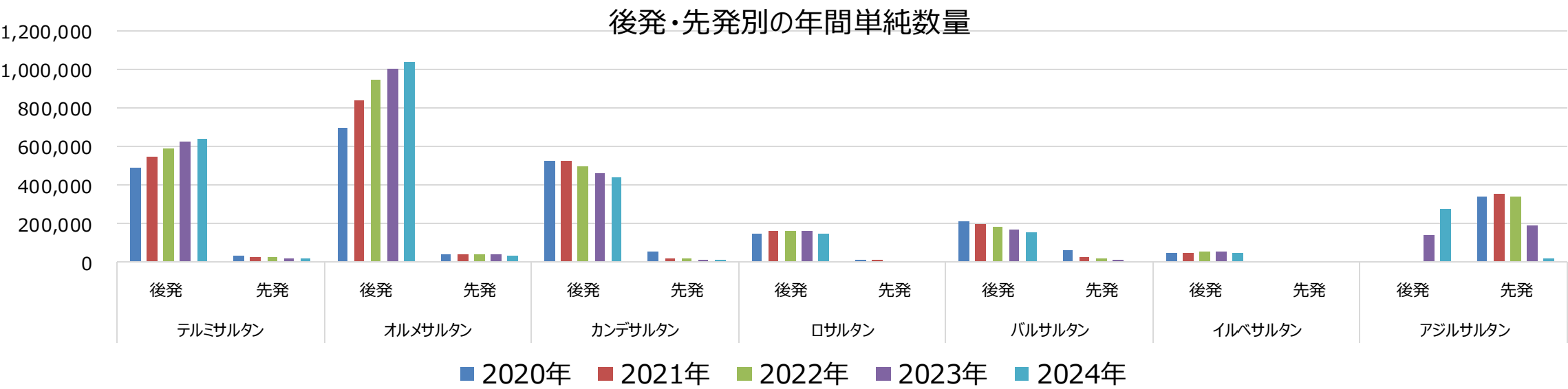
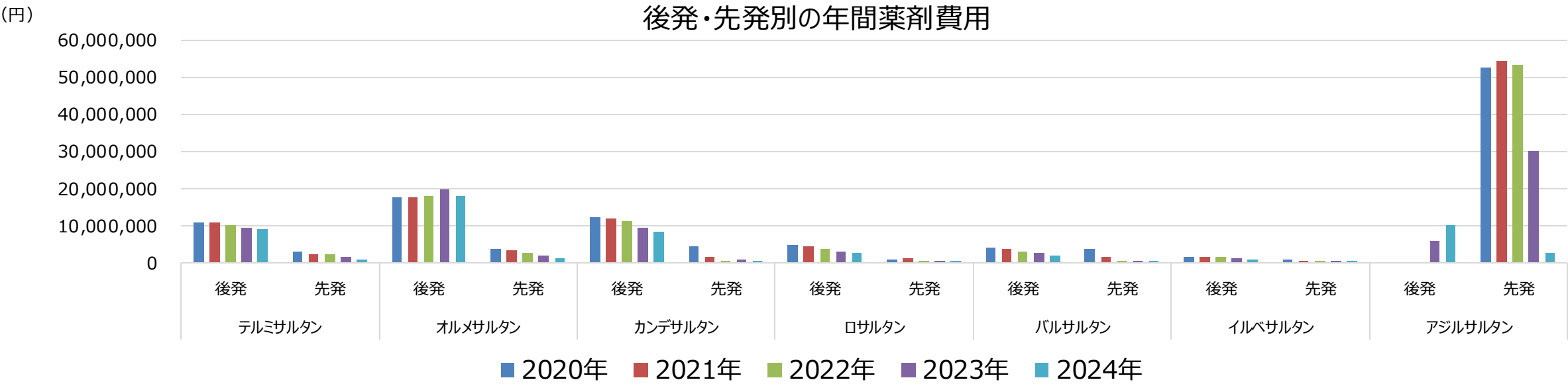
薬剤別の年間単純数量

(円)

薬剤別の年間薬剤費用



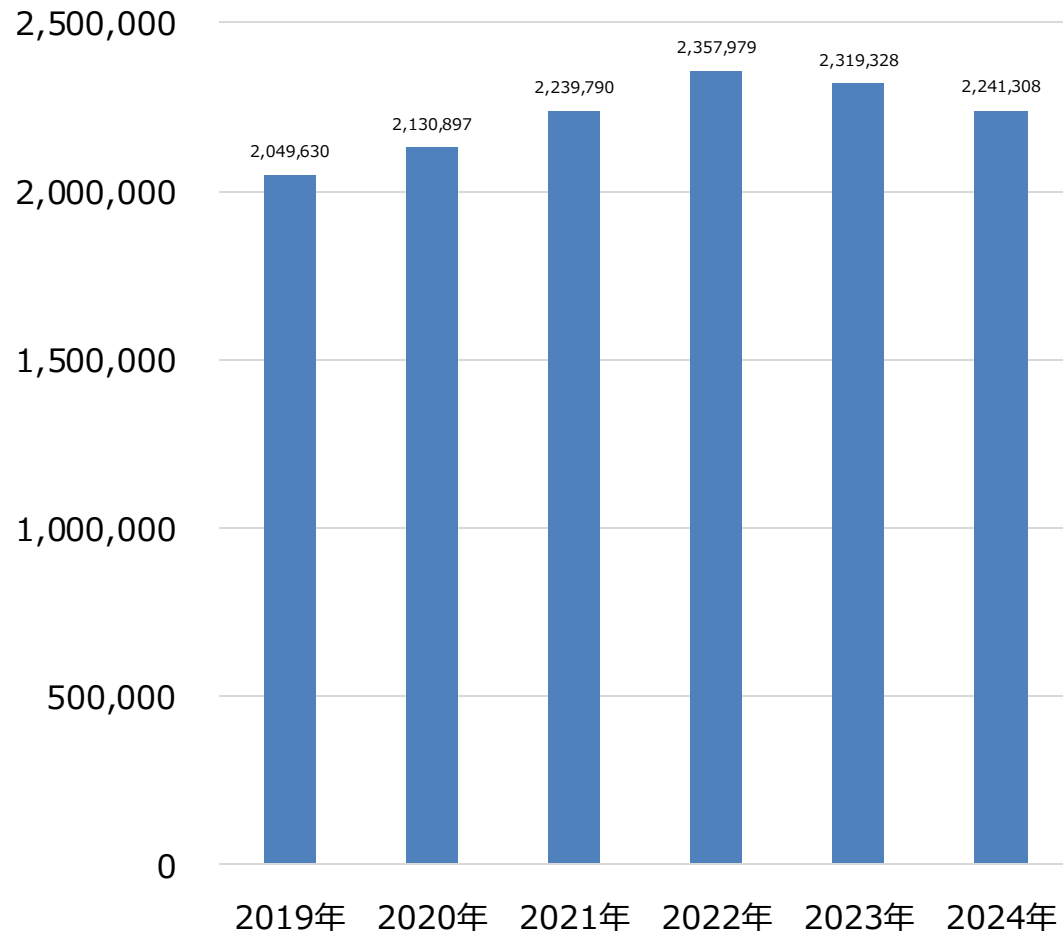
アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）



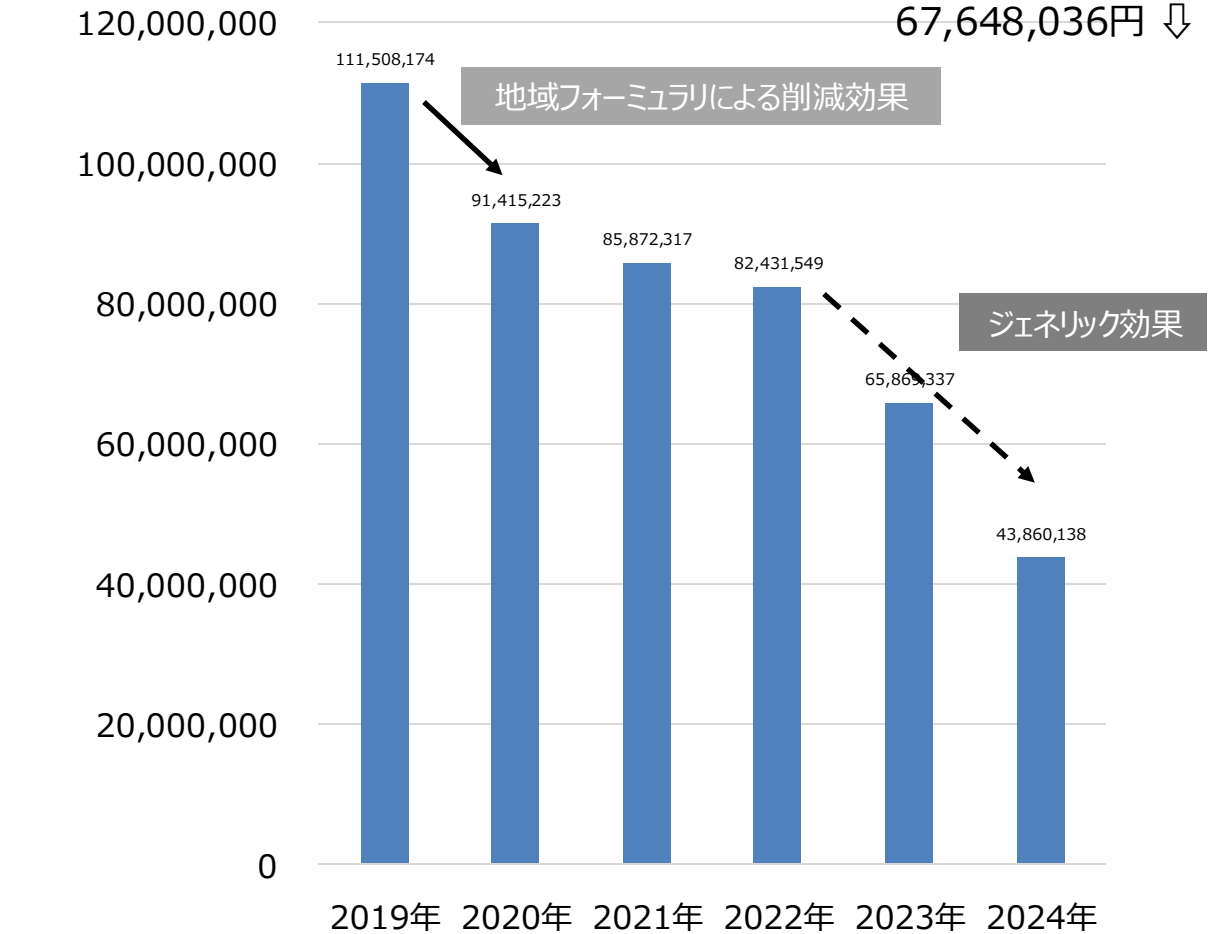
アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）

～ 2019年1月から経過を追跡できる41薬局（地域薬局の70%）の年次推移 ～

年間単純数量



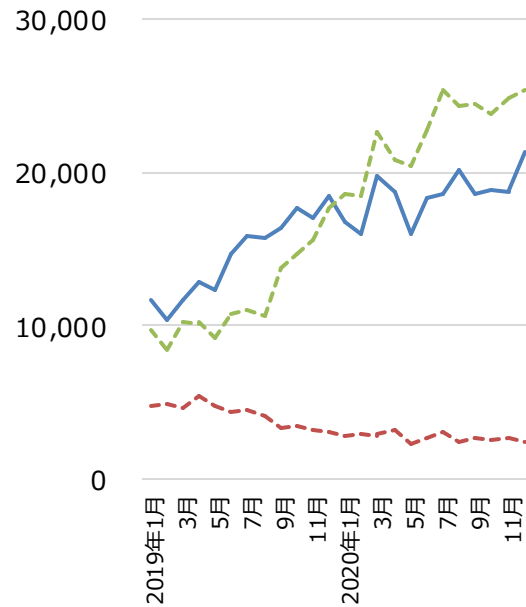
年間薬剤費用 (円)



ARB 推奨薬毎の単純使用数量推移

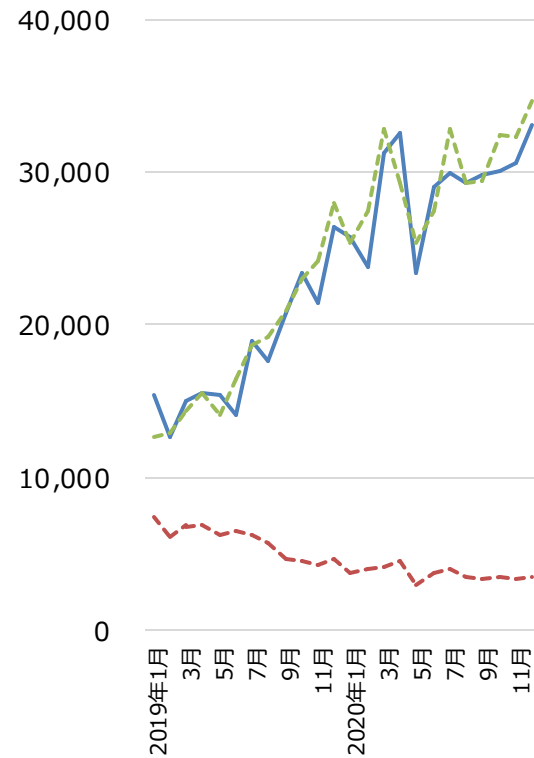
第一推奨薬

テルミサルタン



第二推奨薬

オルメサルタンメドキシミル



第三推奨薬

カンデサルタンシレキセチル



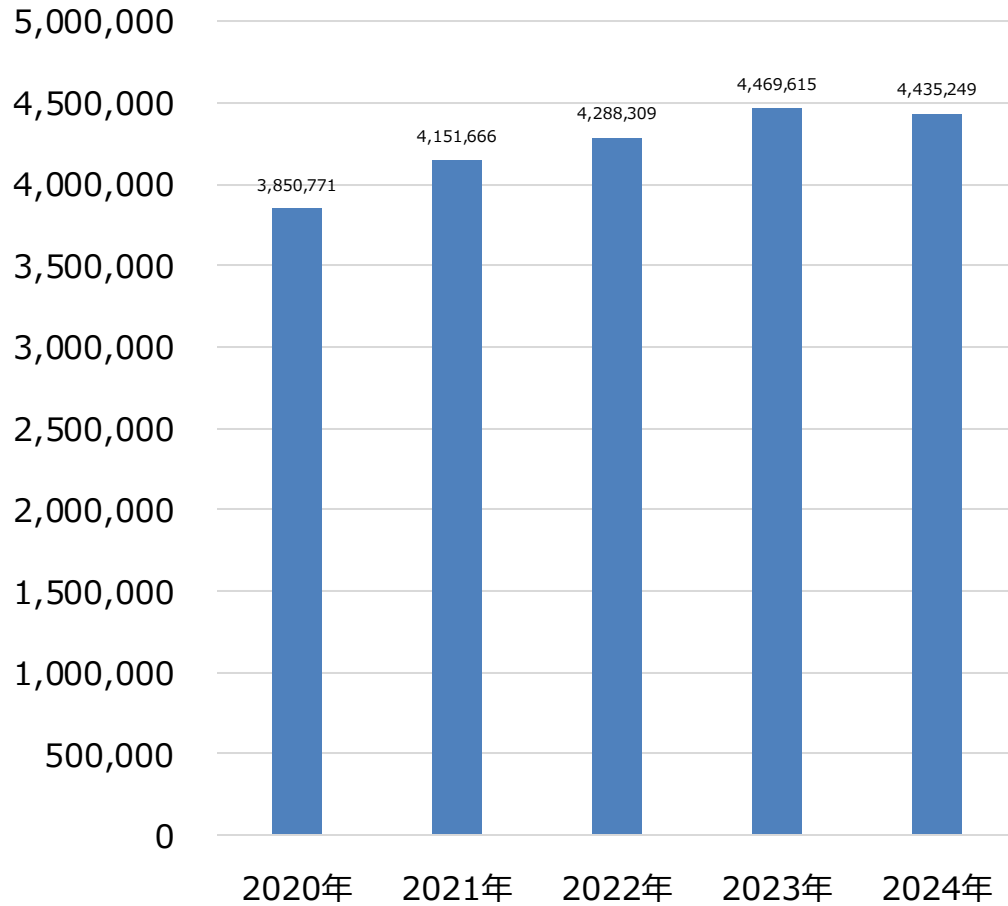
— 推奨メーカー（後発） - - - 非推奨メーカー（後発） - - - 非推奨メーカー（先発）

スタチン HMG-CoA還元酵素阻害剤

2019年2月～

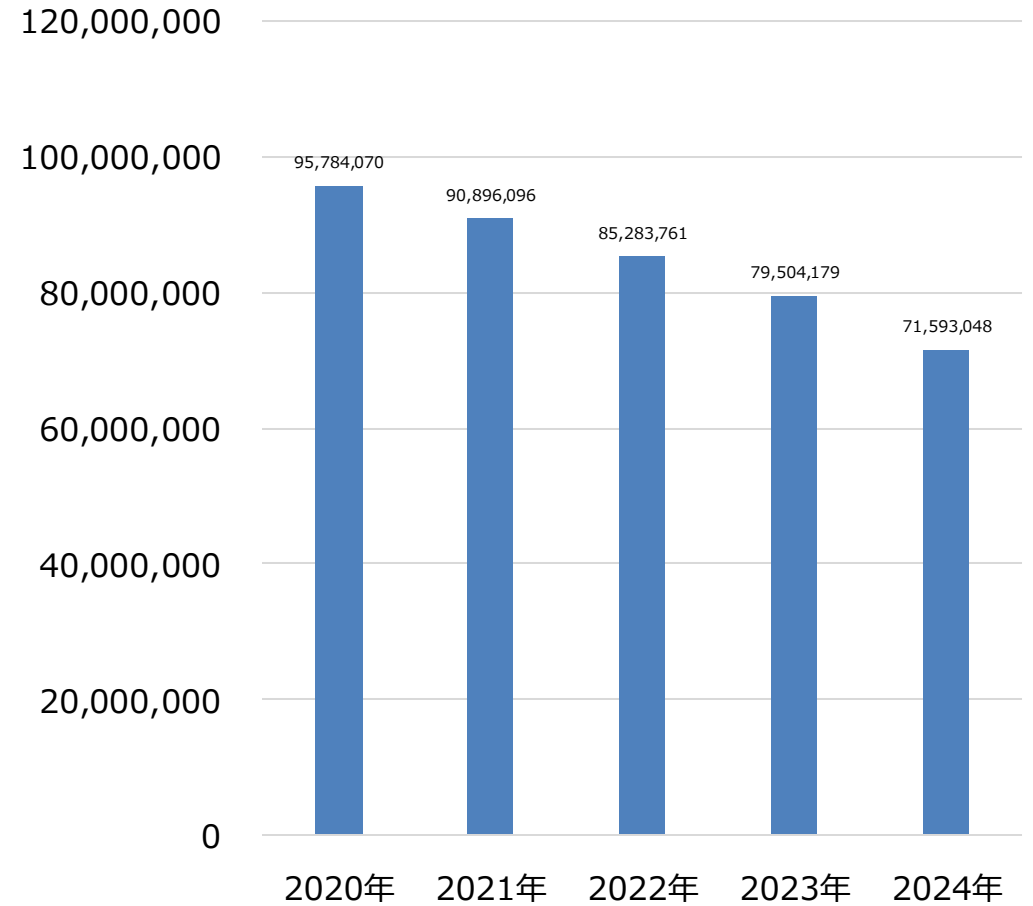
HMG-CoA還元酵素阻害剤（スタチン）

年間単純数量



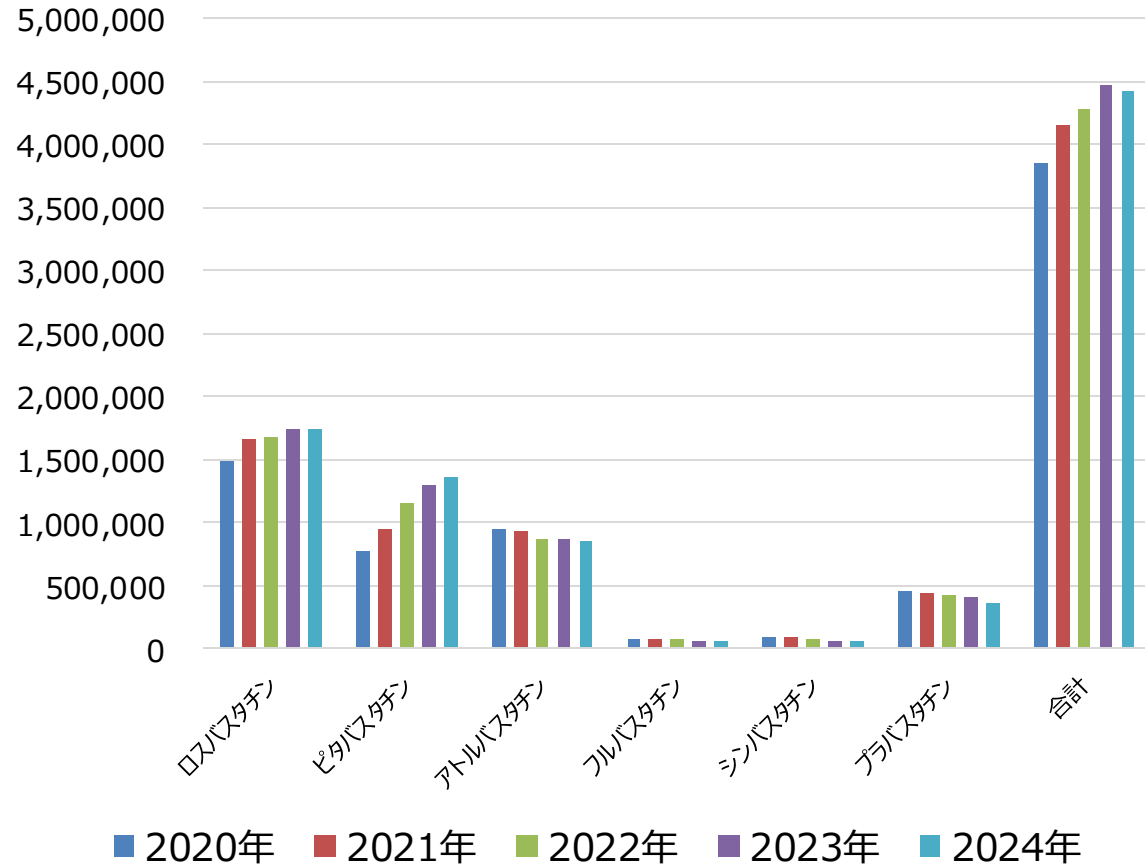
(円)

年間薬剤費用



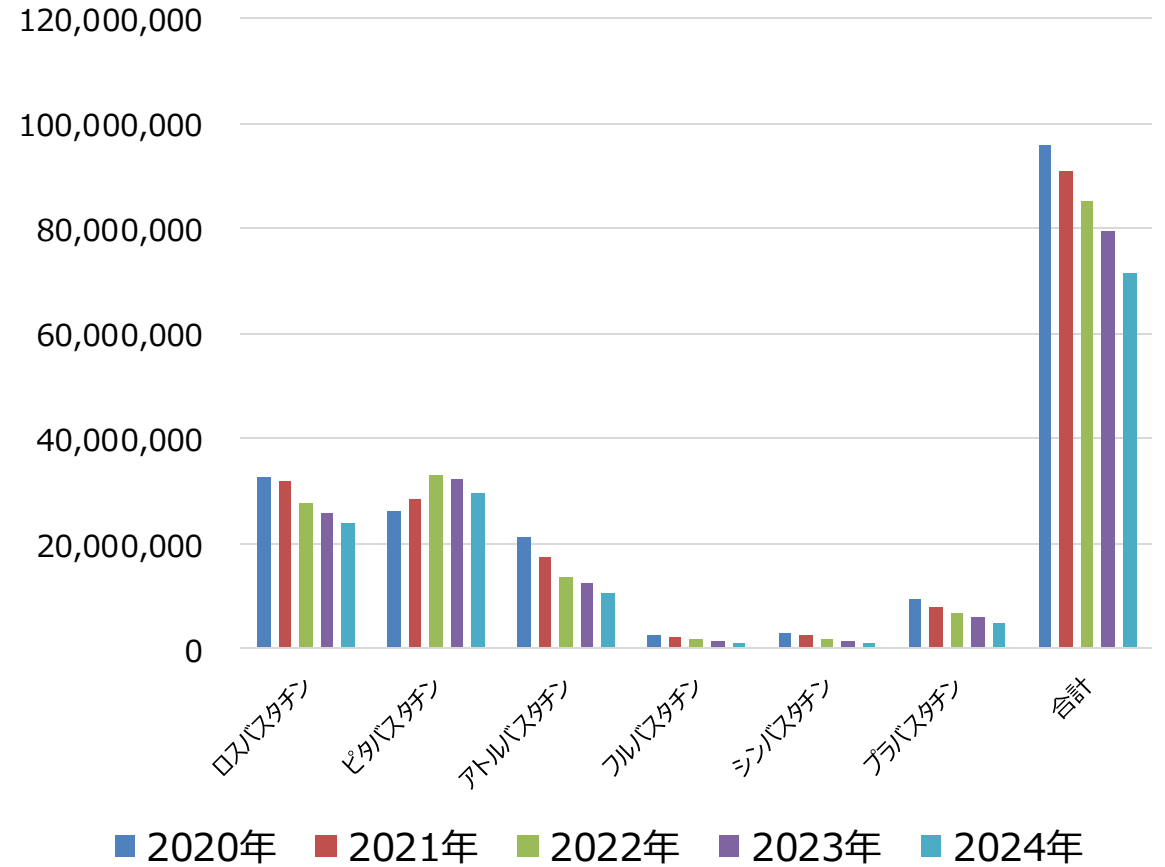
HMG-CoA還元酵素阻害剤（スタチン）

薬剤別の年間単純数量

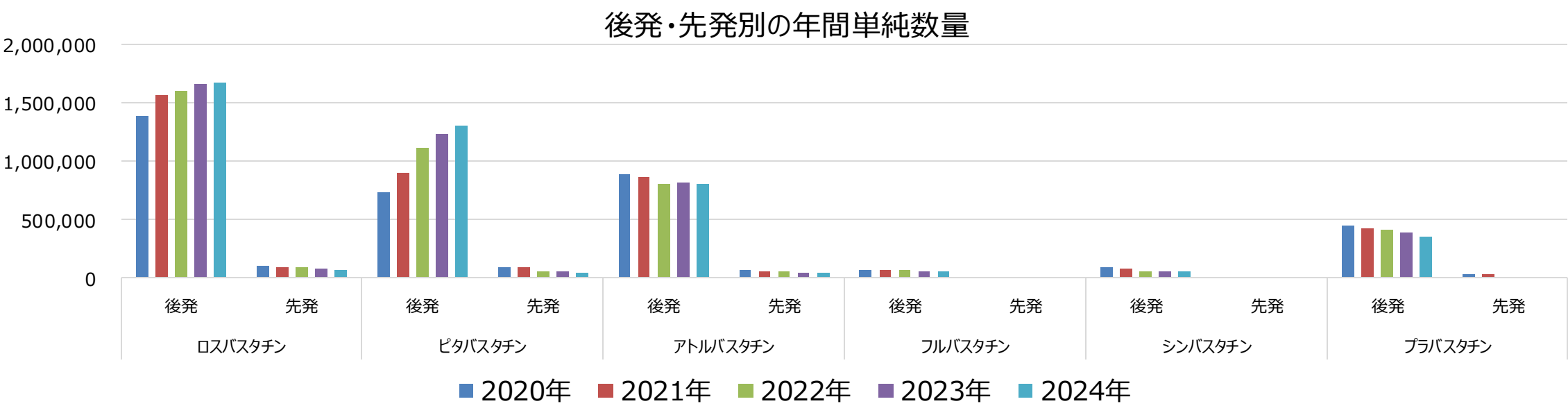
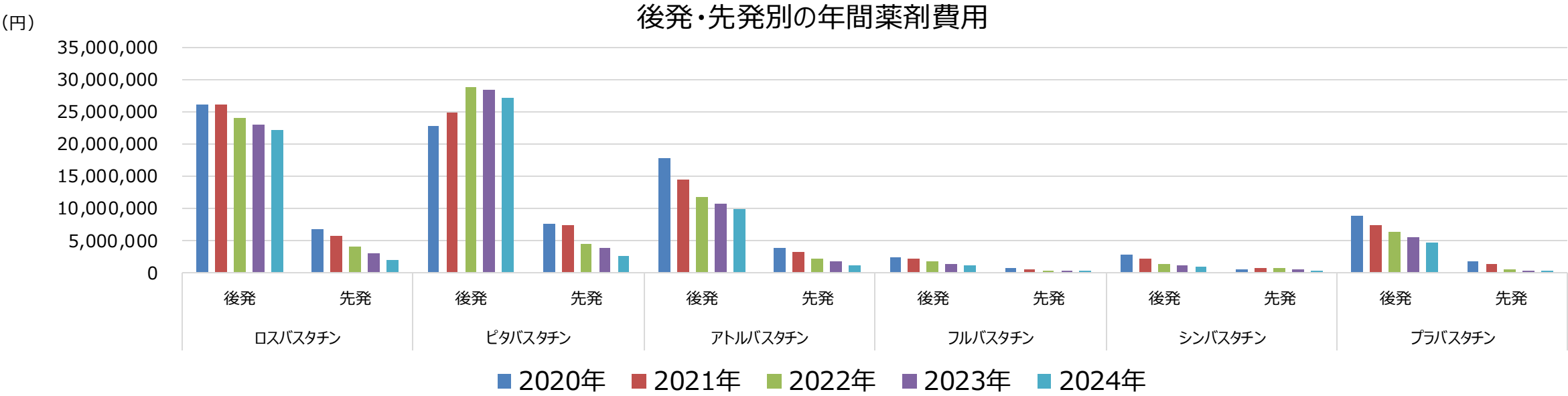


薬剤別の年間薬剤費用

(円)



HMG-CoA還元酵素阻害剤（スタチン）

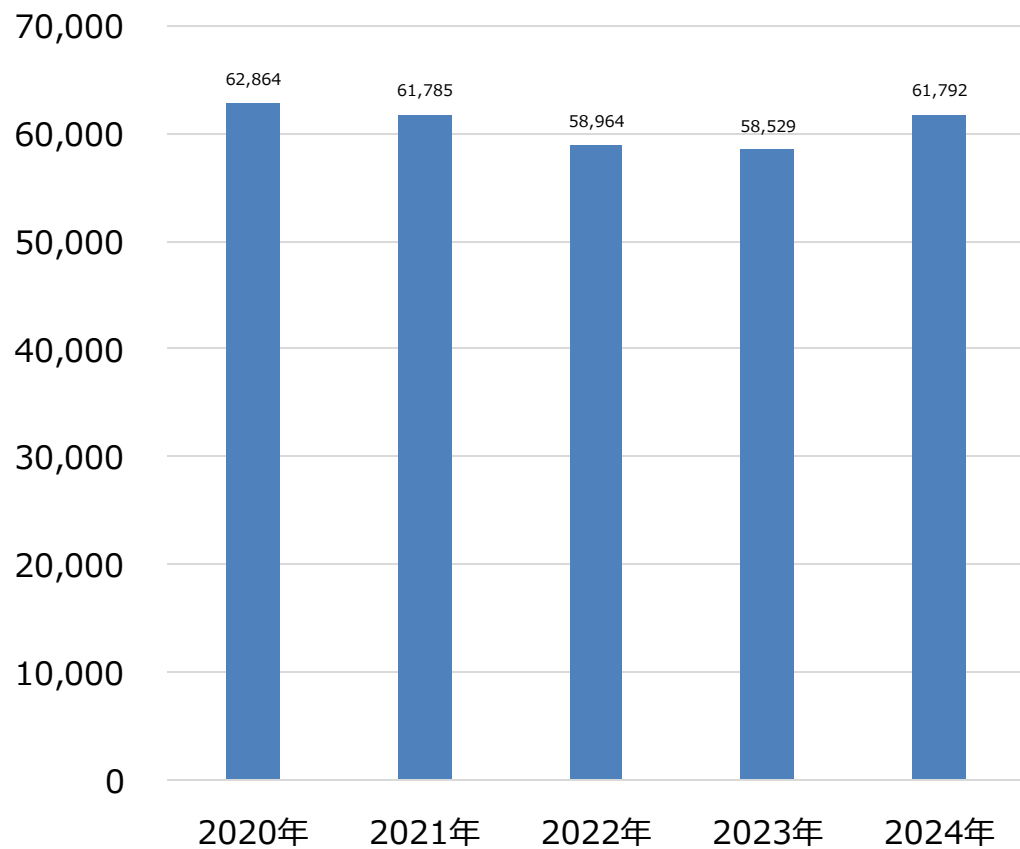


経口ビスホスホネート製剤

2019年6月～

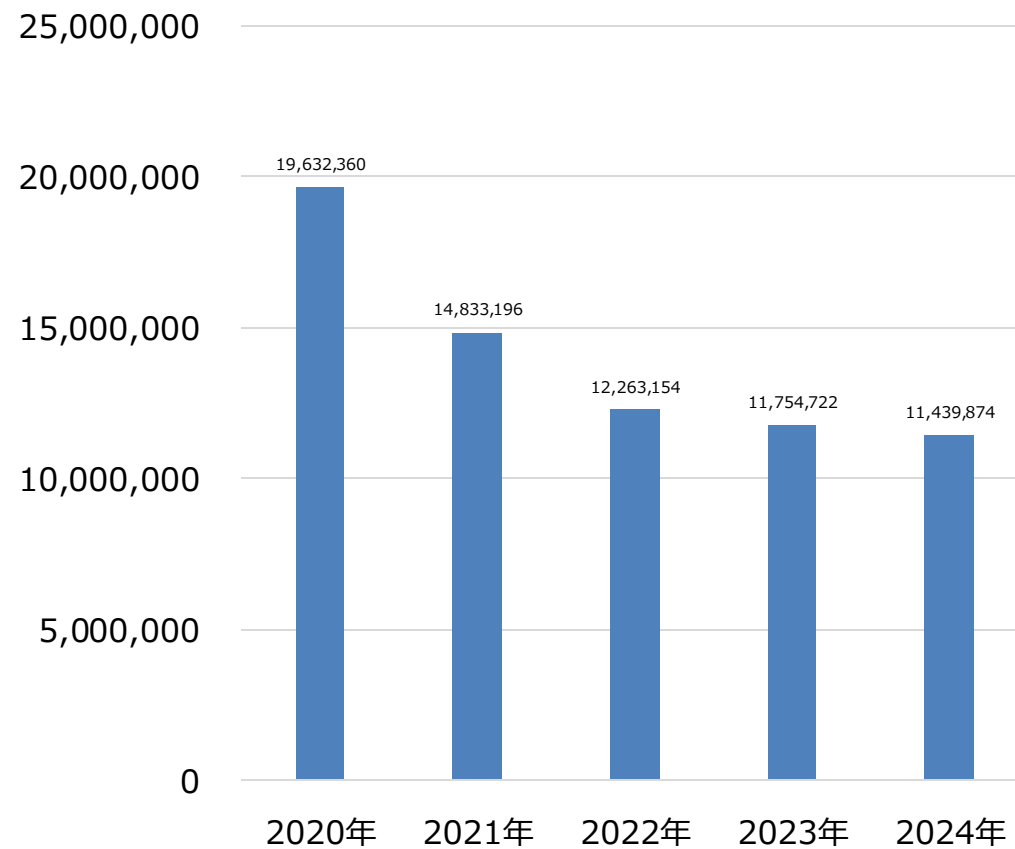
経口ビスホスホネート製剤

年間単純数量



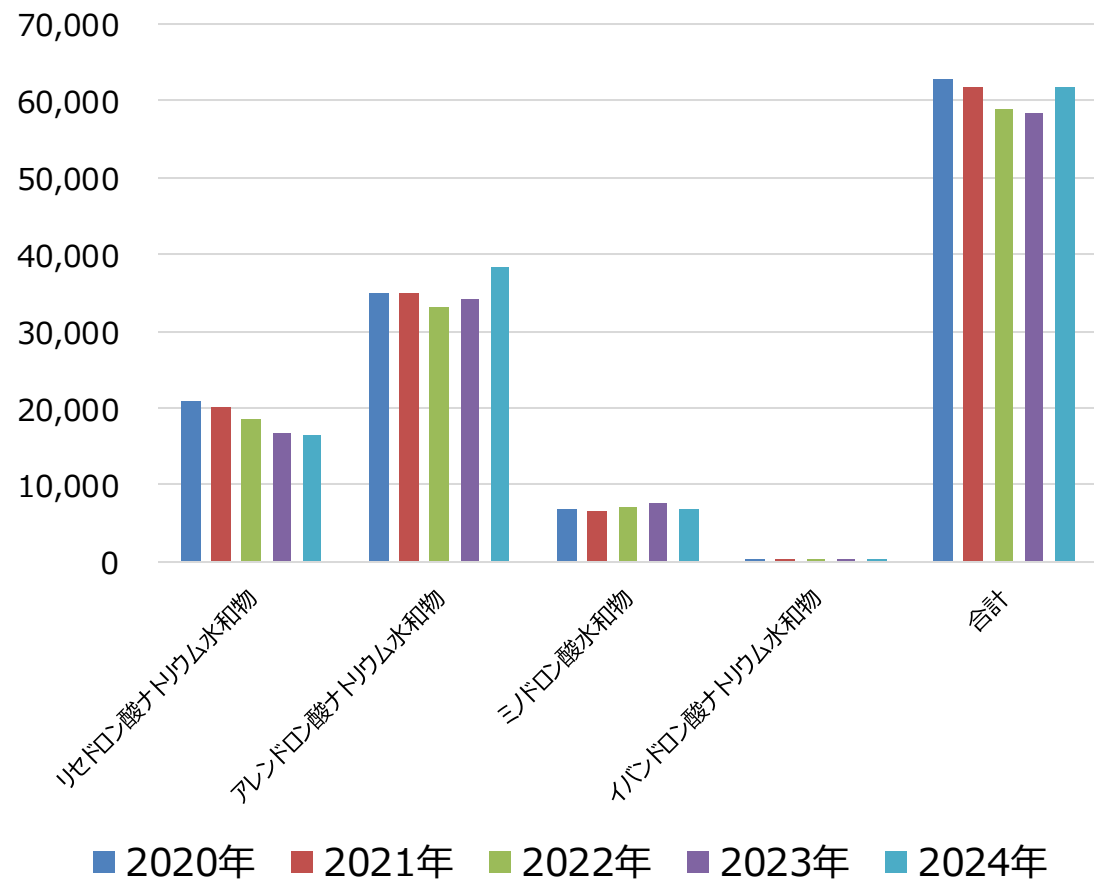
年間薬剤費用

(円)



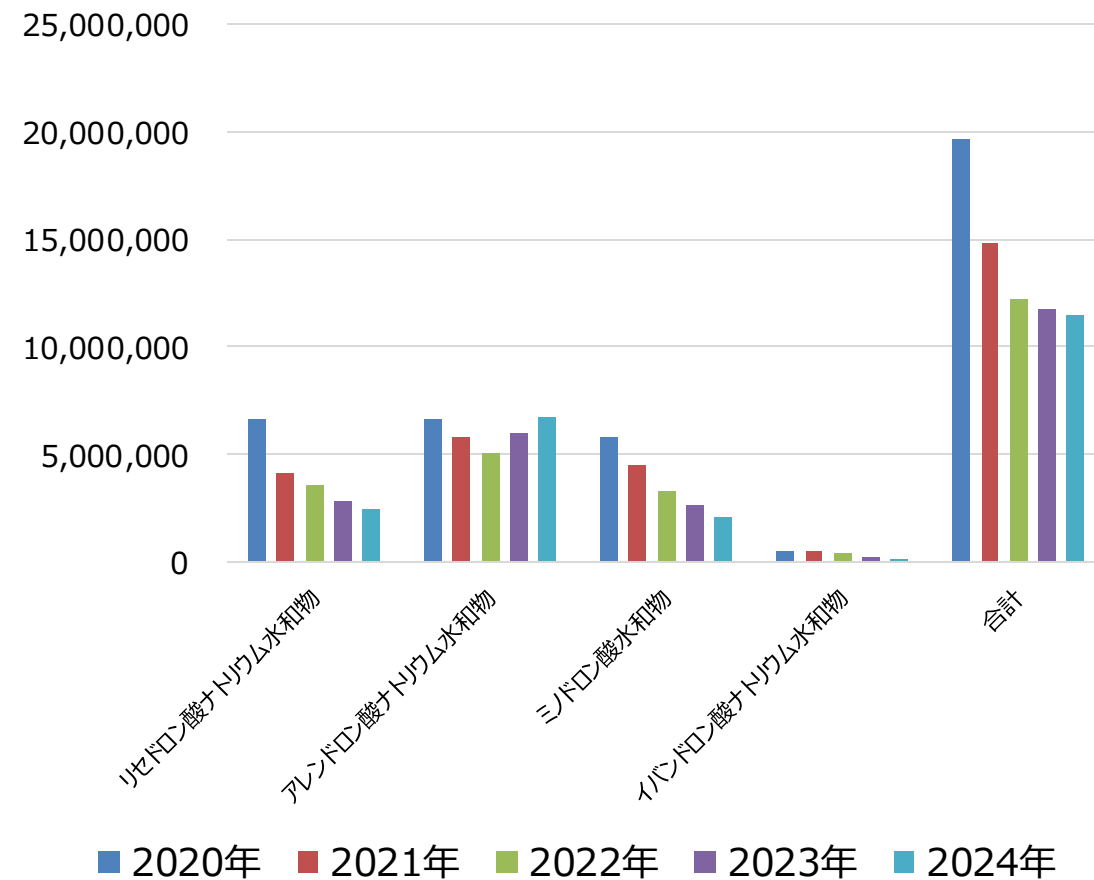
経口ビスホスホネート製剤

薬剤別の年間単純数量



薬剤別の年間薬剤費用

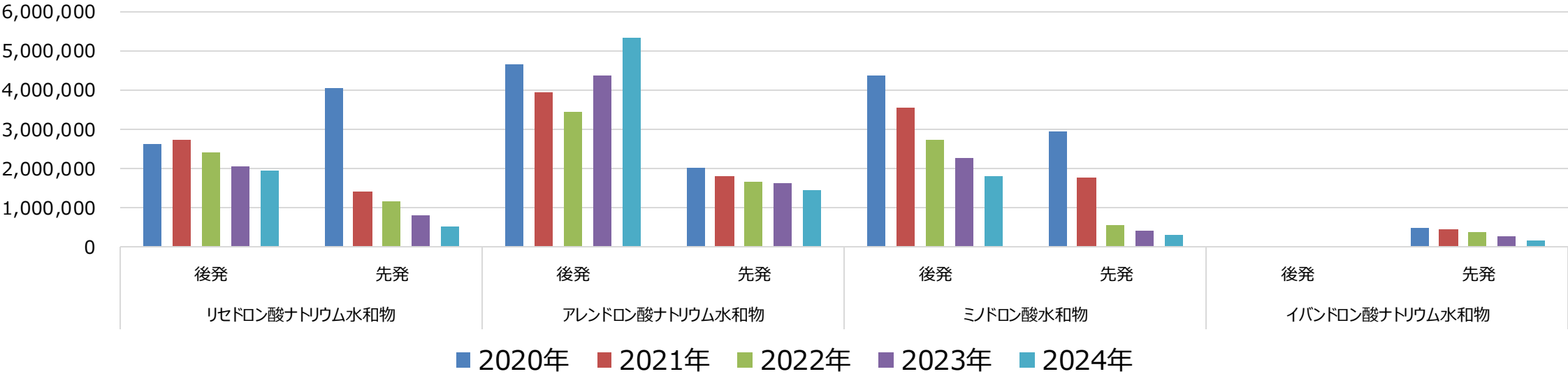
(円)



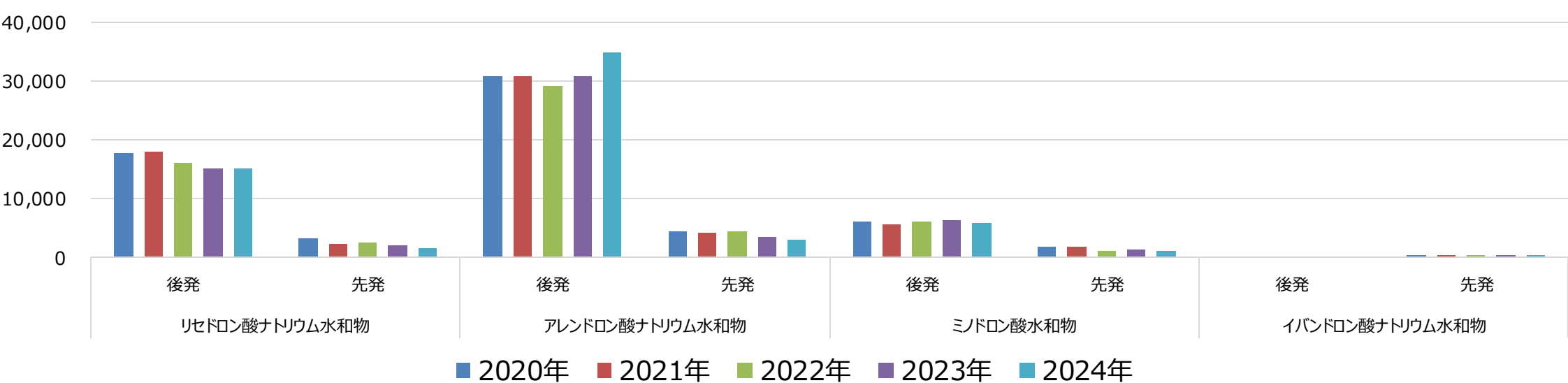
経口ビスホスホネート製剤

(円)

後発・先発別の年間薬剤費用



後発・先発別の年間単純数量

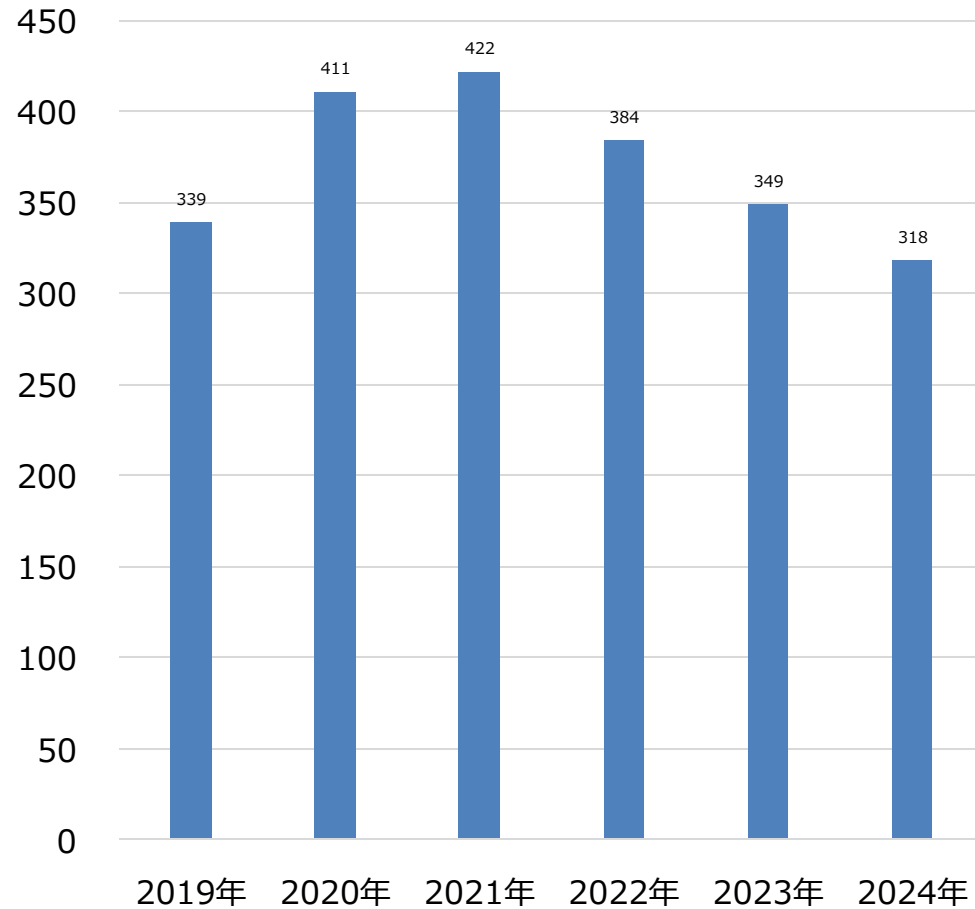


インフリキシマブ

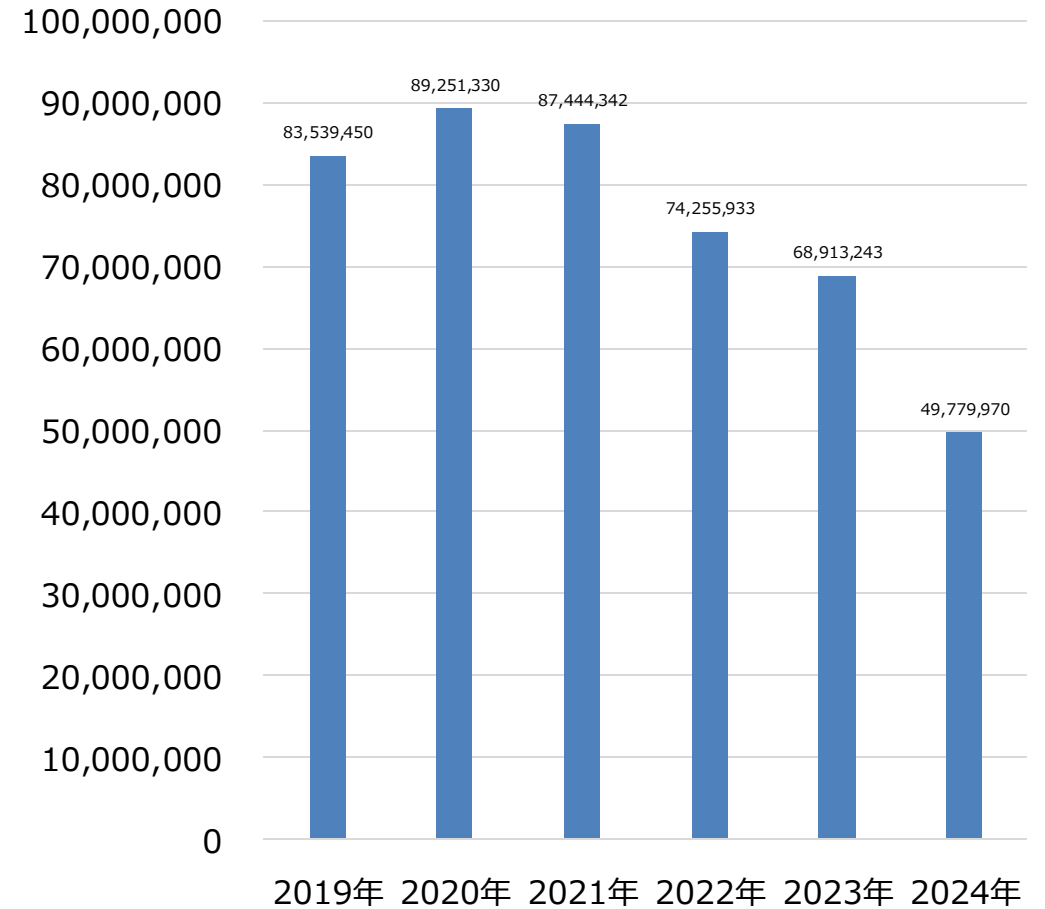
2019年6月～

インフリキシマブ（日本海総合病院のみのデータ）

年間単純数量

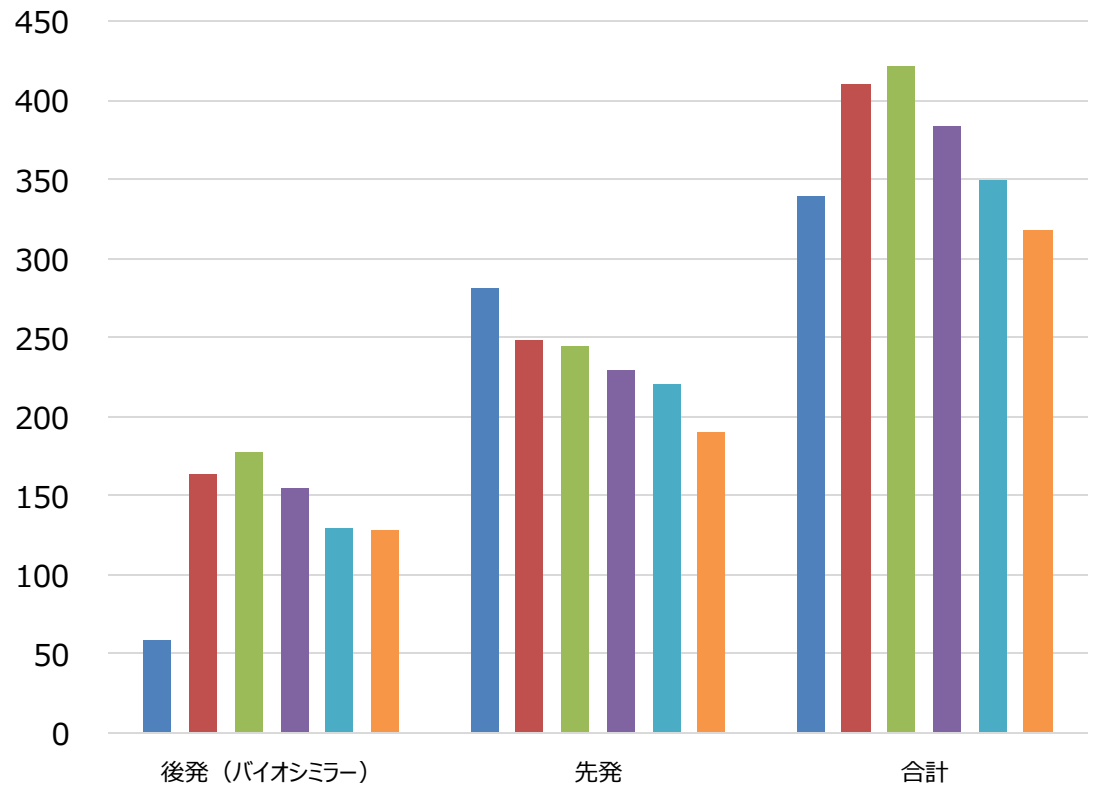


年間薬剤費用



インフリキシマブ（日本海総合病院のみのデータ）

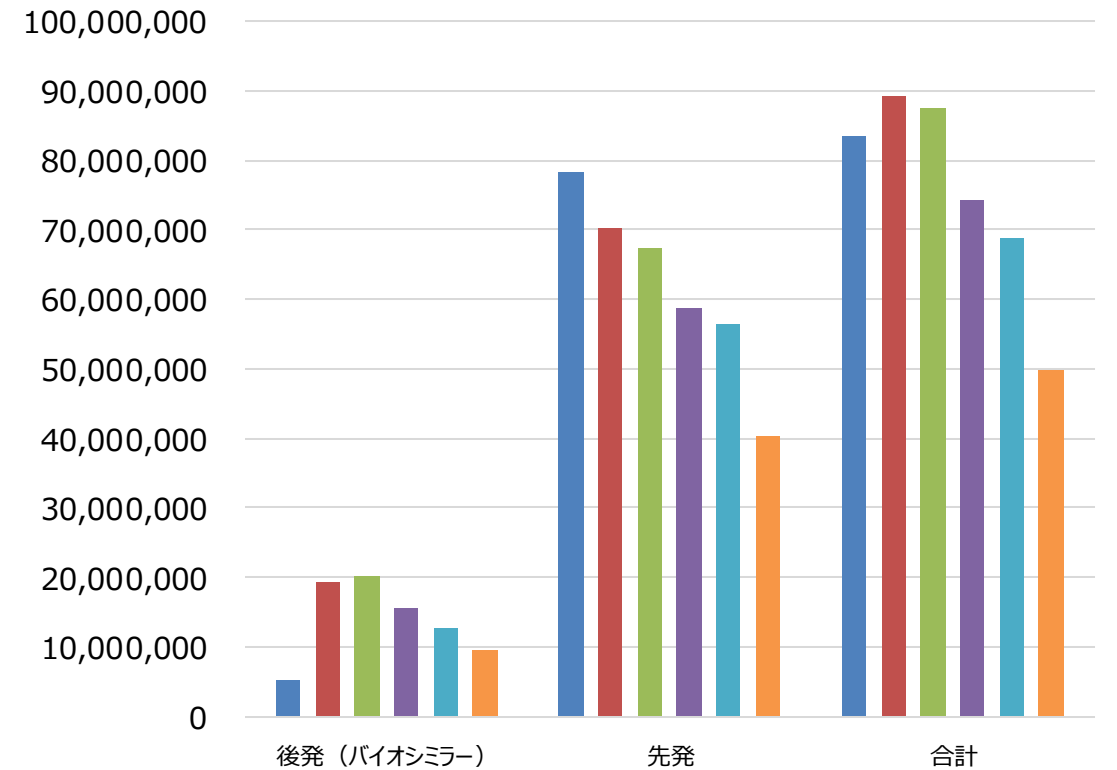
薬剤別の年間単純数量



■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年 ■ 2023年 ■ 2024年

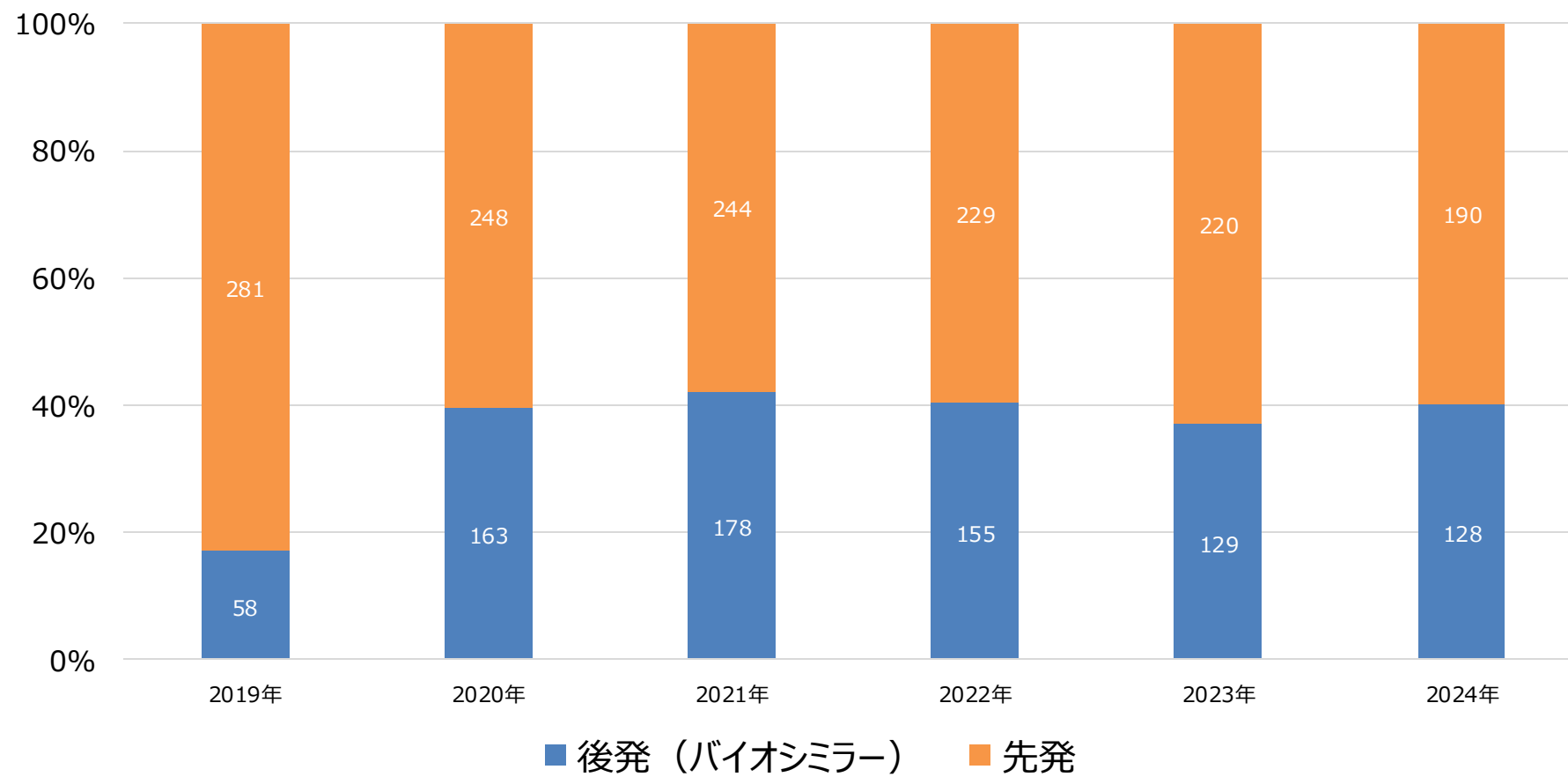
薬剤別の年間薬剤費用

(円)



■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年 ■ 2023年 ■ 2024年

インフリキシマブの使用比率 (日本海総合病院のみのデータ)

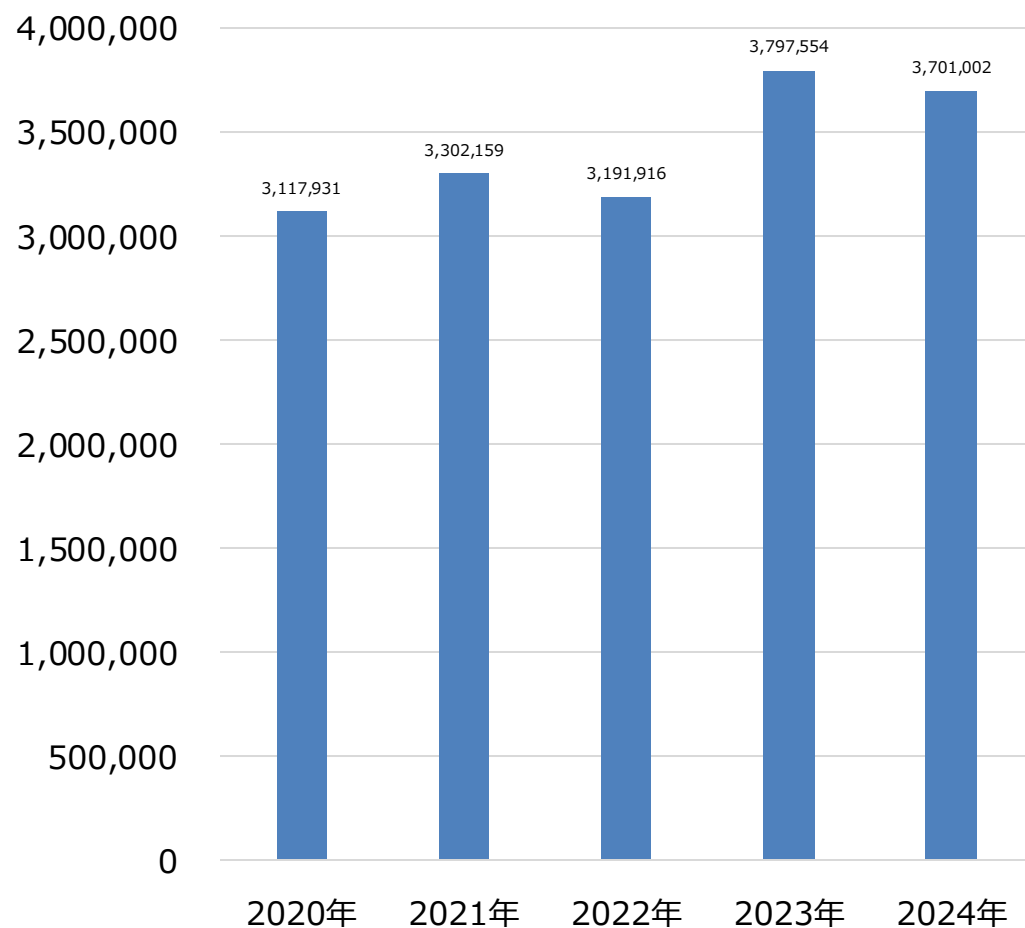


第2世代抗ヒスタミン薬 ヒスタミンH1受容体拮抗薬

2019年11月～

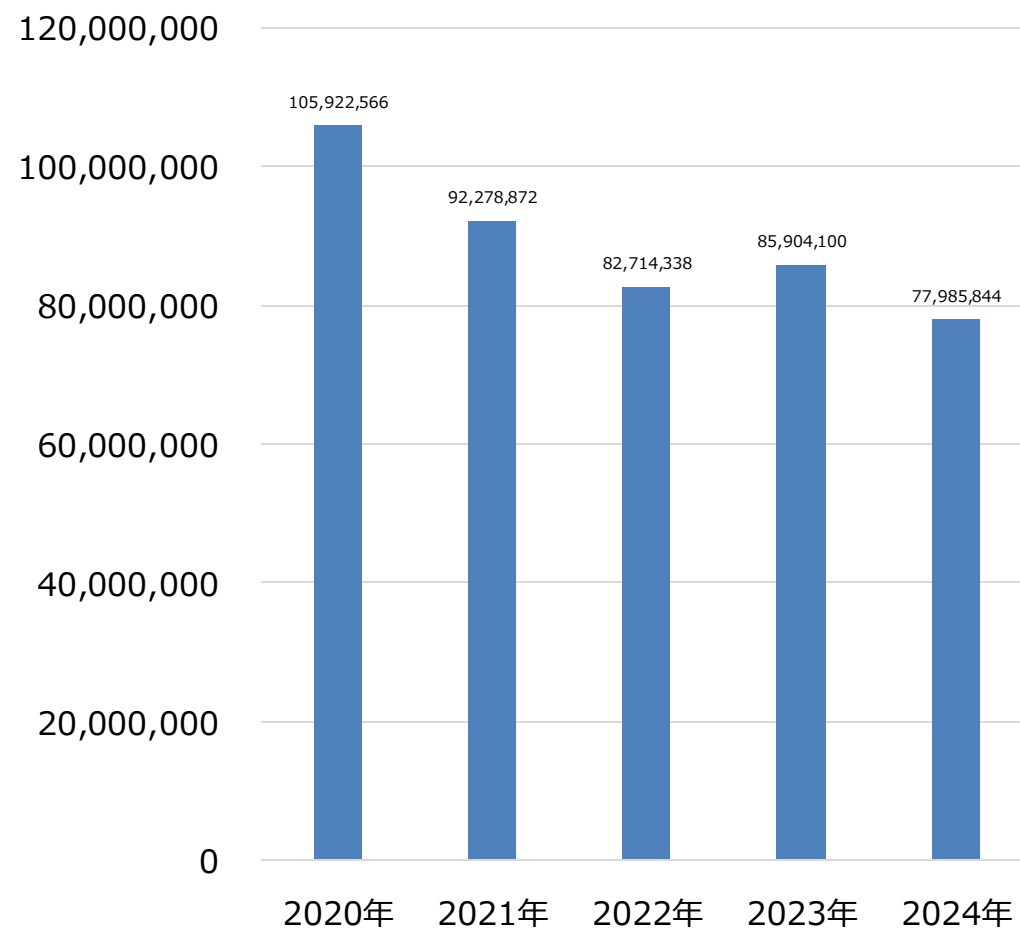
ヒスタミンH1受容体拮抗薬（第2世代抗ヒスタミン薬）

年間単純数量



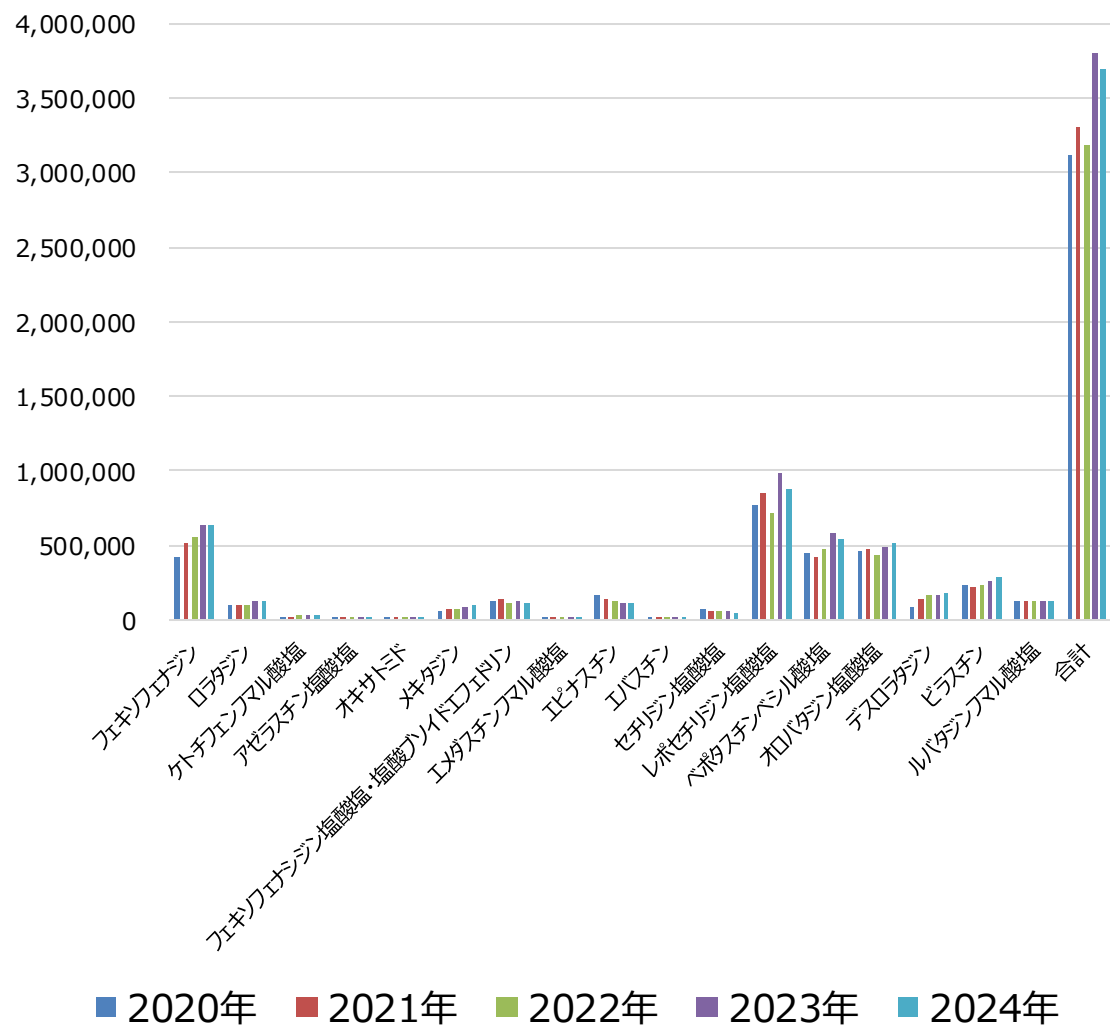
年間薬剤費用

(円)



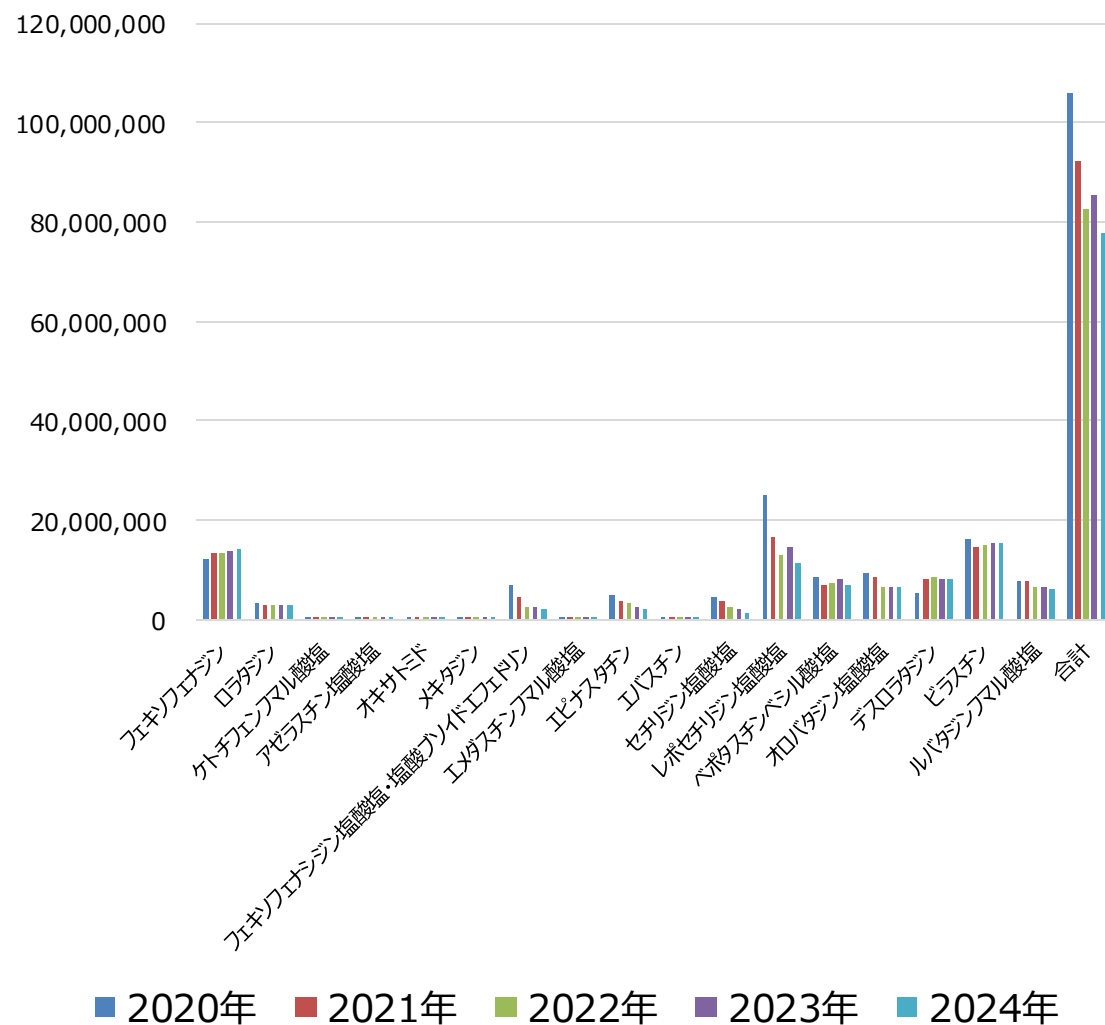
ヒスタミンH1受容体拮抗薬（第2世代抗ヒスタミン薬）

薬剤別の年間単純数量



抗ヒスタミン薬 薬剤費用推移

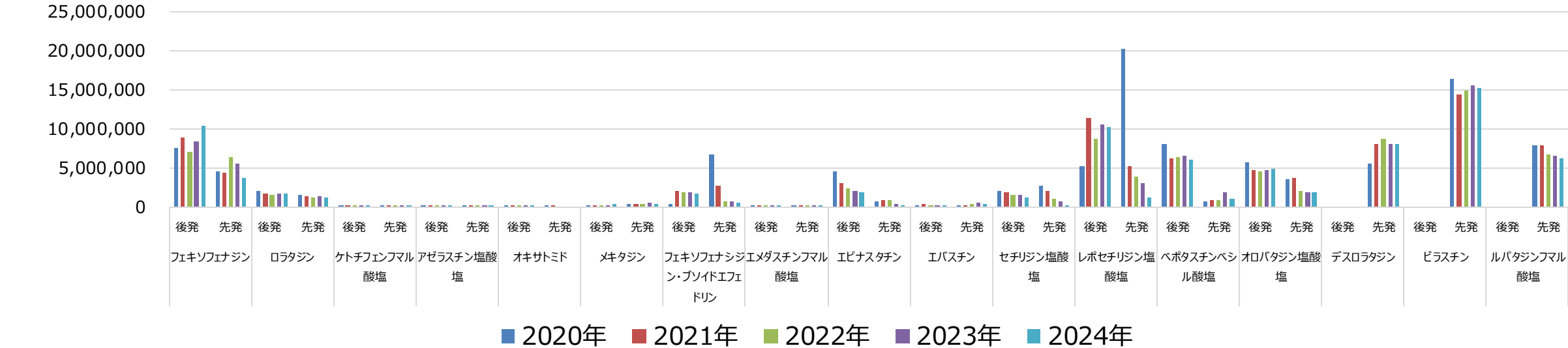
(円)



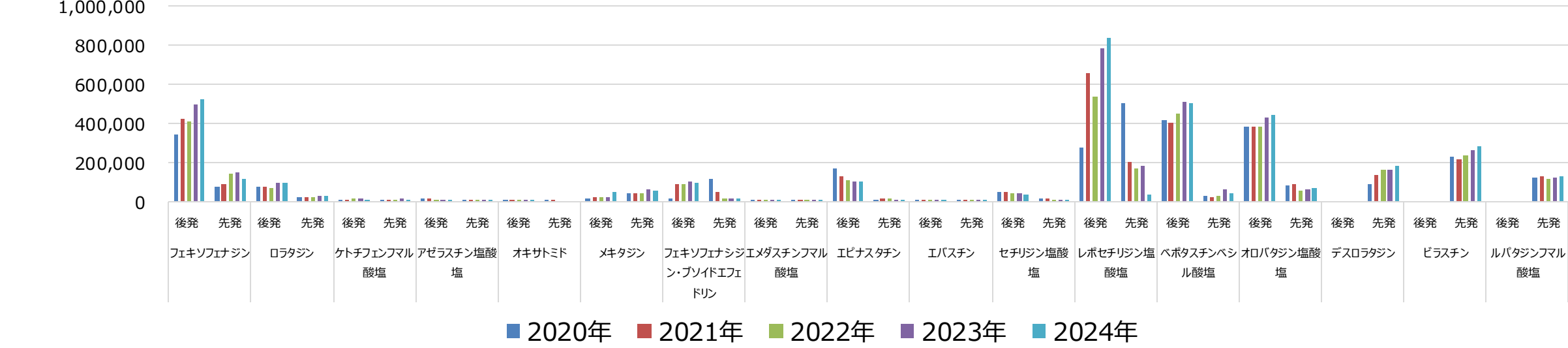
ヒスタミンH1受容体拮抗薬（第2世代抗ヒスタミン薬）

(円)

後発・先発別の年間薬剤費用



後発・先発別の年間単純数量

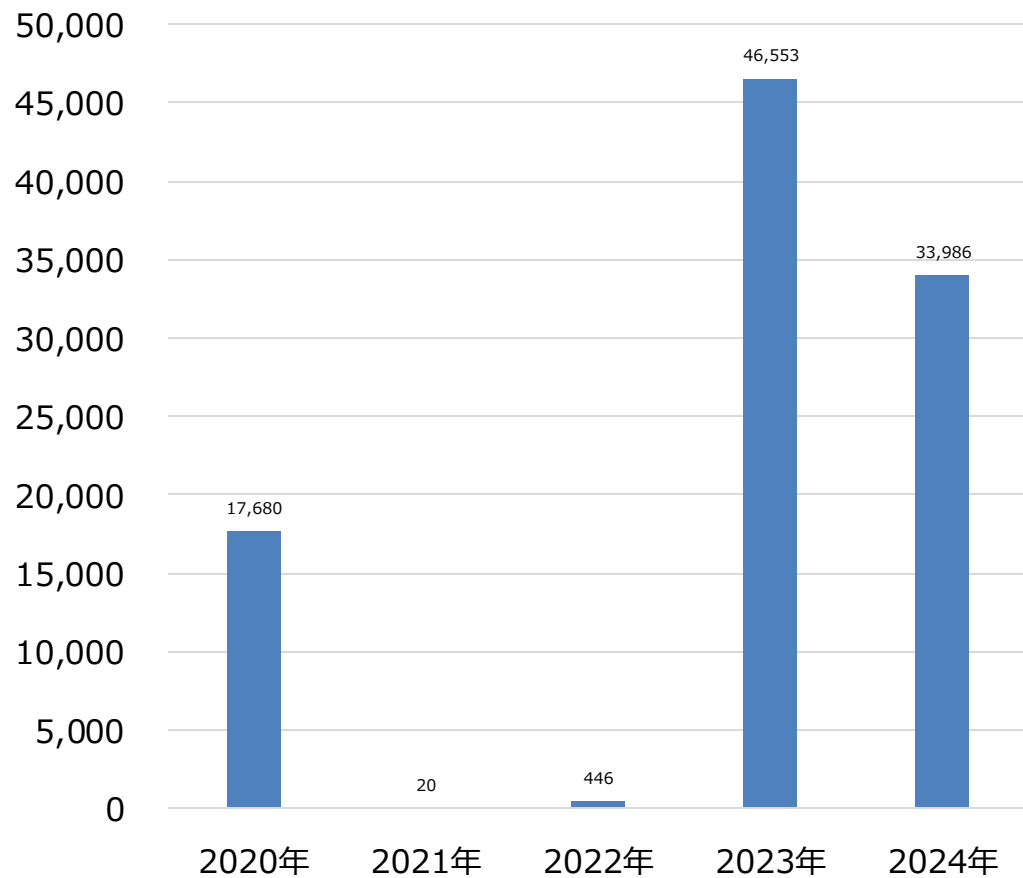


インフルエンザ治療薬（成人）

2019年11月～

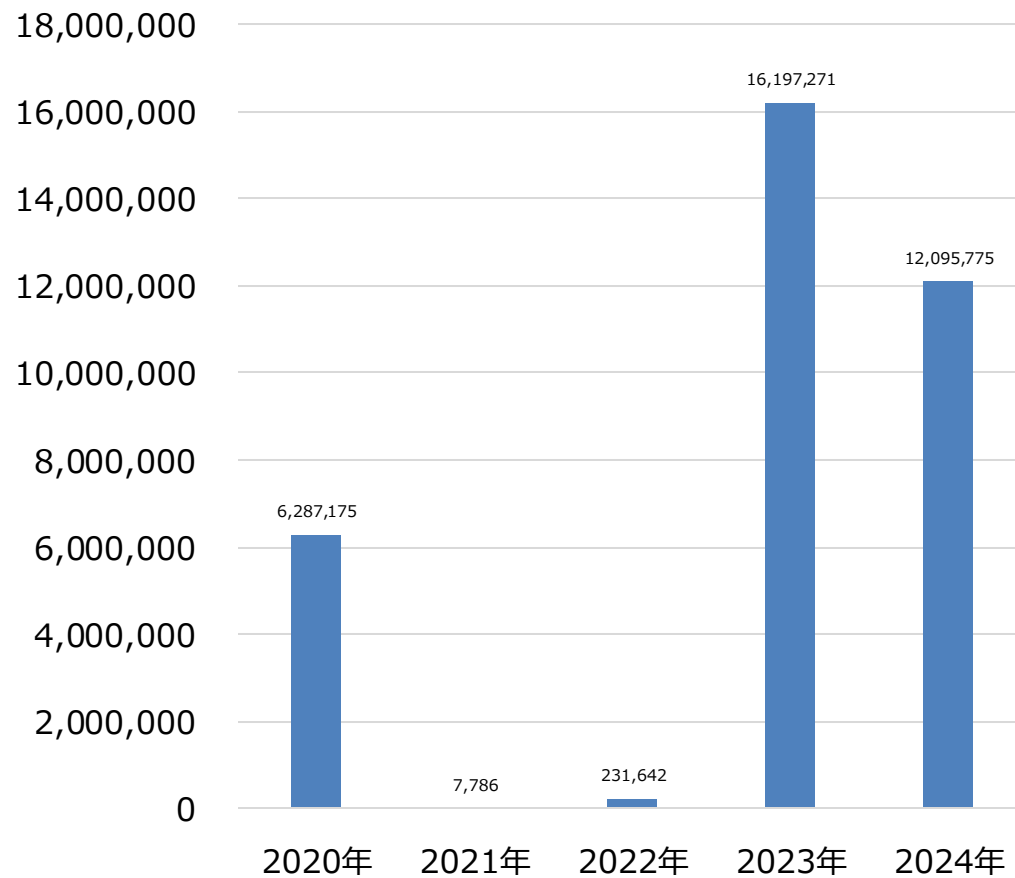
インフルエンザ治療薬

年間単純数量



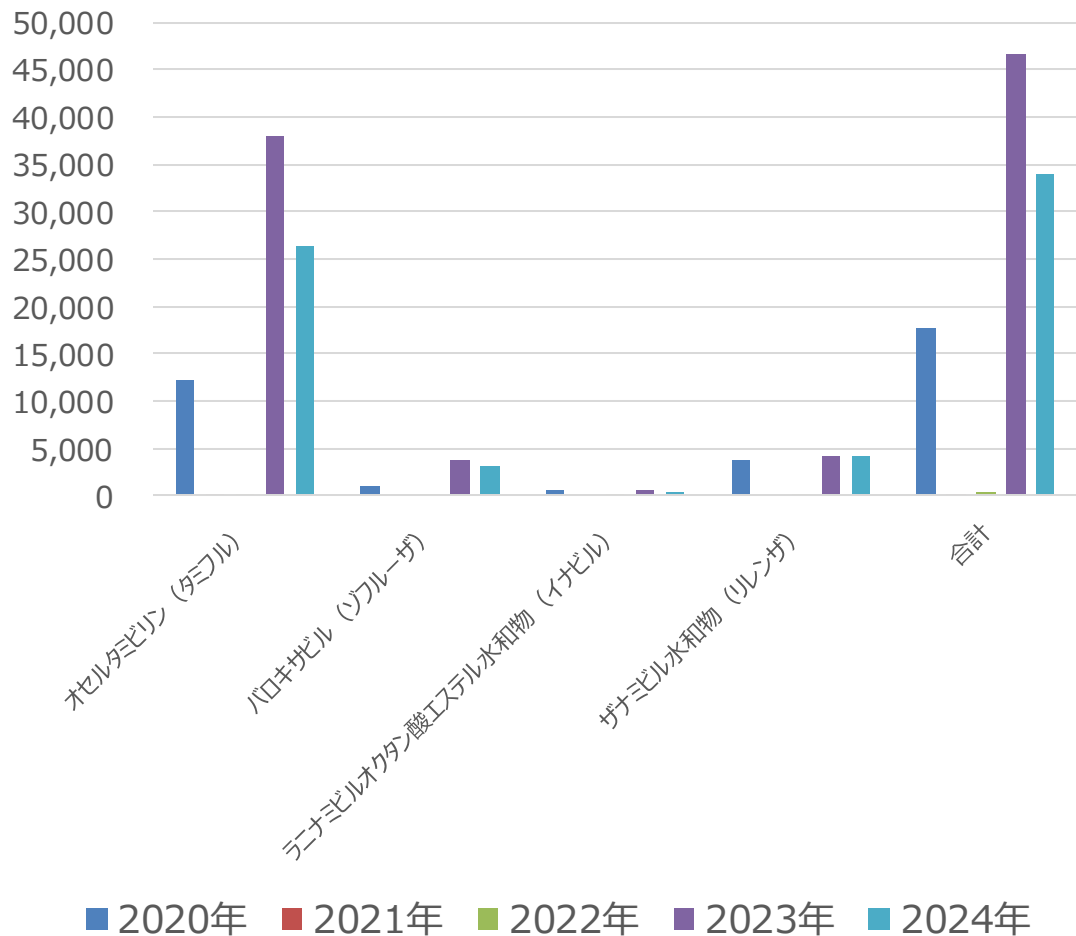
年間薬剤費用

(円)



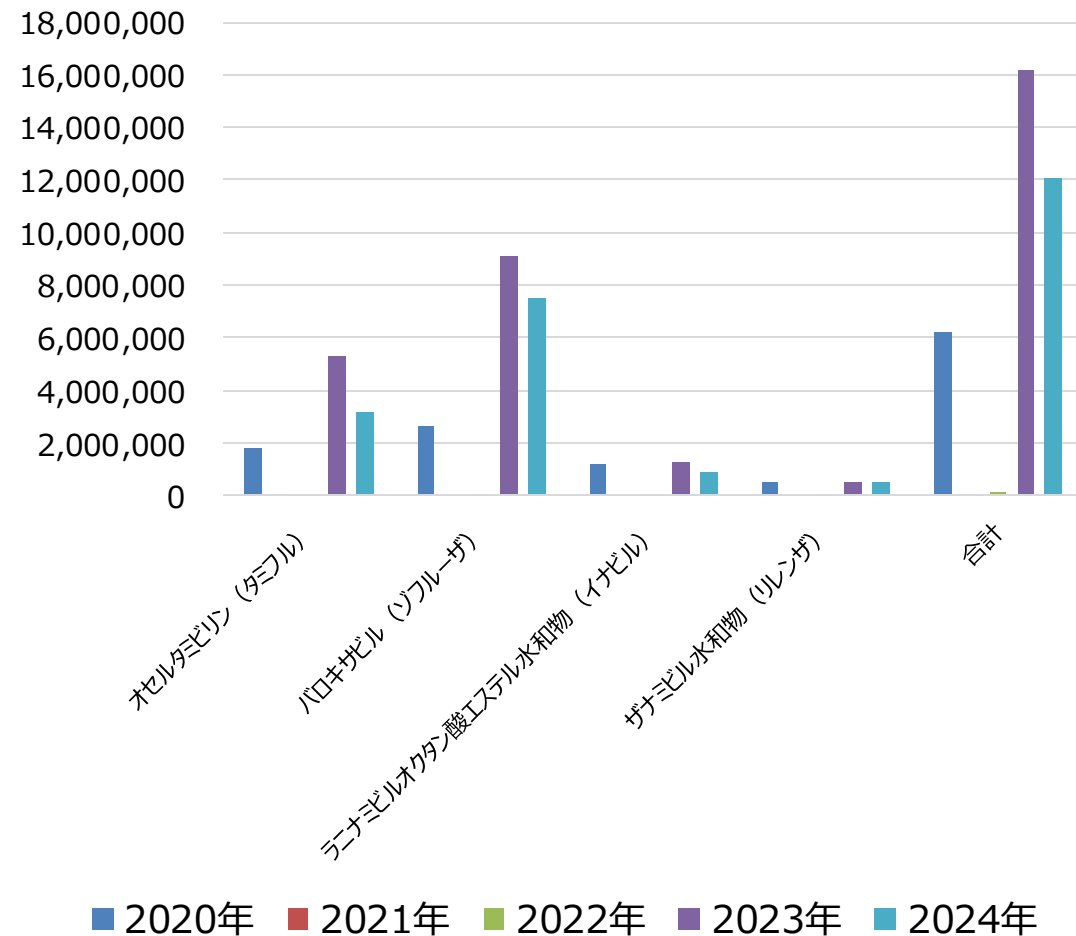
インフルエンザ治療薬

薬剤別の年間単純数量



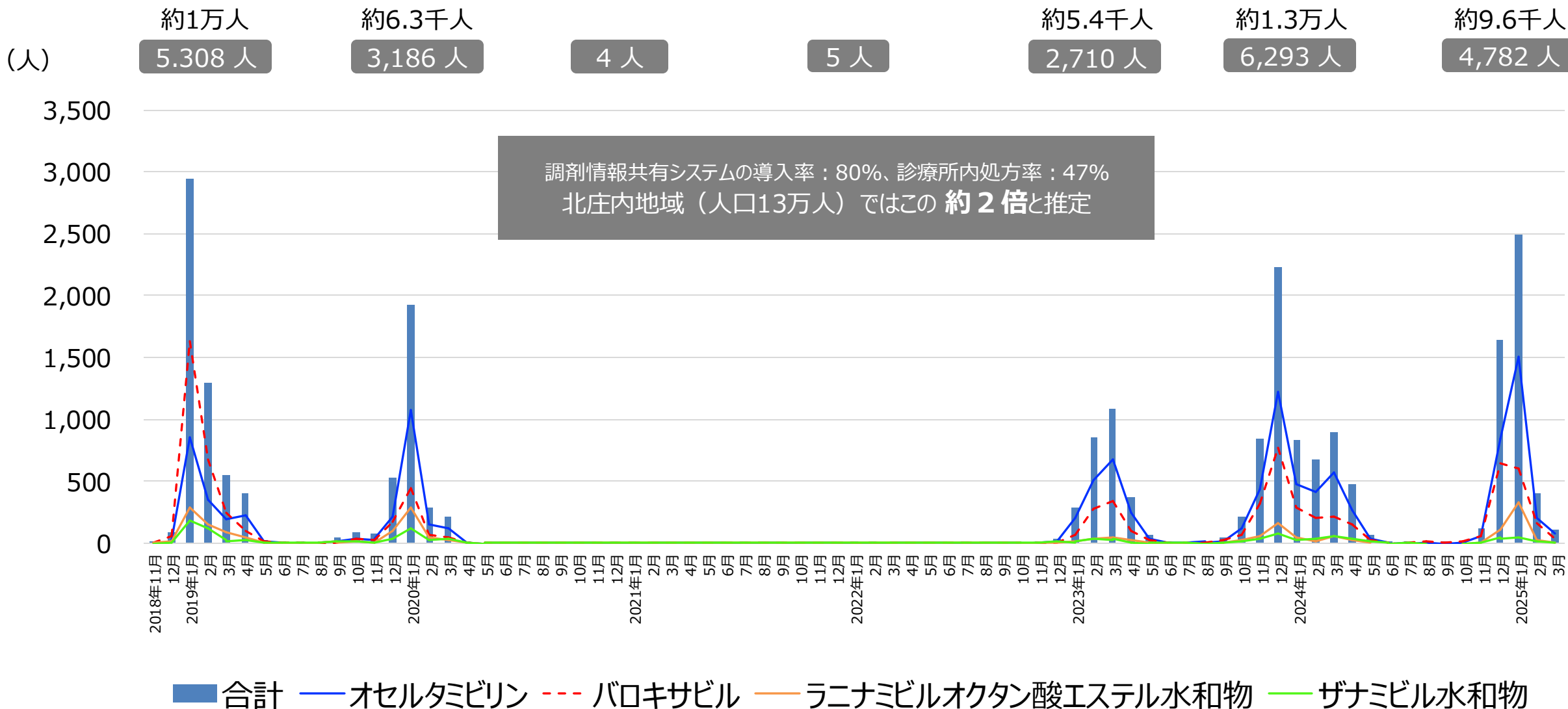
薬剤別の年間薬剤費用

(円)



インフルエンザ予測患者数の推移

調剤情報共有システムにおけるインフルエンザ治療薬の調剤回数から算出

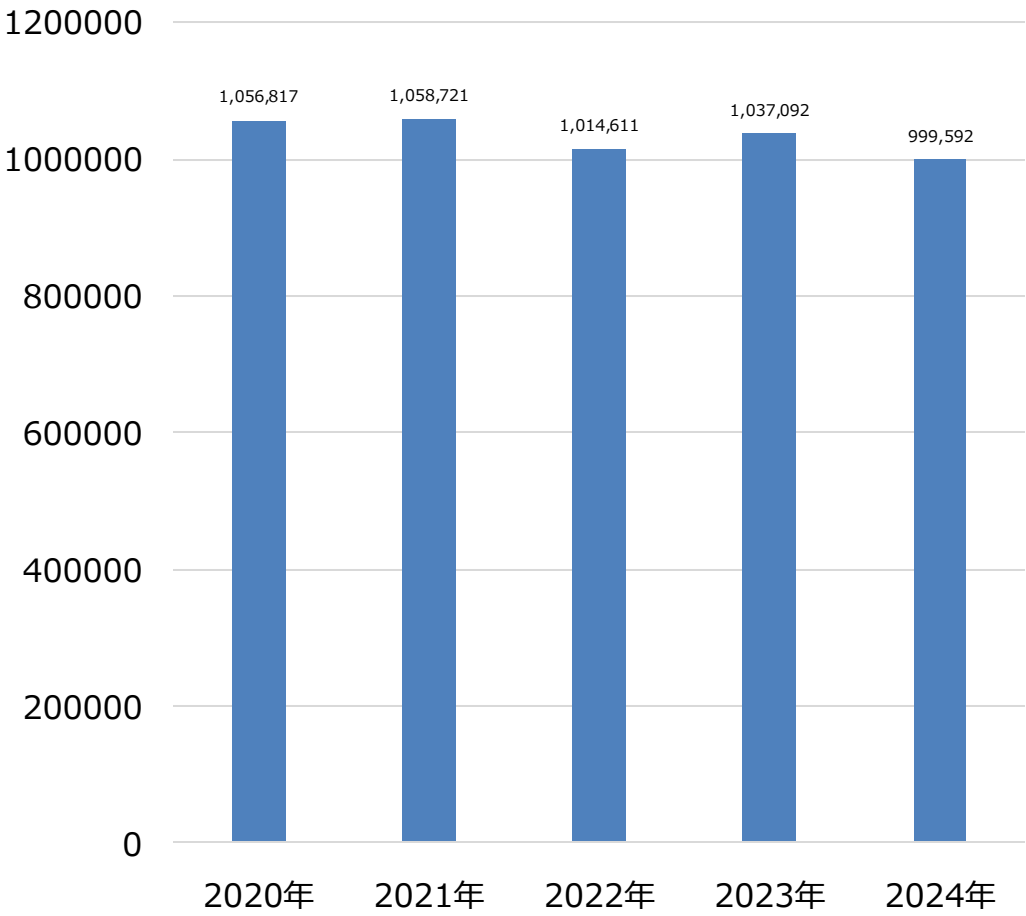


ARB + Ca拮抗薬
アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬
+ ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬

2021年5月～

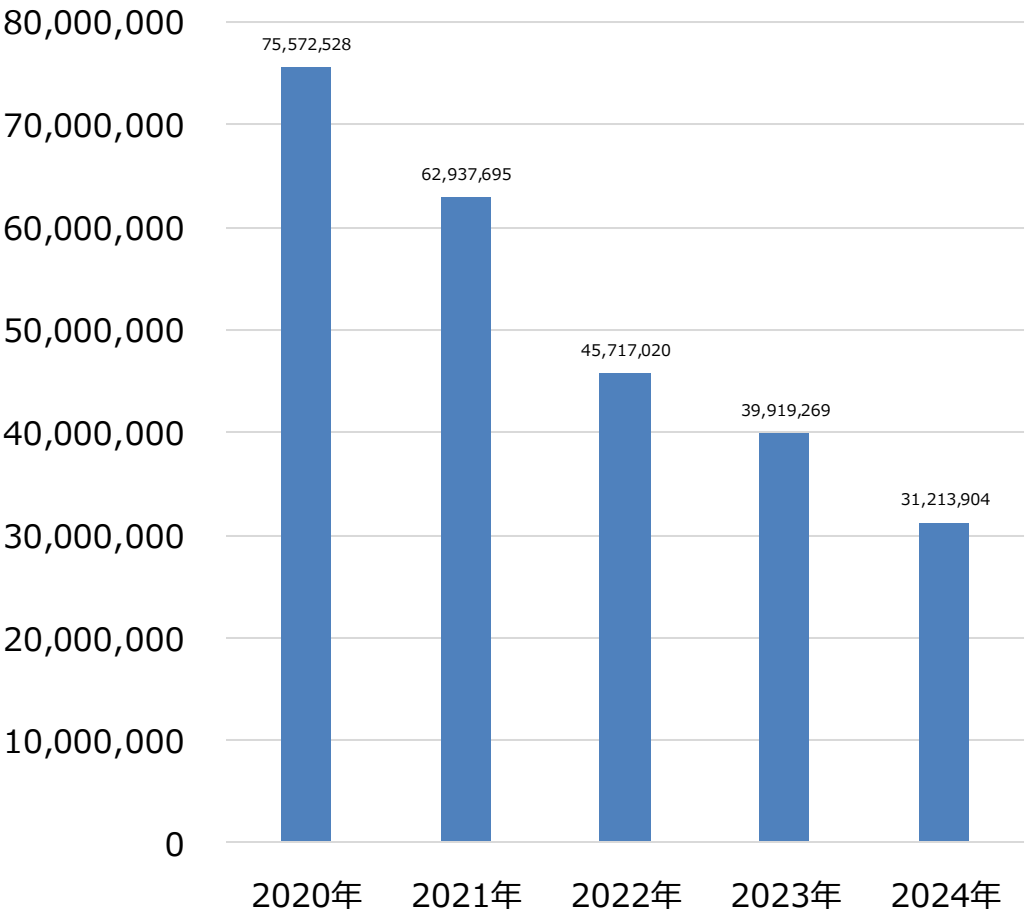
ARB + Ca拮抗薬

年間単純数量



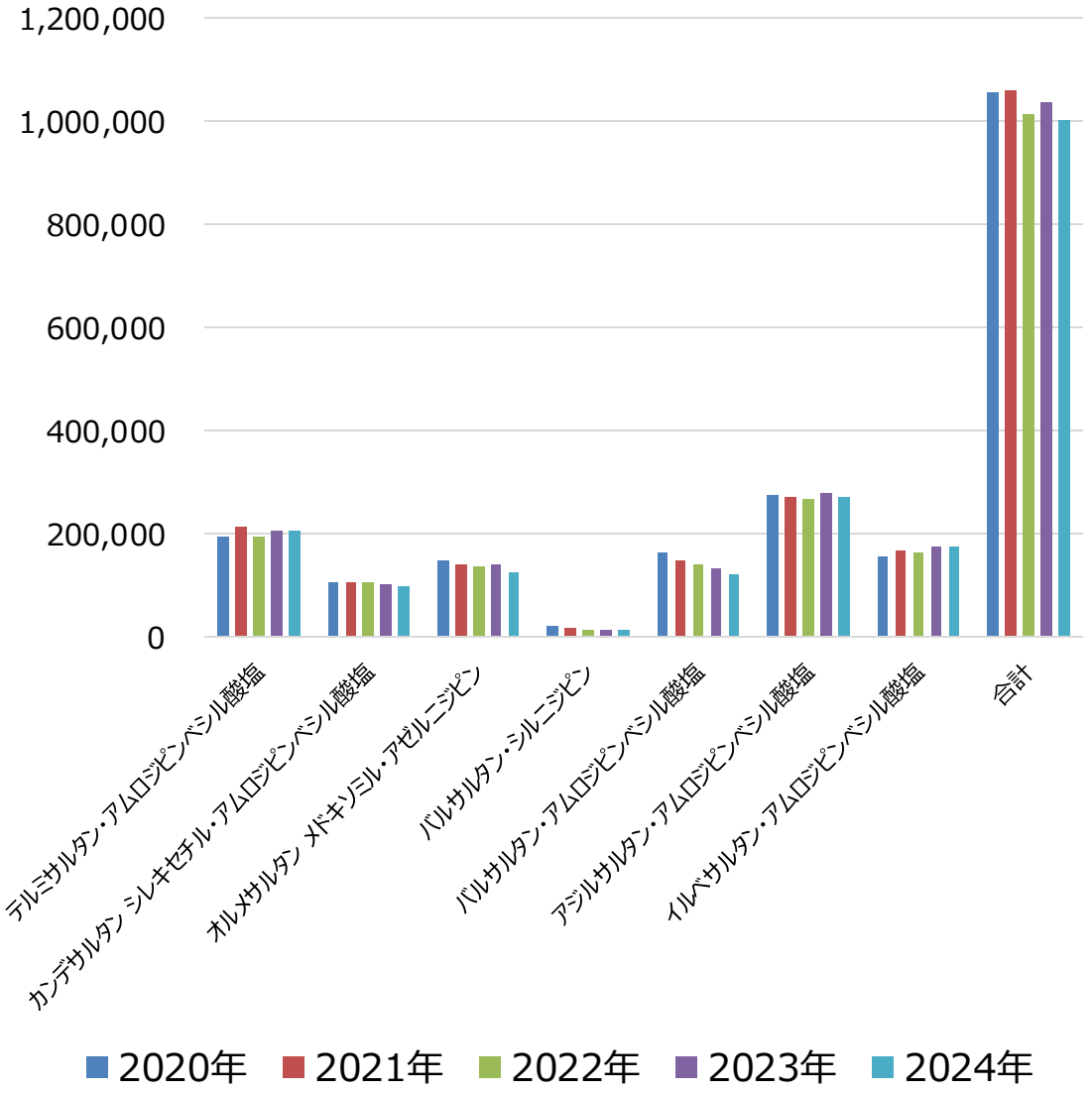
(円)

年間薬剤費用

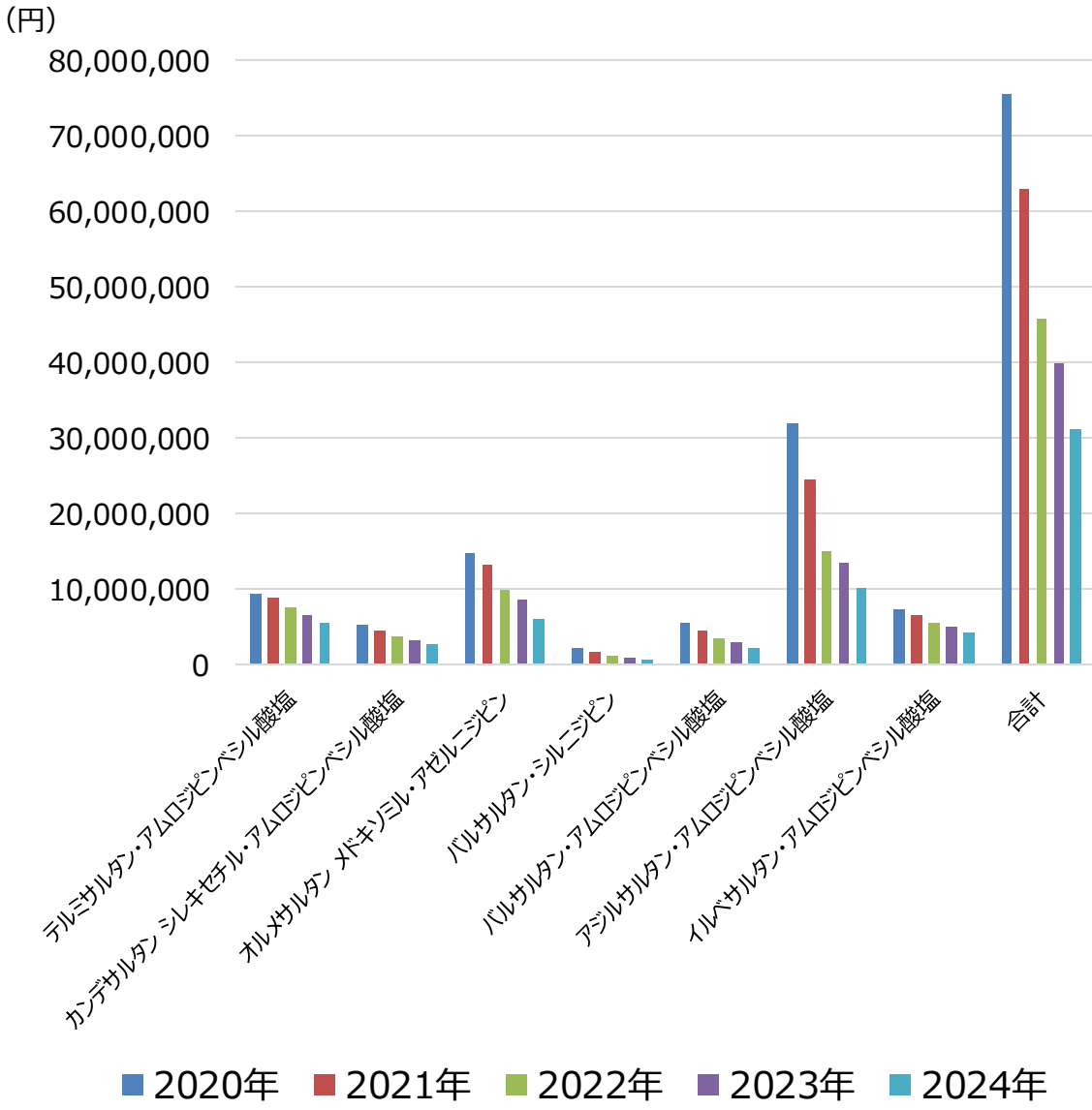


ARB + Ca拮抗薬

薬剤別の年間単純数量



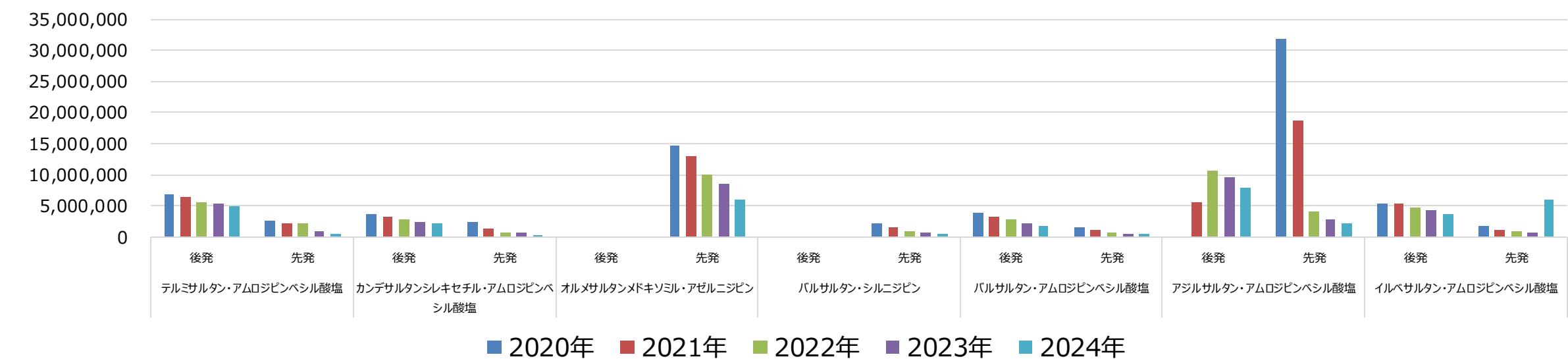
薬剤別の年間薬剤費用



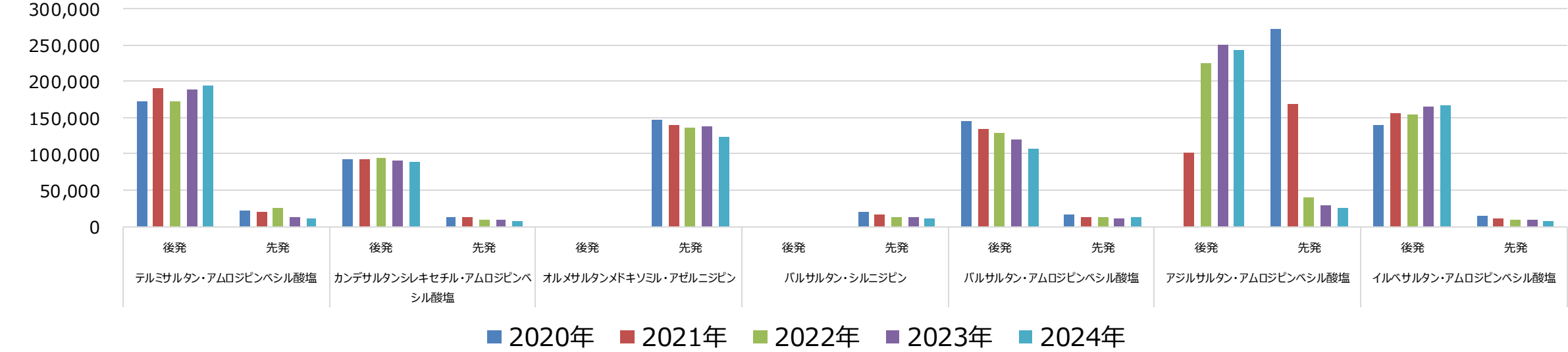
ARB+Ca拮抗薬

(円)

後発・先発別の年間薬剤費用



後発・先発別の年間単純数量

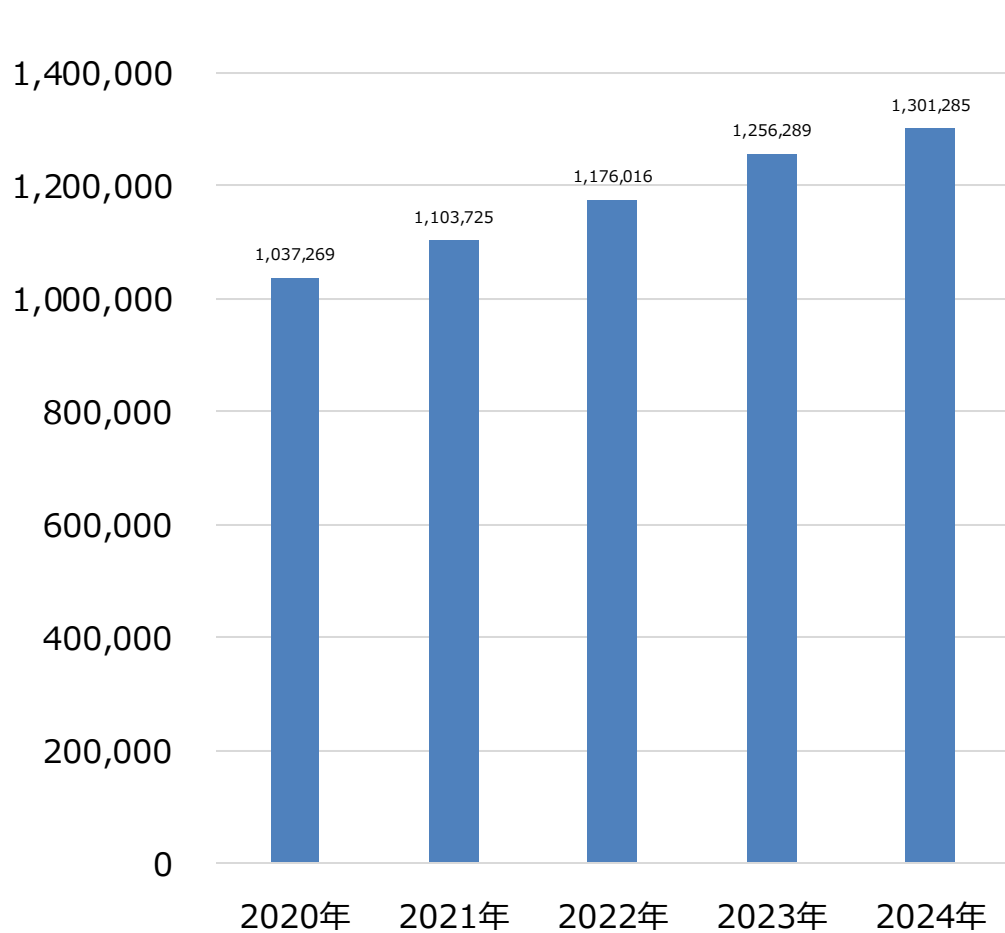


神経障害性疼痛治療薬

2021年5月～

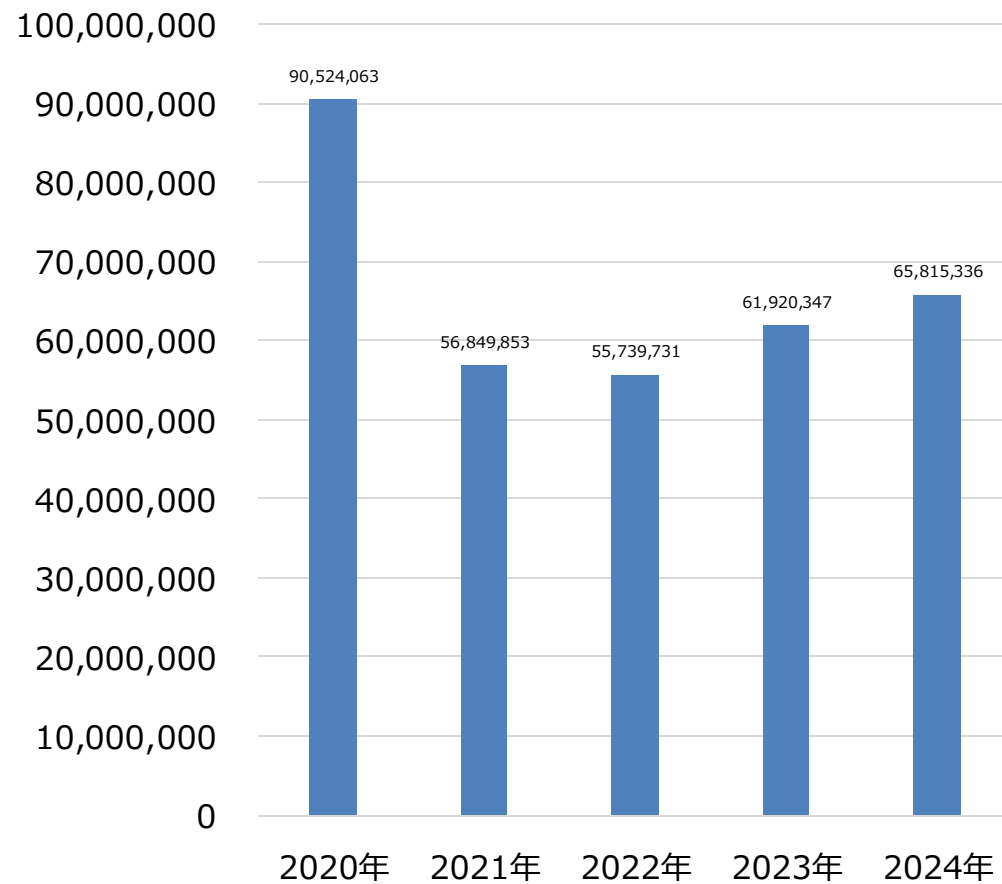
神経障害性疼痛治療薬

年間単純数量



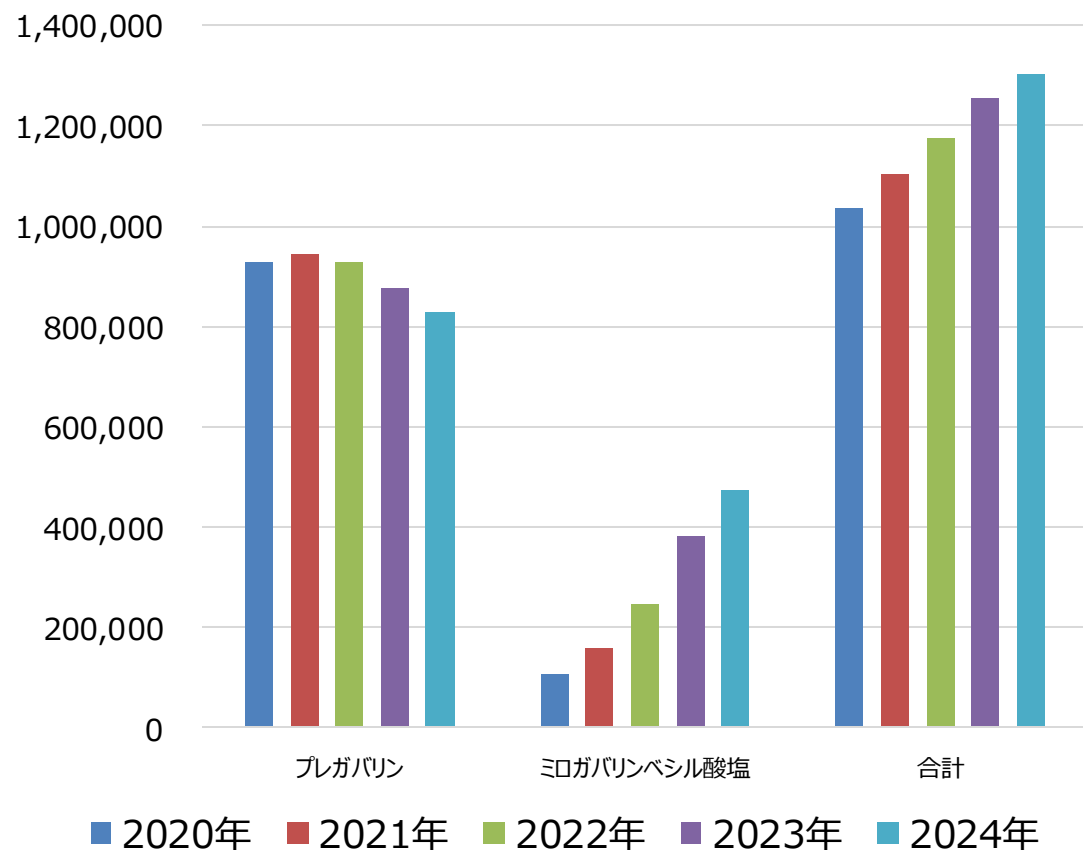
年間薬剤費用

(円)



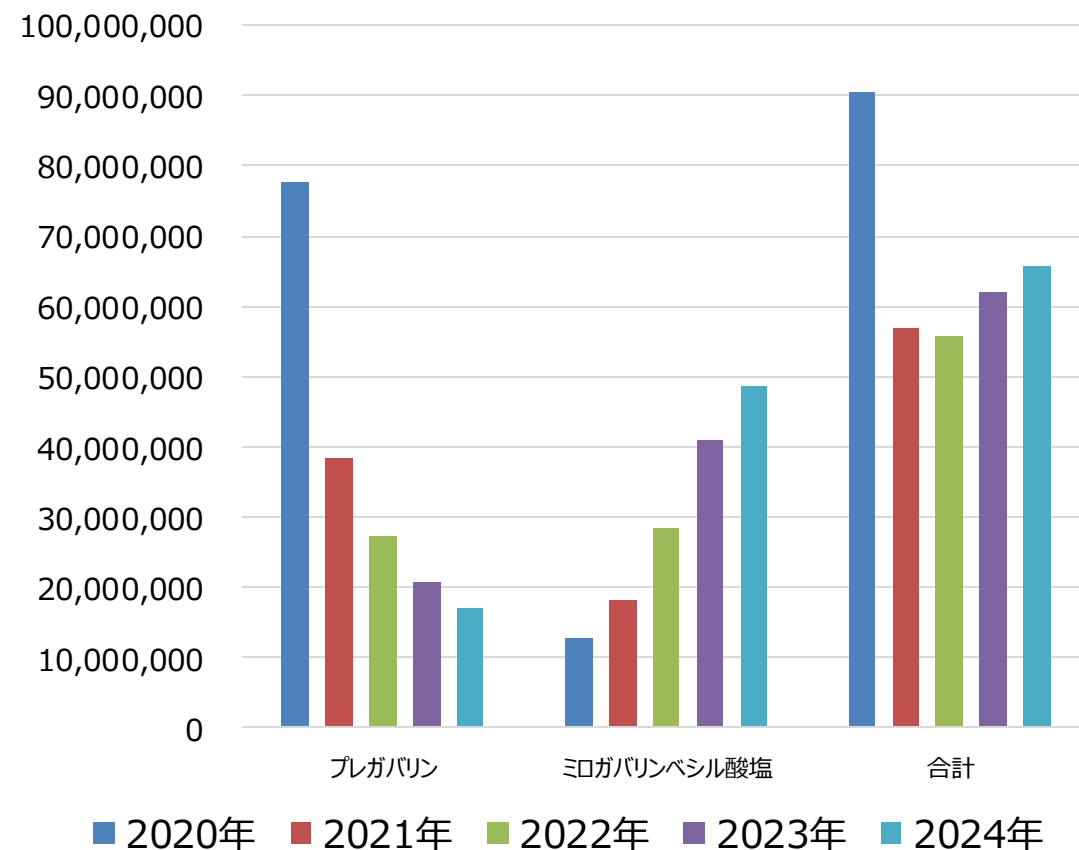
神経障害性疼痛治療薬

薬剤別の年間単純数量

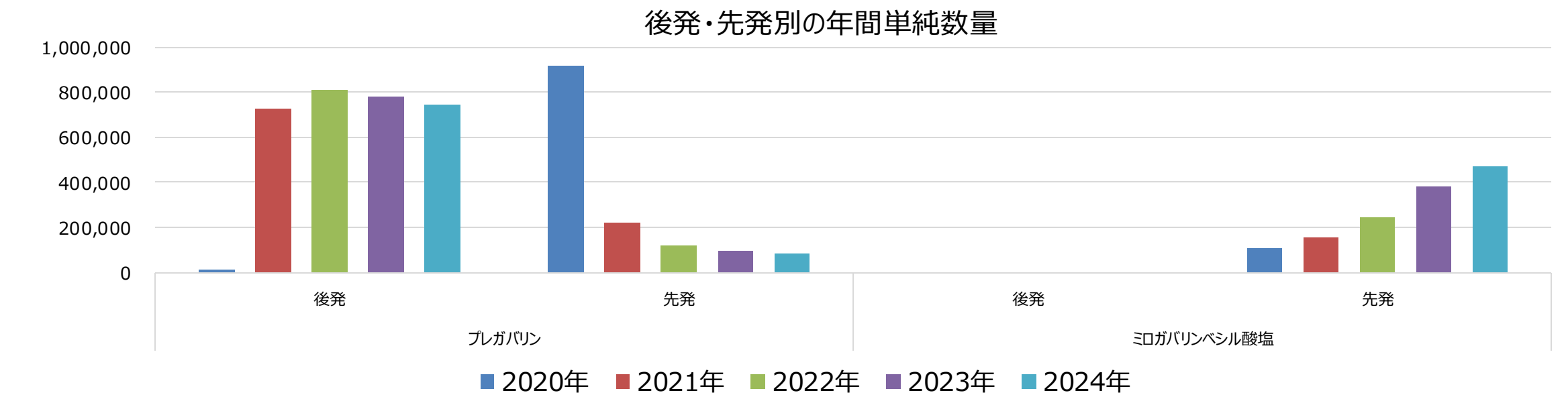
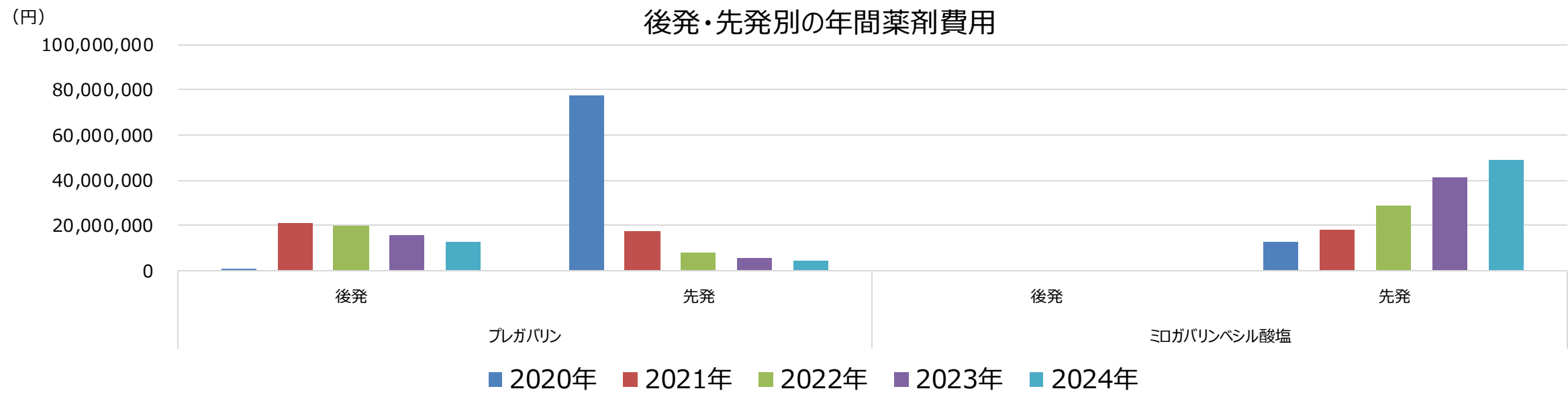


薬剤別の年間薬剤費用

(円)



神経障害性疼痛治療薬

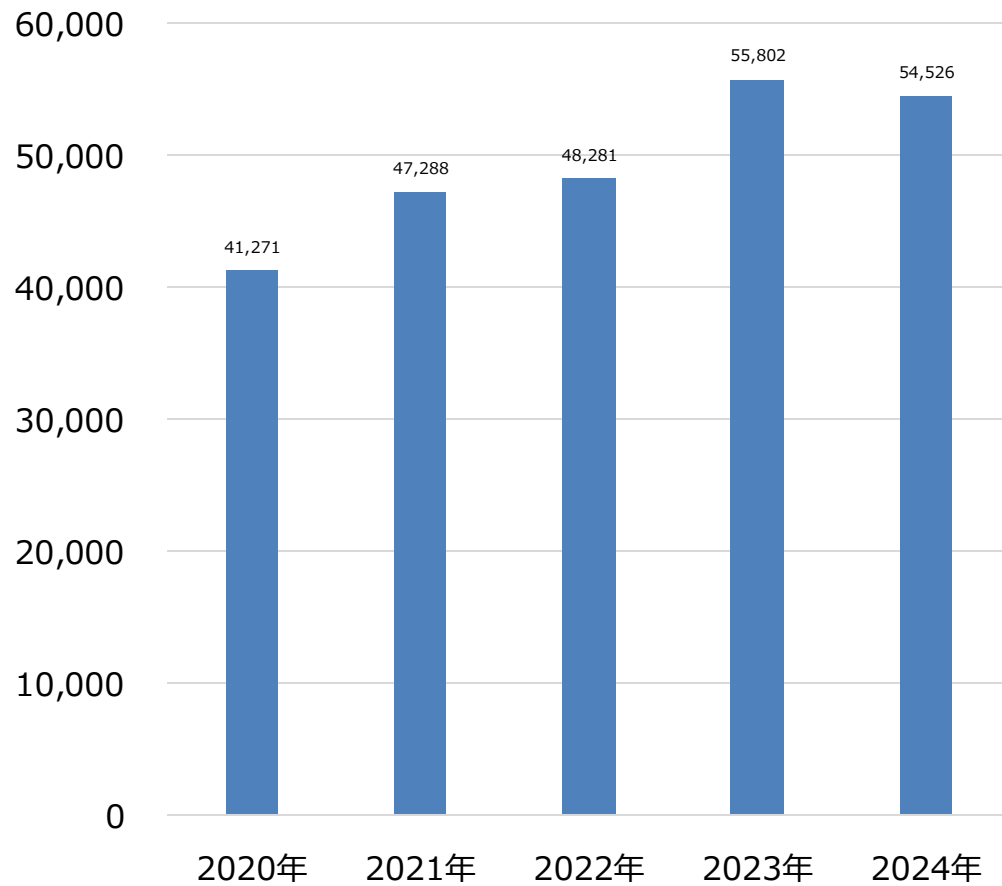


ヘルペス治療薬

2021年5月～

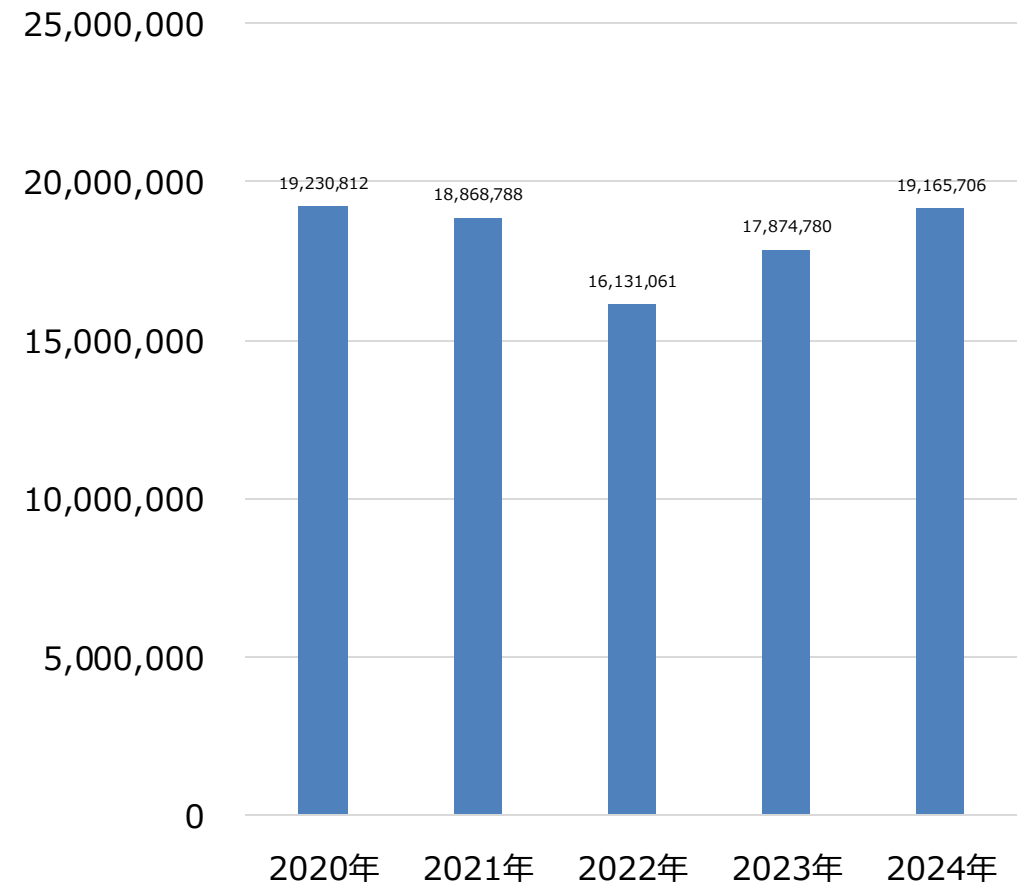
ヘルペス治療薬

年間単純数量



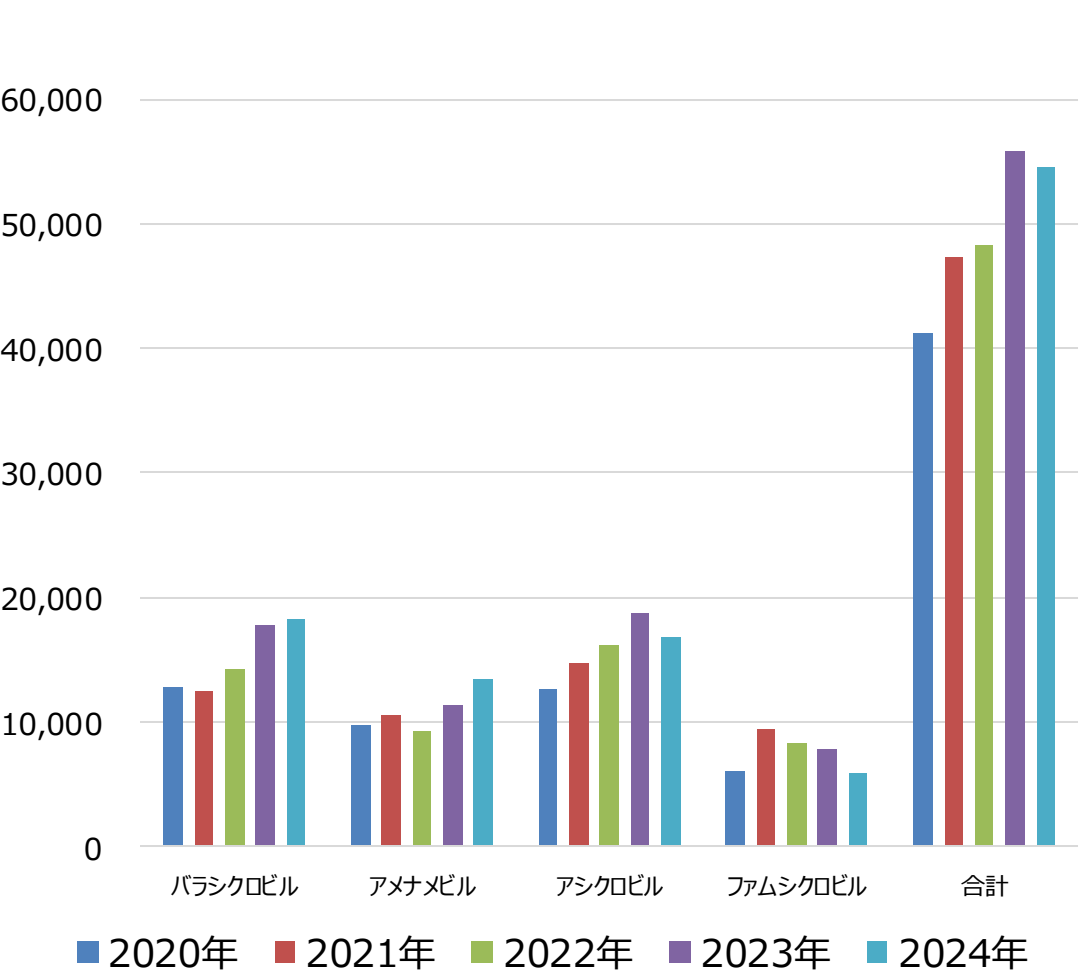
(円)

年間薬剤費用

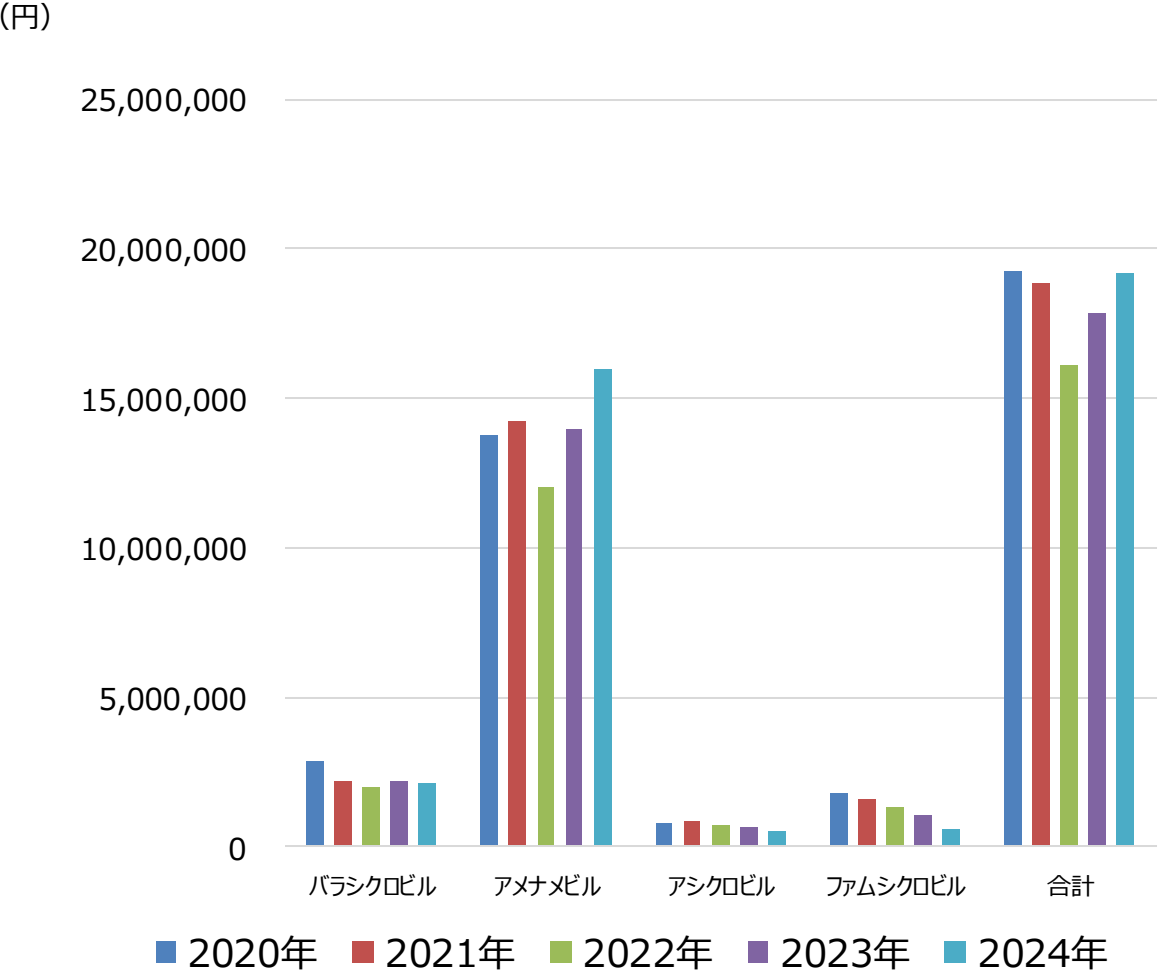


ヘルペス治療薬

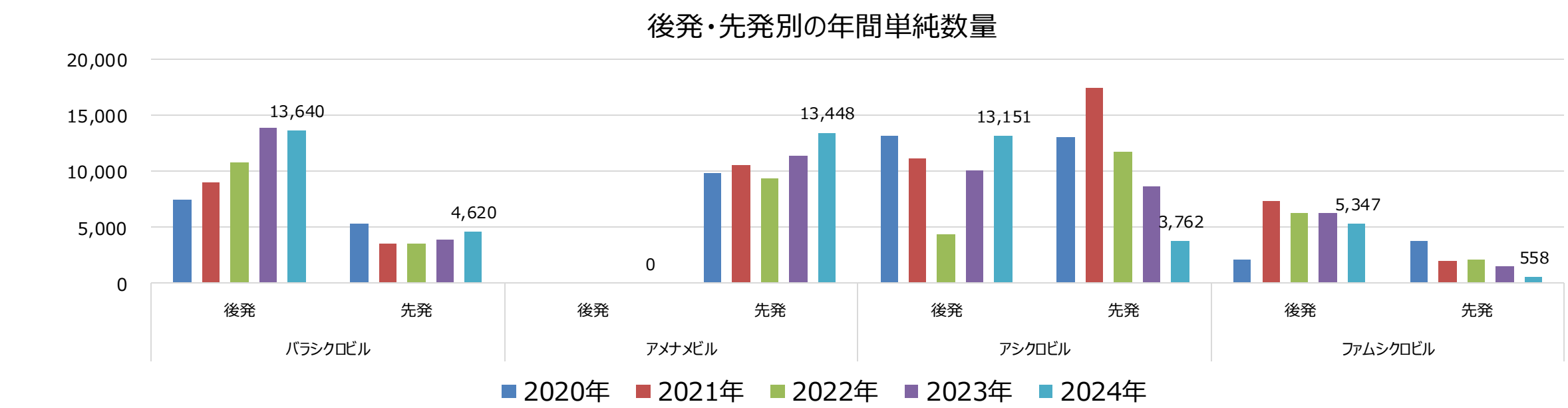
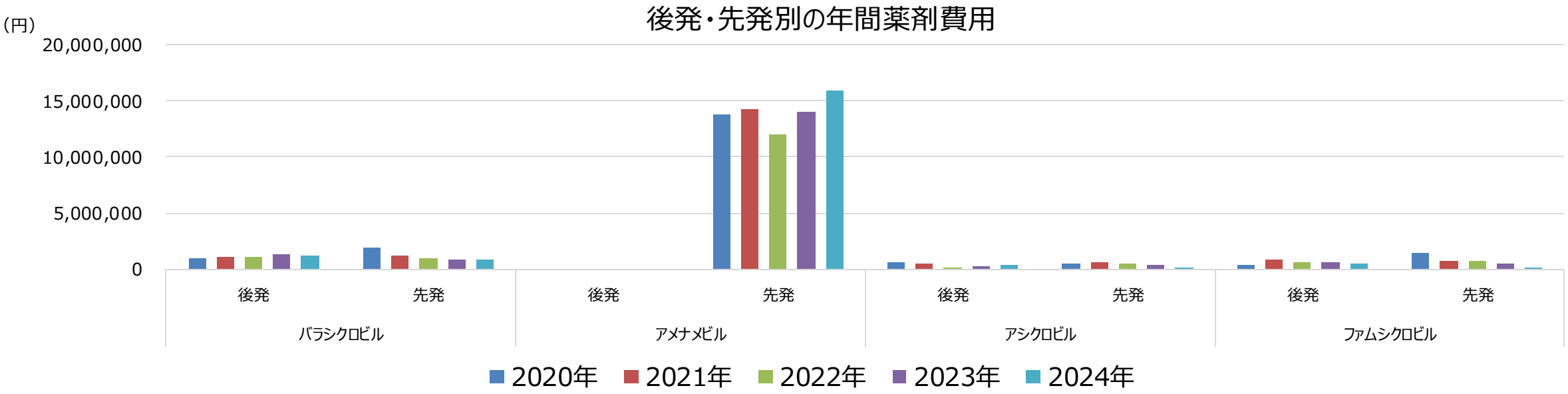
薬剤別の年間単純数量



薬剤別の年間薬剤費用



ヘルペス治療薬

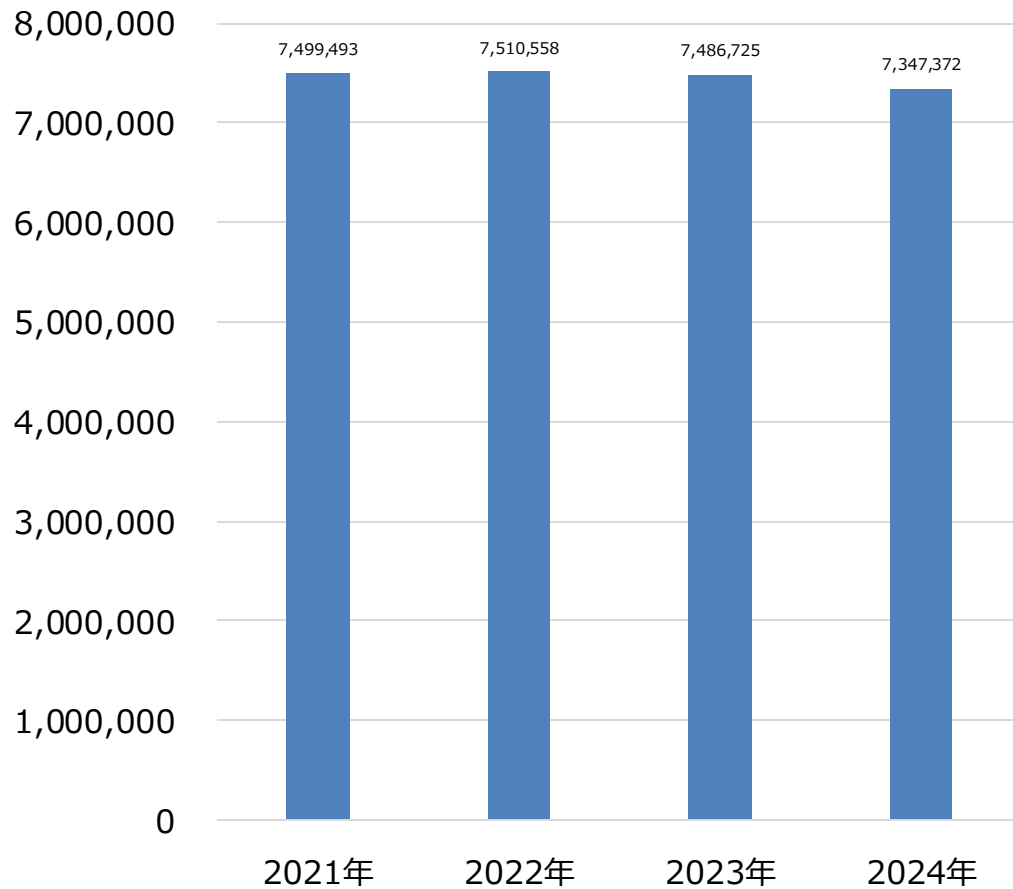


慢性便秘症治療薬

2022年11月～

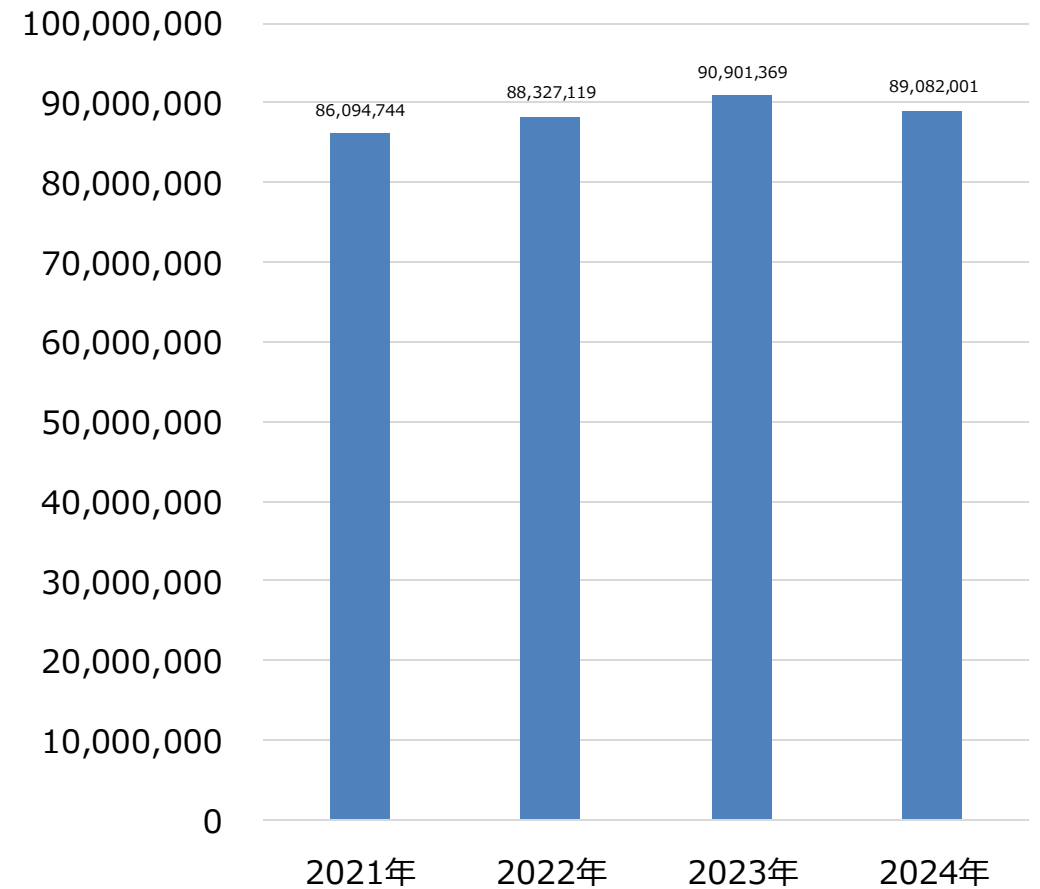
慢性便秘症治療薬

年間単純数量

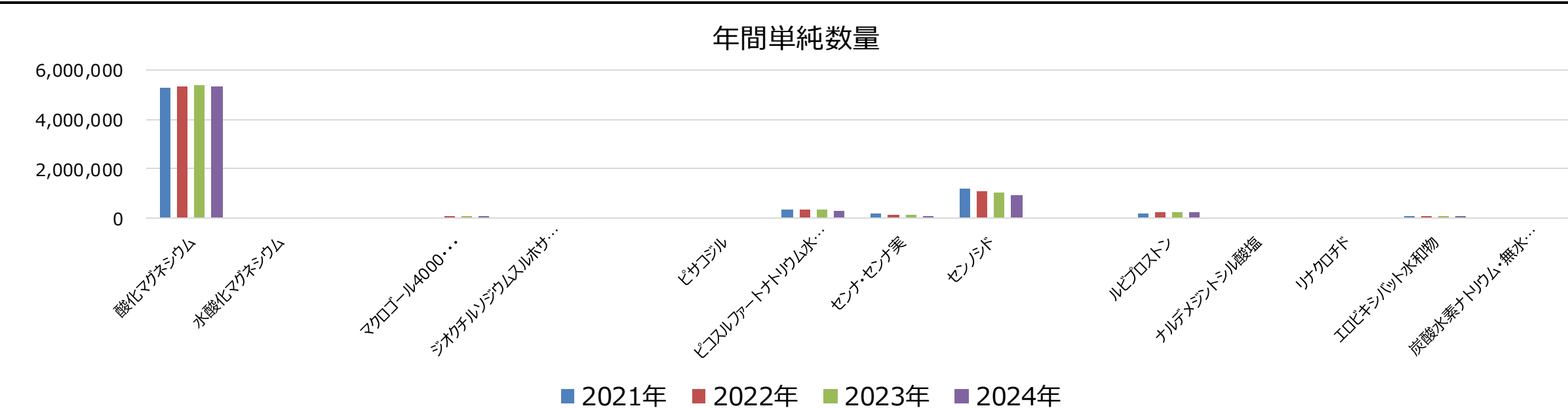
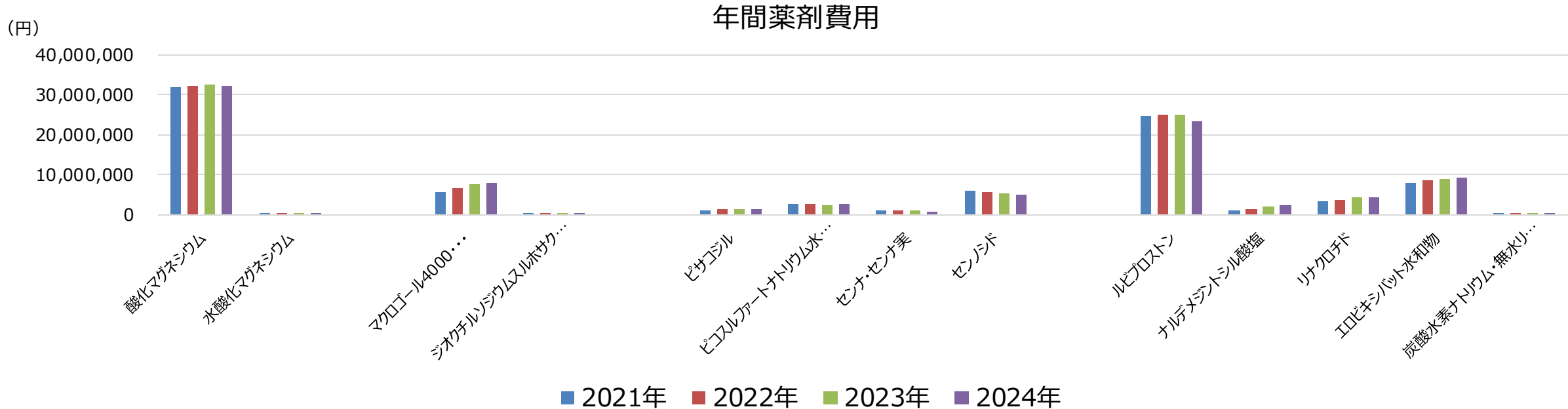


(円)

年間薬剤費用



慢性便秘症治療薬

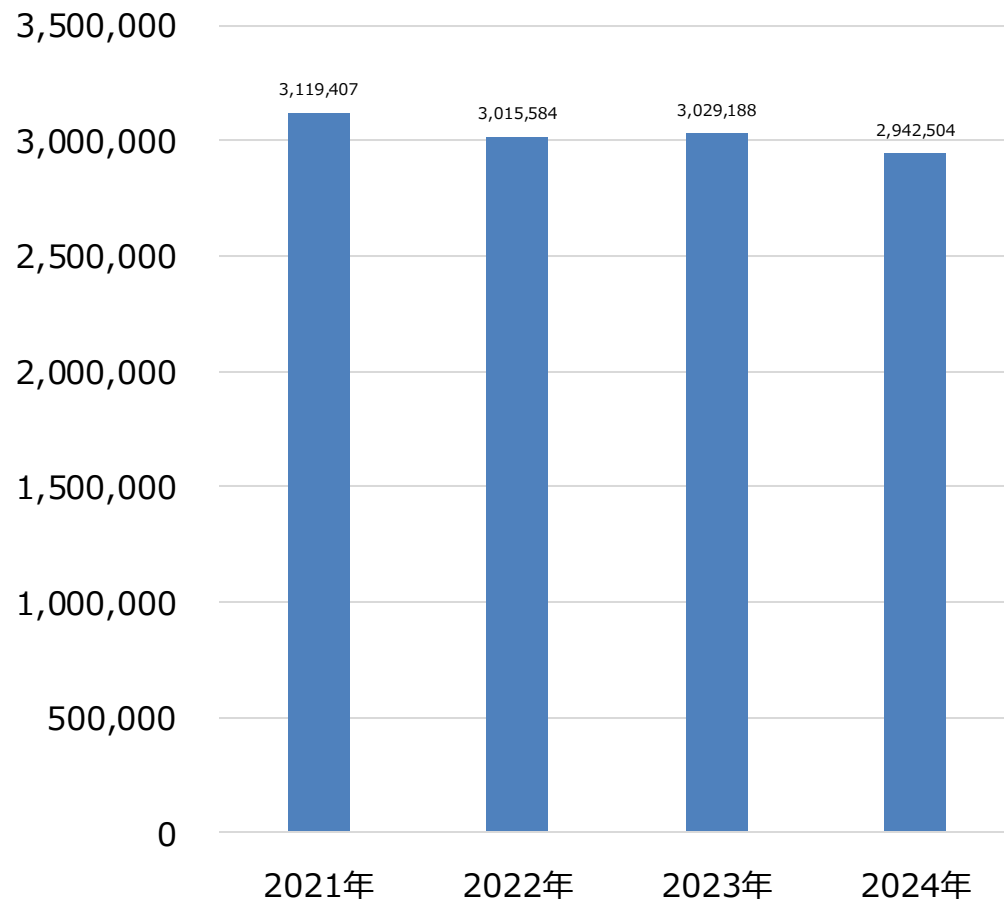


睡眠薬

2023年12月～

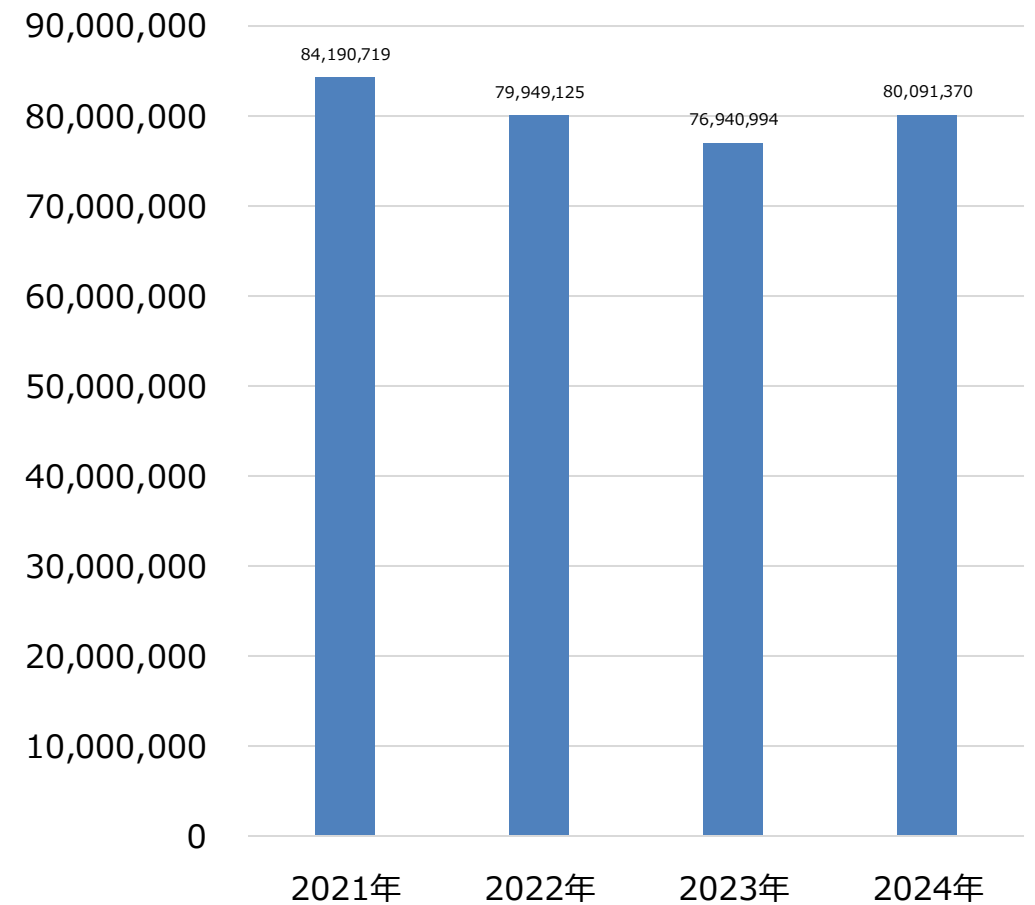
睡眠薬

年間単純数量



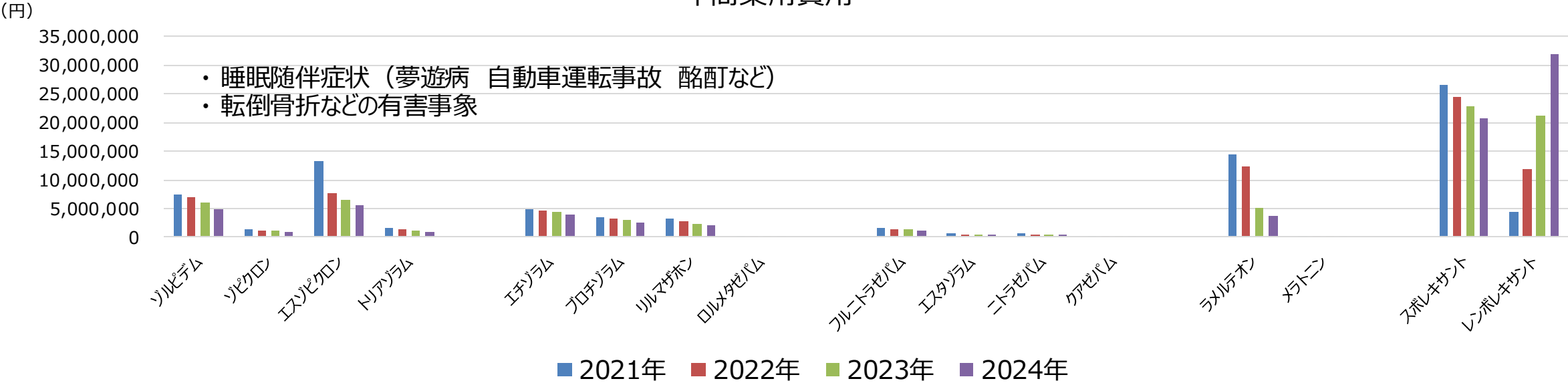
(円)

年間薬剤費用

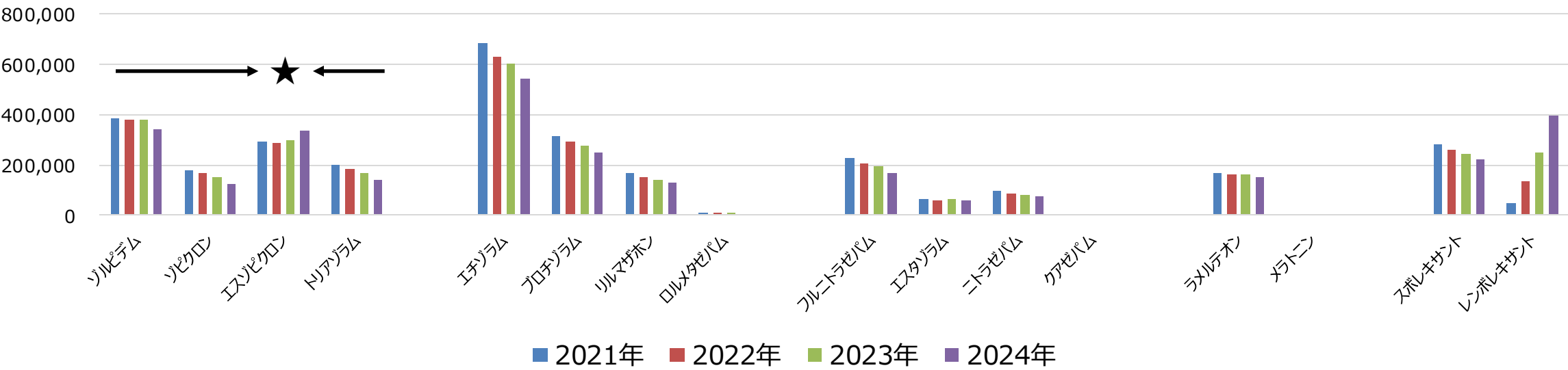


睡眠薬

年間薬剤費用



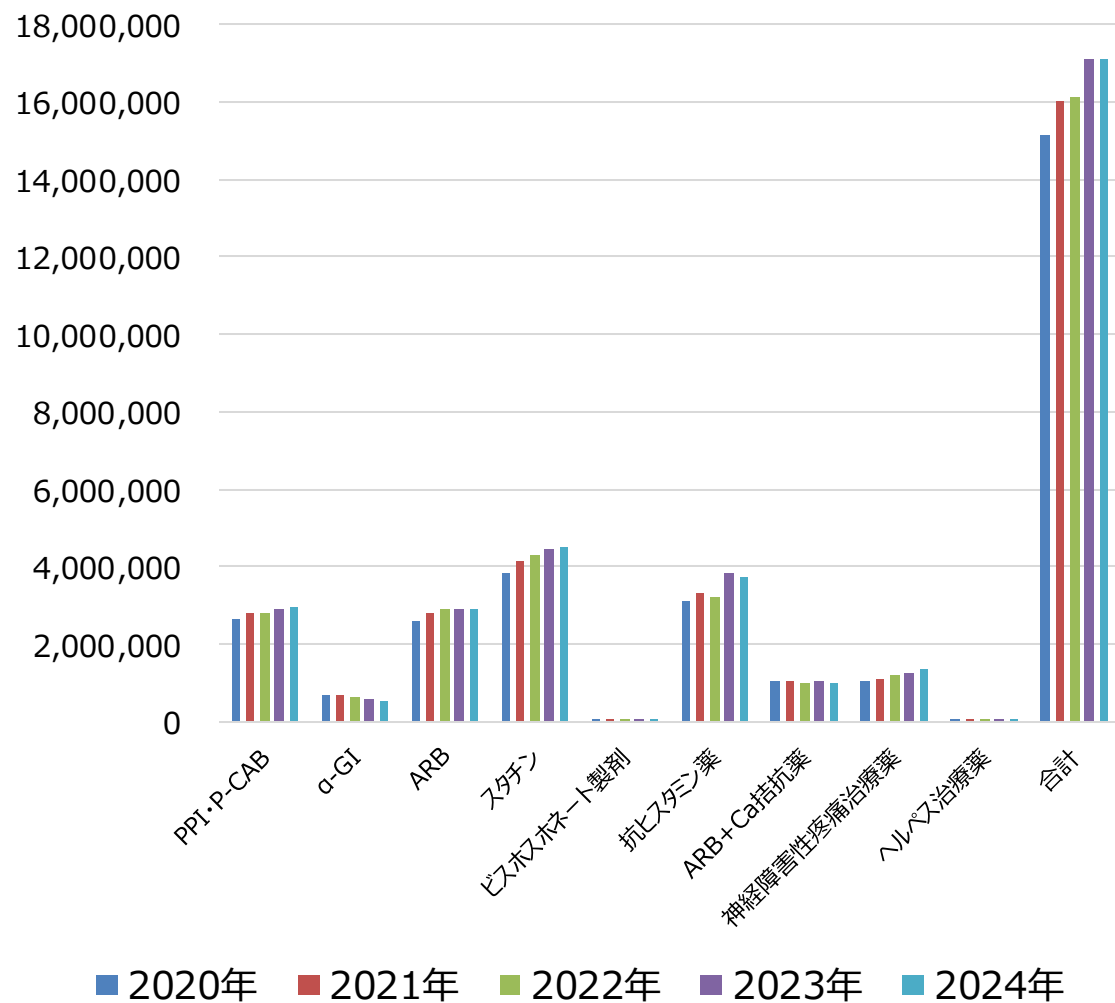
年間単純数量



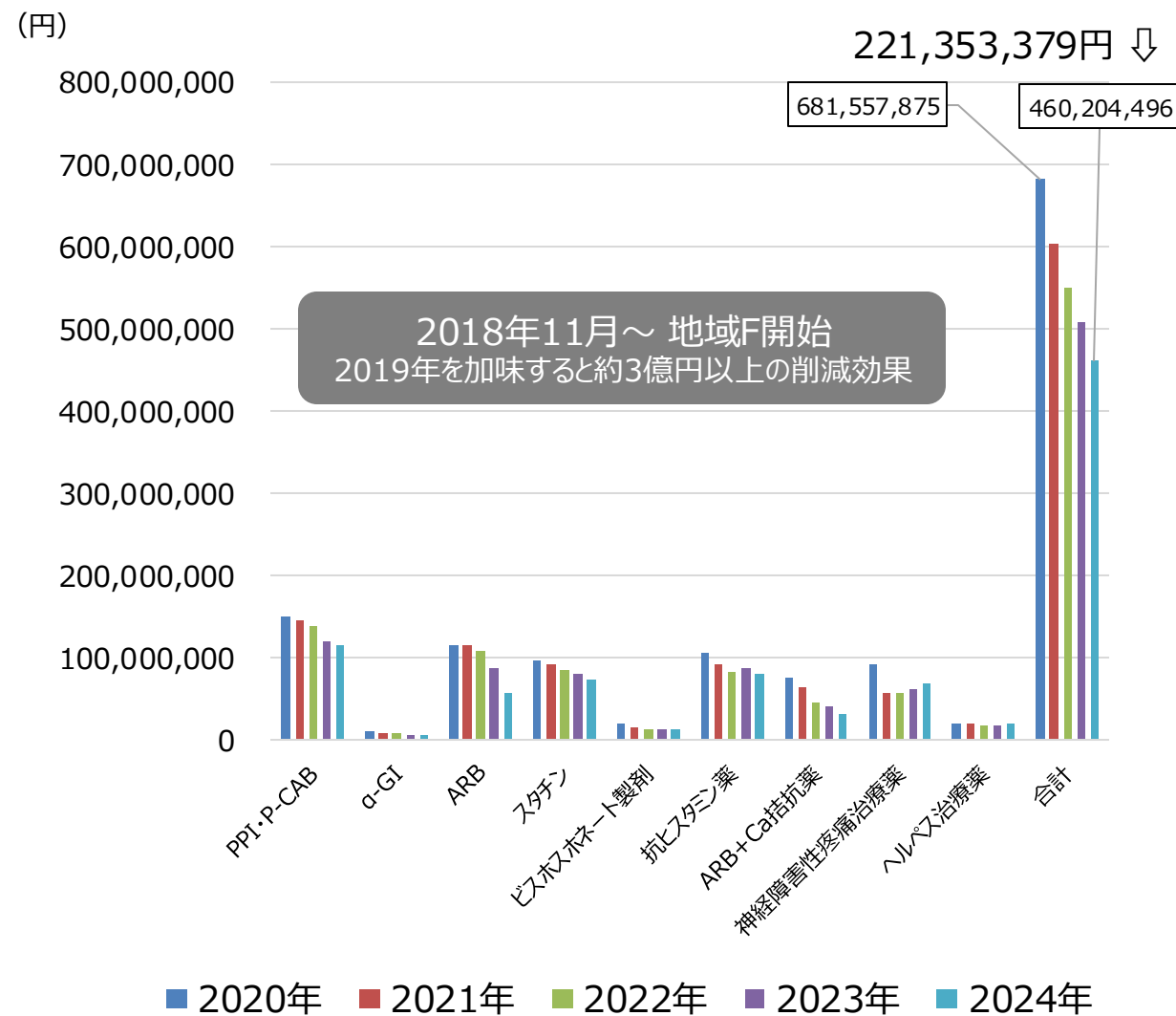
9 薬効群における 年間単純数量と年間薬剤費用の推移

9 薬効群における年間単純数量と年間薬剤費用の推移

薬効別の年間単純数量

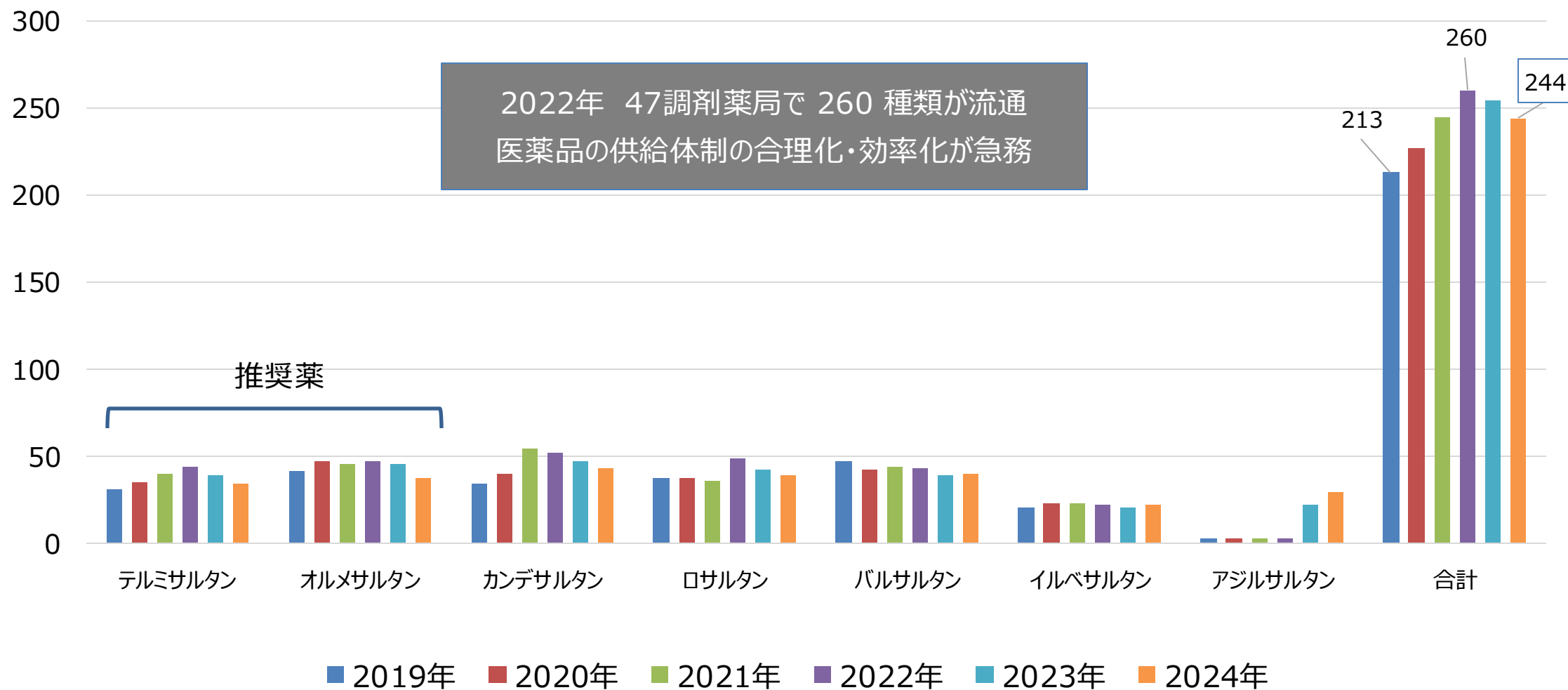


薬効別の年間薬剤費用

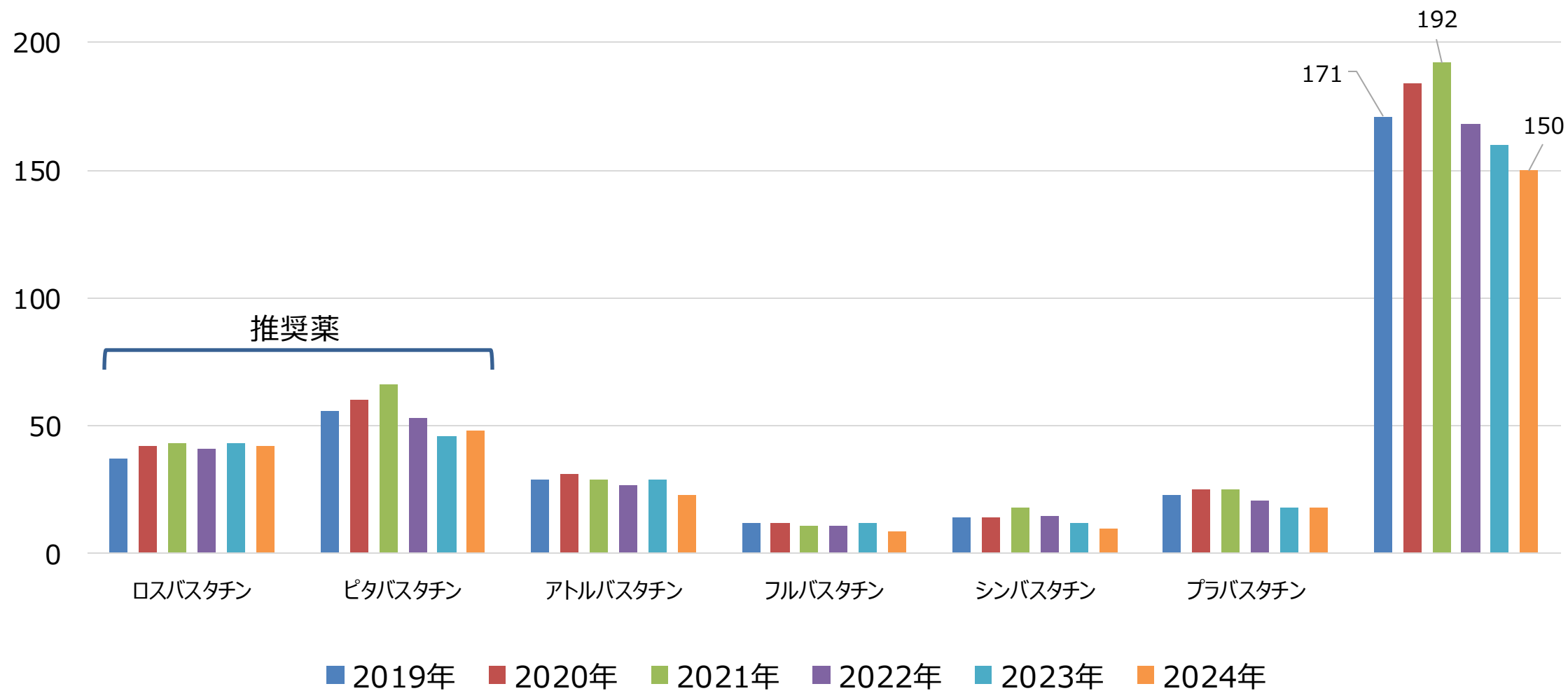


製剤別製品数

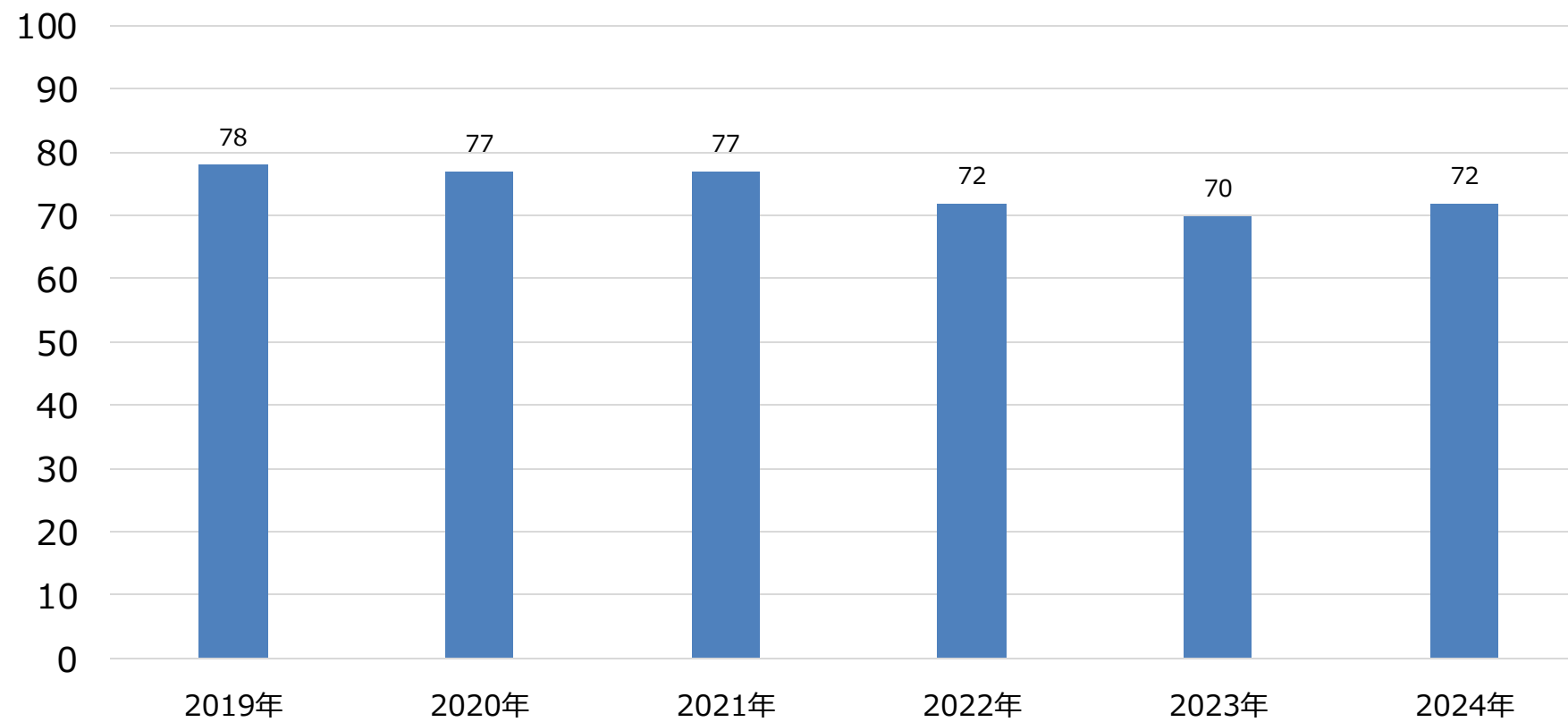
北庄内地域（人口約13万人）で流通しているARBの製剤別製品数



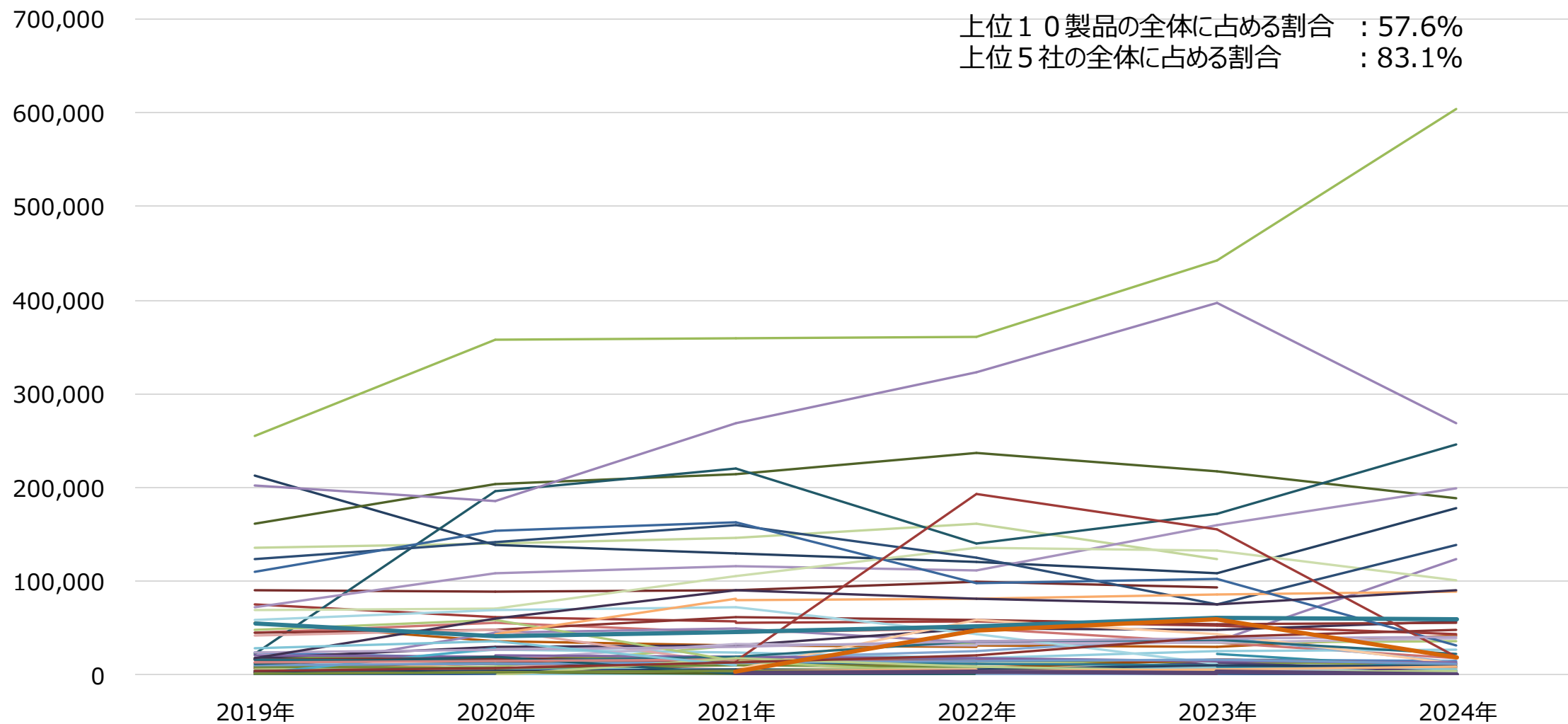
北庄内地域（人口約13万人）で流通している Statin の製剤別製品数



アムロジピンベシル酸塩：製剤別製品数の年次変化



アムロジピンベシル酸塩：製品毎の年間単純数量推移



山形県酒田地域
地域フォーミュラ

PPI
α-GI

ARB
Statin

ビスホスホネート
バイオシミラー

抗インフルエンザ
抗ヒスタミン

ARB+Ca拮抗薬
ヘルペスウィルス感染症
神経障害性疼痛薬

2018	2019	2020	2021	2022
------	------	------	------	------

4 1 調剤薬局	2019年	2020年	2021年
PPI	131,707,644	123,775,463	118,686,038
ARB	111,508,174	91,415,223	85,872,317
α-GI	9,816,112	8,515,257	7,262,485
statin	91,712,834	79,945,030	73,862,316
ビスホスホネート	22,361,239	17,616,354	12,993,482
抗ヒスタミン	96,629,004	84,042,836	73,937,281
合計	463,735,007	405,310,163	372,613,919

削減額 -58,424,844 円
(ARBの77%で割戻 -75,876,420円)

4 7 調剤薬局	2019年	2020年	2021年
ARB + Ca拮抗薬		75,572,528	62,937,695
プレガバリン		77,628,153	38,278,915
バラシクロビル+アメナメビル		16,646,506	16,446,311
合計		169,847,187	117,662,921

47薬局の試算では年間 **1億2806万円 削減**
(北庄内では年間 **2億円以上**の削減効果と推測される)

削減額 -52,184,266円

北庄内院外処方率 53%
47薬局に占める41薬局の
薬剤費シェア率 77%
人口比率 北庄内 12.95万人(推計)
日本 1億2483万(推計)

全国での年間削減額概算
(9品目での単純試算)
約2469億円

(調剤情報共有システムより)